

デジタル田園都市国家構想交付金
地方創生推進タイプ
(先駆型・横展開型・Society5.0型)
採択事業一覧 【継続事業 (R3開始)】



デジタル田園都市国家構想
DIGIDEN

内閣府 地方創生推進事務局
内閣官房 デジタル田園都市国家構想実現会議事務局

- デジタル田園都市国家構想の実現を図り、地方の社会課題解決・魅力向上の取組を加速化・深化するため、令和4年度補正予算において、「デジタル田園都市国家構想交付金」を創設しました。
- 同交付金の「地方創生推進タイプ（先駆型・横展開型・Society5.0型）」においては、デジタルの活用などによる観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する取組を支援しています。
- このたび、「令和6年度当初予算分」において採択した事業のうち、**R3年度に事業開始した継続事業の事業概要**を取りまとめました。
- 地域の課題解決等に向けて、当該地域においてどのような取組などを進めるべきか、本資料も参考にいただき、検討を進めていただければと存じます。
- なお、本資料は、事業採択時点で地方公共団体から提出された事業概要をまとめたものであり、事業採択後の過程において変更が生じている可能性がある点にご留意いただきますようお願いいたします。

事業概要【新時代に飛躍する新・大雪圏域観光振興プロジェクト～都市と自然，仕事と遊びを繋ぐシームレスな観光地づくりの推進～】

推進当初

申請者	北海道旭川市ほか 8 自治体※	初回採択回	令和 3 年度第 1 回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	464,295千円 (93,465千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<p>○豊富な自然環境が調和しており，多くの方に訪れてもらうこと，ビジネス活用，住みやすさ，仕事のしやすさなど魅力を体感してもらい，関係人口の拡大や将来的な移住，企業誘致などにつなげることが可能となる。</p> <p>○地域に存在する魅力を広域的な大きな視点と自治体毎の細やかな視点で改めて見直し，磨き上げ，連携を図り，他地域に先駆けて取り組むことで，将来的にも持続的な魅力を有する観光地としてブランド形成に繋がる。</p>		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○大雪カムイミントラDMOが核となった新しい時代に合わせた「マウンテンシティリゾート」の推進 人件費等 33,294千円</p> <p>○各団体と連携した国内需要を中心とした新分野の需要拡大 補助金等 21,982千円</p> <p>○各自治体の地域資源を生かしたWithコロナ・Afterコロナのニーズに対応した新たな観光地づくり 補助金等 36,189千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>① D M O 圏域観光宿泊延数 (+ 2,081千泊)</p> <p>② 一人当たり旅行消費額 (+ 123千円/人)</p> <p>③ 企業研修，ワーケーション，学術会議，教育旅行等の実施数 (+ 175件)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/700/735/76011/index.html (まち・ひと・しごと創生総合戦略HP)</p>

事業概要【新ガーデンデザインプロジェクト推進事業】

推進当初

申請者	北海道恵庭市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	153,727千円 (30,534千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光、市民生活、経済、まちづくりに関する分野の施策をつなげ、一体的な施策展開による相乗効果を図る。 ・異なる施策を共通で使用できるアプリ「えにわか」を開発する。 ・市外の人と市民の交流促進、市民には愛着心（ふるさとの誇り）の向上を図る ・観光客だけでなく市民にも市内周遊してもらうことにより経済活動の活性化を図る。 		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>①あらゆる世代の市民、市内企業・店舗が利用したくなるアプリを開発する。11,932千円</p> <p>②地場産品を活用した商品や観光素材の開発。ホーストレッキングなど新しい観光イベントの実施。恵庭の特徴を活かした「暮らしの提案」や「ブランド化」などシティセールスを実施する。9,640千円</p> <p>③歩くことを通した健康づくりや市内循環による地域経済活性化。デジタルを活用した参加者がいつでもだれでも参加しやすいサイクルイベントを開催する。2,850千円</p> <p>④移住定住希望者への支援として移住フェアやオーダーメイドツアー等を実施する。6,112千円</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>「えにわか」の貯め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザー登録で 20,000pt (初回のみ) イベントに参加 500pt 協賛店に訪問 200pt 恵庭市からのお知らせを読む 100pt </div> </div>		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①アプリへの登録者数 (+3,800人)</p> <p>②アプリへの参加事業所数 (+110箇所)</p> <p>③花の拠点「はなふる」利用者数 (+96,794人)</p> <p>④関係人口の増加 (+82,439人)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 30%;"> <p>関連URL</p> </div> <div style="width: 65%;"> <p>https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/soshikikarasagasu/kikakushinkoubu/kikakuka/shinokakushukeikaku/1/senryaku_vision/12585.html</p> </div> </div>		

事業概要【旧湯ノ岱小学校を活用した「サテライトオフィスを持ったワイナリー」による産業活性化及び交流人口等拡大事業】

推進当初

申請者	北海道上ノ国町	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	105,743千円 (22,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・特産ワインによる関係人口、交流人口拡大、移住定住促進を図る。 ・醸造用ぶどう栽培やワイン醸造の情報発信による新規就農者及び移住定住促進を図る。 ・六次産業化による特産品開発を進め、所得向上を図る。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○上ノ国町ワインブランド化事業 10,758千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者、新規醸造家事業説明会、ワインイベントの開催、PRイベントへの参加、商品開発等 <p>○「サテライトオフィスを持ったワイナリー」情報発信事業 3,960千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファンコミュニティづくり、WEBサイト、オンラインショップを活用した販売促進等 <p>○「サテライトオフィスを持ったワイナリー」着地型観光造成事業 7,282千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワインや地域コンテンツの体験観光の実施等 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①上ノ国町産ワイン販売額 (+1億円) ②葡萄農家就業者数 (+10人) ③サテライトオフィス利用者数 (+4,250人) ④農家・醸造家の移住者数 (+5人) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.town.kaminokuni.lg.jp</p>

事業概要【交流×関係×定住による持続可能な地域経済・暮らしの構築
～ニューノーマルを切り拓くローカルイノベーション推進プロジェクト～】

推進当初

申請者	北海道上川町	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	581,460千円(105,820千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	<p>・山積する地域課題の解決に向けたさまざまなプロジェクトを通じて都市部で暮らし働くクリエイティブ人材や大学生、企業人などを「関係人口」として巻き込むための受け皿やシステムを構築することで、地域内外のステークホルダーの手により持続可能な地域経済と暮らしが構築されていく全国でも先駆的な地域となることを目指す</p>		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○外部有識者による継続的な事業支援体制の構築・運用(業務委託費2,200千円) ○プロモーション業務、ITを活用した関係人口創出システムの構築・運用、ワンストップ総合的相談窓口・交流スペースの運営など(業務委託費・広告料・出展料など60,610千円) ○クリエイティブ人材・ビジネス人材育成講座・子供向け学びのプログラムなどの企画運営、ワーケーション等実証企画立案・実証試験など(業務委託費・負担金・消耗品費・手数料など43,010千円)</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①本事業を通じたワーケーション、インターンシップなど関係人口の受入人数 (+1,000人) ②関係人口創出を業務領域とする新しいビジネスの創業数 (+8人) ③当町への年間転入者の数 (+40人) ④当町におけるふるさと納税応援寄付額 (+45,000千円)</p>		<p>関連URL</p> <p>調整中</p>

事業概要【「適疎ワーキング」による企業等との関係人口創出・拡大事業】

推進当初

申請者	北海道東川町	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	700,000千円 (140,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・東川町内をまるごと「フリーアドレス施設」とすることで、多くの人の流れを創出し、町内の経済波及効果を促進する ・企業の資金と専門人材を活用した、自治体と企業の連携による町内イノベーション、地域内循環型ビジネスの創出 ・外国人材の活用や企業関心の高いテーマにより関係企業との対流を促進し、関係を深化させ、人材や資金の提供につなげる 		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>適疎ワーキングシステム構築事業イメージ</p>  <ul style="list-style-type: none"> ○「適疎ワーキング」システム構築等事業 <ul style="list-style-type: none"> ・町内フリーアドレス型ワークシステム構築 16,126千円 ・町内フリーアドレス型ワークシステム運営推進 14,355千円 ・ワークスペース等環境改善 15,161千円 ○「適疎ワーキング」発イノベーション創出事業 <ul style="list-style-type: none"> ・カルティベート・エコシステム調査研究等 8,778千円 ・企業人材連携プラットフォーム構築等 9,548千円 ・隈研吾建築都市設計事務所等連携 17,358千円 ○民間企業等との対流促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・外部高度人材等活用 9,394千円 ・企業人材交流・体験促進 9,658千円 ・外国人材交流・体験促進 6,633千円 ○関係人口拡大プロモーション等事業 <ul style="list-style-type: none"> ・関係人口拡大プロモーション戦略策定等 726千円 ・関係人口拡大プロモーション展開 31,463千円 		
KPI	<p>①本事業の実施により東川町内に与える増加消費額及び経済波及効果額 (+462,083千円)</p> <p>②「町内フリーアドレス型ワークシステム」利用者数 (+50,400延人)</p> <p>③年間起業数 (+50件)</p> <p>④「オフィシャルパートナー」協定締結企業・「企業版ふるさと納税」寄附企業・「地域おこし企業人」受入れ企業数 (+30延件)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://higashikawa-town.jp/</p>

事業概要【東川版「学生関係人口」構築プロジェクト】

推進当初

申請者	北海道東川町	初回採択回	令和3年度第2回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	569,822千円 (99,110千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<p>学生を「未来の地方創生人材」と捉え、継続的な関係構築や、人材育成、活躍の場創出により、関係人口増やUIターンを促し、人口増の維持、地域内経済循環、担い手確保、コミュニティ形成や若者の地域参画など、学生を軸とした本町の好循環を実現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本町の魅力発信、現地受入のための相談や受付などを行う学生受入体制構築 ・人数分散型やオンライン等によるポストコロナを見据えた人材育成プログラムの開発や学生に対する提供 ・地元インターンの受入や、本町と共に地域課題解決等の事業を学生と連携して実施 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p style="text-align: center;">東川版「学生関係人口」構築プロジェクト</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <p>国内外的学生人材</p> <p>国内外的の学生との関係構築や、人材育成、活躍の場創出 【①東川とつながる ②東川を知り学ぶ ③東川で実践する】</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>学生との関係構築による人口増、経済循環、担い手確保、コミュニティ形成、若者地域参画など 学生を軸とした好循環の実現</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①町内増加消費額・経済波及効果額 (+1,158,075千円)</p> <p>②学生人材育成プログラム参加者数 (+34,273回)</p> <p>③若者転入者数 (18歳～29歳) (+239人)</p> <p>④若者地元雇用・起業家数 (+85人)</p>		
	関連URL	https://higashikawa-town.jp/	

申請者	北海道美瑛町	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	140,500千円(25,540千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ
目的（効果）	関係人口の創出・拡大による新たな人の流れをつくとともに地域産業の活性化による雇用の場の創出を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○関係人口の創出・拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・企業・大学等との協働によるシティプロモーション ○関係人口を地域につなげる取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・カーシェアサービスの実証導入（3年目）（5,200千円） ・関係人口交流イベントの実施・出展（14,403千円） ・移住相談者情報の一元管理（682千円） ○地域産業の活性化に向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・電子地域通貨事業の運用開始（5,255千円） 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①コ・ワーケーションビレッジ構想を通して連携した事業者数（+26件） ②移住相談等を経て移住した世帯数（+90世帯） ③電子地域通貨の年間流通額（+837百万円） ④ふるさと納税寄附額（企業版ふるさと納税を含む）（+252百万円） 		

事業概要【七戸高校の魅力化を核とした教育の充実による地域づくりプロジェクト】

推進当初

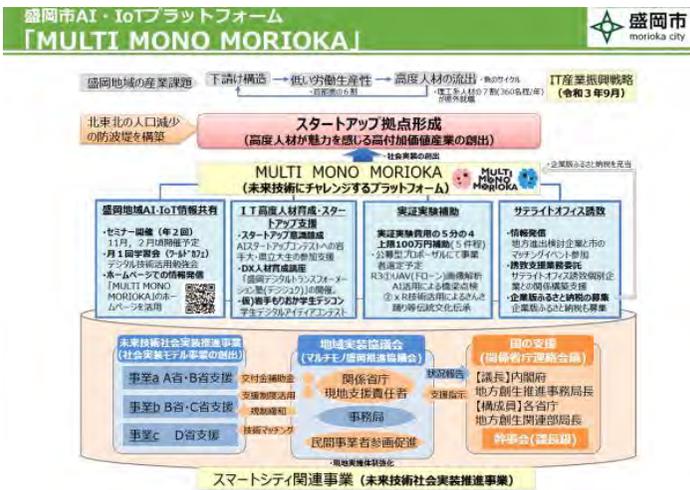
申請者	青森県七戸町	初回採択回	令和3年度第2回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	175,676千円 (36,586千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> 町の活性化と人口減少・少子化対策を支援 持続可能な地域づくりを担う人材育成を推進し、将来の七戸町を担う高校生を対象にした公設民営塾を開設することを通じて、多様な学び場を創設。 町で働き生涯を過ごし、または町外に出たとしても関わり続けられる地方創生の好循環を構築し、住み続けたと思えるまちづくりを目指します。 		
事業概要・ 主な経費	<p>町の魅力の学びの場・人材育成の場として公設民営塾の管理運営を一体的に取り組んでもらうため、民間事業者へ委託し、キャリア教育や新規就農者、地域おこし協力隊の方による講義、中学生や町の任意団体との交流、他県の公営塾生徒との交流、生徒が進んでいく分野に必要な学習支援などを塾の講師がマネジメントしながら、町の魅力を幅広く生徒に伝えていくよう取り組みながら運営していく。</p> <p>・公設民営塾管理運営業務 (委託料) 36,586円</p>		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①公設民営塾利用生徒数 (+120人) ②七戸高校卒業者の町内企業就職率 (+9.4%) ③七戸高校入学試験受験者数 (+20人) ④地元中学生の七戸高校進学率 (+10%) 		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制) (効果検証)</p> <p>https://kashiwabajuku.com/ https://www.town.shichinohe.lg.jp/kurashi/izyusien/post-360.html</p>

※経費内訳はR6年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【盛岡AI・IoTプラットフォーム事業】

推進当初

申請者	岩手県盛岡市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	73,000千円 (18,550千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	高度IT人材が魅力を感じる高付加価値の雇用の場を創出し、高度IT人材の流出を防ぐ。		
<p style="text-align: center;">事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ○盛岡広域のAI・IoT等に関する取組情報の一元化 ・セミナー等開催費用(委託料) 1,000千円 ・情報集約発信・ホームページ開設運営費用(委託料) 2,000千円 ○研究開発型企業の実証実験の支援 ・実証実験に対する補助(補助金) 4,000千円 ・コーディネーターによる連携支援費用(委託料) 500千円 ○高度IT人材のスタートアップ支援 (ノウハウの構築) ・DX人材育成講座 4,750千円 ・起業家向け短期集中型プログラミング講座4,300千円 ○サテライトオフィス立地促進 ・首都圏企業と当市のマッチングイベント出展及び誘致支援 1,600千円 			
<p style="text-align: center;">KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地元高等教育機関卒業生の県内就職者数(起業者を含む) (+50人) ②プラットフォーム参加登録企業数 (+140社) ③参加登録企業による実証実験の実施件数 (+23件) ④高度IT人材によるスタートアップ企業の起業数 (+10社) 	<p style="text-align: center;">関連URL</p> <p style="text-align: center;">https://www.city.morioka.iwate.jp/shisei/keikaku/sogotekiplan/1030909/1030790.html</p>		

事業概要【遠隔診療・見守りDX基盤の構築による持続可能な地域づくり事業】

推進当初

申請者	岩手県八幡平市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	171,200千円 (33,480千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<p>・地域の医療福祉融合DX基盤の実装 (市内全地区、対象者250人～想定) : 2023年度中に大学等研究機関とともに実施した医療福祉融合DX基盤に係る研究事業の内容をもとに、横展開を見据えた導入モデルの確立及び研究事業の中で明らかにされた課題等を踏まえたサービス改善と対象者の拡大を進めていく。引き続き、疾病予測AI開発の規模拡大を着実に進行し、更なる民間投資や事業連携を呼び込みながら、医療福祉×IT産業基盤の確立をさらに進めていく。</p> <p>・地域の医療福祉融合DX基盤の県内展開 : 2023年度までの市内実績を踏まえ、県内他自治体を念頭に横展開を図る。</p> <p>・地域の医療福祉融合DX基盤に係る視察プログラム等の実施 : 視察・コンサルティングプログラムを継続実施する。</p> <p>・セミナー開催 : 本事業の取り組みに対する住民の参加意欲を高めるため、また、市外へ本事業で得た知見を広めるため、成果報告及び医療福祉×ICTを切り口とした講演・パネルディスカッション等を含むセミナーを開催する。参画する利用者の増と市外横展開も含めた取り組みのスケールアップを進めていく。</p> <p>・ICT人材育成 : 医療福祉×IT産業の基盤整備に向け、人材育成プログラムを通じた担い手獲得を図る。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>1. 遠隔診療・見守りハイブリッドDX基盤の社会実装 18,300千円 (負担金) 市内全域の患者に拡大し、遠隔での診療・見守り基盤を社会実装する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○遠隔診療基盤システム構築 市内の患者250人程度をベースに遠隔診療の実証実験を行う ニーズを捉えて、より効率的な手法について検証・改善を図る ○遠隔見守り基盤システム構築 地域の高齢者160人程度について、遠隔で見守る実証実験を行う ニーズを捉えて、より効率的な手法について検証・改善を図る ○地域実装普及啓発 導入によって生じた効果について、地域内外でセミナー等啓発活動を実施 遠隔診療・見守りに係る地域内のニーズ把握 ○視察受け入れ・コンサルティングプログラム 市内での実績をもとに、他地域での展開に向けた取り組みを実施 ○疾病予測AIの実証 バイタルを集積することで疾病予測AIの有効性について検証 ○携帯電話圏外における深化実証 LPWA網対応技術を深化させ、より効率的なアルゴリズムについて検証 <p>2. ICT等人材育成 15,180千円 (負担金) 志のある者を広く内外から集めてICT技術講習を行い、高度人材としてプロジェクトへの参画を促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○プログラミング技術等講習 より高度なプログラミング言語やメディテックバレーの技術等に関する集中講義で人材を育成する ○周知広報活動 インターネットを通じて、動画等のメディアで取り組みを周知する 		
KPI	<p>①遠隔診療によって医療アクセスを確保することができた患者数 (+500人)</p> <p>②遠隔で無事に見守ることができた参加者の割合 (+95%)</p> <p>③育成したICT人材からプロジェクトに参画した数 (+14人)</p>	関連URL	調整中

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【バレーボールを活用した地域振興事業】

推進当初

申請者	岩手県紫波町	初回採択回	令和3年度第2回募集
事業計画期間	R3-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	189,370千円 (52,400千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<p>・町の課題として、大きなイベントがない冬季間の来町者が少なく、また、バレーボール専用体育館という恵まれた資源を有しているが、スポーツ施設を切り口とした交流人口の創出などの取組みが不足していることが挙げられる。</p> <p>・本事業は、地域資源であるバレーボールを核として、プロリーグの大会の開催や人材育成事業等を実施することで町の交流人口の拡大、若者の流出抑制や地元回帰を目指すものである。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>○V1リーグ公式戦、東北バレーボールリーグ等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会運営費負担金 22,844千円 ・大会開催負担金 24,956千円 <p>○産学官連携による主に若者を対象とする人材育成プログラム事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成プログラム事業負担金 3,300千円 <p>○本事業の事業拡大・収益化を図るための国内外のスポーツ市場におけるデジタルマーケティング調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルマーケティング調査事業委託料 800千円 <p>○町と包括連携協定を締結するVリーグチームのホームタウン間での特産品を通じた交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 特産品輸送費、旅費等 500千円 		
KPI	<p>①若者の関連企業等への就職者数 (+12人)</p> <p>②試合の来場者数 (+5,760人)</p> <p>③スポーツ関連ビジネス創出数 (+2件)</p>	関連URL	<p>【バレーボールでつながるまちプロジェクトホームページ】</p> <p>https://iwate-vc.com/</p>

事業概要【秋田版スマート農業モデル創出事業】

推進当初

申請者	秋田県、大仙市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,637,263千円 (188,891千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<p>・デジタル技術を活用した農業構造の変革 (DX) により、農業の成長産業化を図るとともに、スマート農業を切り口とした農業従事者の営農継続や、若者・女性の農業への参入により、地域コミュニティの維持・活性化を図る</p> <p>・農業分野における先端技術の研究や普及により、新たなマーケットを創出し、製造業や情報通信業等のスマート農業に関連する産業の振興を図る</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>「儲かる農業」を目指す「秋田版スマート農業モデル」の創出に向けた研究や人材育成等に取り組む</p> <p>【秋田県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アドバイザーボードの開催等経費 (報償費等) 404千円 ○広報経費 (委託料等) 2,526千円 ○秋田版スマート農業モデル創出事業費補助金 (補助金) 182,061千円 <ul style="list-style-type: none"> ・コンソーシアムの運営 9,681千円 ・研究 (7テーマ) の実施 159,796千円 ・実践的スマート農業教育の実施 10,186千円 ・スマート農業普及に向けた農場体験等の実施 2,398千円 <p>【大仙市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研究 (2テーマ) の実施に要する経費 (使用料等) 3,900千円 		
KPI	<p>①米の10 aあたりの労働時間削減率 (+15.72%)</p> <p>②スマート農業指導士の活動によりスマート農業を体験・実践した農家の件数 (+230件)</p>	関連URL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/12540

事業概要【がん地域医療次世代モデル構築推進事業】

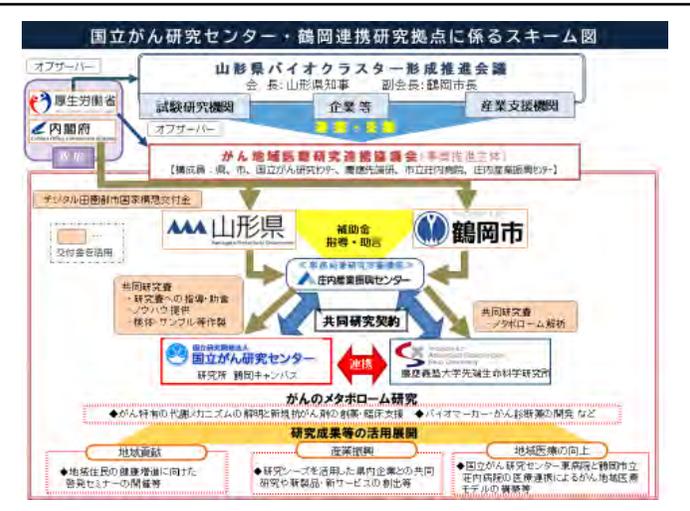
推進当初

申請者	山形県、鶴岡市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	986,036千円 (193,020千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野

目的（効果）
 少子高齢化の進む地方において、それを負担や不安に感じることなく、誰もが幸せを実感できる社会実現に向けて、デジタル化促進や地域内外のステークホルダーの参加により、良質な医療を受けられる環境、健康長寿へ結びつく仕組みが構築され、また、地元企業と国内・世界の企業との共同等で、健康や医療に関する産業が山形県鶴岡市を発信地として県全域で生まれる社会を創出する。

事業概要・主な経費
 ※経費内訳はR6年度事業費

- 様々な生活習慣病の患者の評価法を確立し、次世代地域医療モデルの構築を目指す取組み
 - ・次世代地域医療モデル構築に係る人件費 56,640千円
 - ・次世代地域医療モデルの構築及び県内医療機関へのモデル展開に向けた研究に必要な消耗品費 40,230千円
- がんやがん以外の生活習慣病の患者の評価法等を活用した新たな産業の創出・研究を通じた地域貢献や産業振興に向けた取組み
 - ・次世代地域医療モデルの構築及び県内医療機関へのモデル展開に向けた研究に係る委託及び医療連携に向けた関係機関との共同研究費 56,000千円
 - ・産業振興、人材育成など地域貢献に係る経費等 40,042千円



KPI
 ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

- ① 支援事業を通じた新たなサービス、製品の事業化数 (+7商品)
- ② 支援事業を通じた新サービス、新製品の事業化に伴う新規雇用者数 (+17人)
- ③ 次世代医療メタボローム解析データのデータベース登録数 (+1,200件)
- ④ 県内医療機関等とのがん治療等に関する連携（共同研究含む）数 (+5件)

関連 URL
 (交付金の具体的使途・実施体制) 調整中
 (効果検証)
<https://www.pref.yamagata.jp/keisei/keikaku/shingikai/index.html>

事業概要【いつまでも便利に安心して暮らせる「スマートシティ長井」実現事業】

推進当初

申請者	山形県長井市	初回採択回	令和3年度第2回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	866,364千円 (172,638千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる分野で未来技術を活用し、「誰もが安心して、住み慣れた地域でいつまでも暮らせるまち」を目指して、都市機能や市民サービスの利便性を飛躍的に高める「スマートシティ長井」の実現を図る 多分野において集積されたデータをビックデータ化し、分野を超えたデータ連携により、今までにない価値やサービスの創出を図る 		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	 <p>「スマートシティ長井」実現事業で目指す将来イメージ</p>		
KPI	①MaaSとスマートストアの決済金額 (累計) (+113,053千円) ②ながいコインによる決済金額 (累計) (+148,236千円) ③子どもの見守り情報ページ及び河川水位情報のHPへのアクセス数 (累計) (+325,189件) ④eスポーツ参加者数 (累計) (+3,967人)	関連URL	(効果検証) https://www.city.nagai.yamagata.jp/soshiki/sougoseisaku/2/3/1/c/hihousousei/chihousouseikanrenkouhukin/index.html

事業概要【芸術・文化を活かした交流人口・関係人口拡大事業】

推進当初

申請者	山形県長井市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	397,584千円 (80,180千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野

目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏における交流人口や関係人口の拡大を図る ・市民と市外の人との関係づくりの支援を行い、交流人口や関係人口の定住人口化を図る ・将来を見据えた子どもたちへの地元への愛着形成や地元で働くキャリア意識を醸成し、市在住者の定住を図る
---------	---

<p>事業概要・主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>○首都圏における交流人口・関係人口拡大の取組を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流・関係人口コーディネーター委託料：2,464千円 ・首都圏在住者へのPR広告委託料：2,236千円 ・首都圏の利用者が多い書店におけるブックカバー広告制作・配布経費：1,273千円 ・長井市PRイベント開催委託料：5,000千円 ・中学生による首都圏でのPR経費：1,000千円 ・ふるさと長井会事業費補助金：3,500千円 <p>○交流人口・関係人口の受け皿となる拠点施設での事業展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧第一校舎指定管理料のうち交流人口・関係人口拡大事業に係る経費：25,577千円 (指定管理料全体：41,700千円) ・市民文化会館指定管理料のうち交流人口・関係人口拡大事業に係る経費：27,330千円 (指定管理料全体：59,860千円) ・キャリア教育事業委託料：5,600千円 ・eスポーツをきっかけとした関係人口創出事業及びキャリア教育事業負担金：5,000千円 <p>○市内各地区と連携した交流人口・関係人口が活動する場の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流人口・関係人口受入れ事業費補助金：1,200千円 	<p>市民文化会館 旧長井小学校第一校舎 各地区コミュニティセンター</p> <p>連携 連携</p> <p>市民と市外の人との関係づくりの支援 関係人口や交流人口が活動する場</p> <p>交流・関係人口の市への誘導</p> <p>ふるさと長井会 市東京事務所</p> <p>大正大学 相模女子大学 学生、卒業生</p> <p>首都圏における交流人口・関係人口拡大の取組</p> <p>首都圏在住者</p>
--	--	--

KPI	<ol style="list-style-type: none"> ①事業関係施設利用者数(累計) (+1,154,500人) ②首都圏で実施するイベントへの参加者数(累計) (+1,000人) ③ふるさと長井会会員数 (+272人) ④キャリア教育事業の参加者数(累計) (+2,990人) 	<p>(効果検証)</p> <p>関連URL</p> <p>https://www.city.nagai.yamagata.jp/soshiki/sougoseisaku/2/3/1/chihouseisei/chihouseiseikanrenkouhukin/index.html</p>
-----	---	---

事業概要【「ふくしまの宝」をつないで稼ぐプロジェクト】

推進当初

申請者	福島県ほか4自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	375,926千円 (54,153千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<p>○本県の多様な風土により育まれた豊かな自然や文化など、地域の特色を生かし、地域全体をつなぐことで、付加価値の創造と地域内消費連鎖によって稼ぐ力を向上させ、「ふくしまの宝」による地域経済の活性化を目指す。</p> <p>○本県食料品関連産業を魅力的な産業として発展させていくことで、「もの」の生産力強化が地域の「しごと」を生み出し、新たな「ひと」を呼び込む。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>○6次化による新たな地域産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域産業6次化を核としたビジネスモデルの構築 (委託費) 34,118千円 ○安定需要に応じるための農産物供給強化 ・ICT技術を活用した夏秋野菜産地の夏季高温対策と技術継承モデルの創出 (補助金) 3,224千円 ・新たな有機農業者の確保による有機農業先進県ふくしまの創生 (委託費) 6,000千円、(補助金) 1,000千円 ・次世代酪農家の育成による生乳生産基盤の強化 (補助金: 1,116千円) ○常盤もの知名度向上の取組 ・プロモーション経費 (需用費、委託費、使用料等) 3,730千円 ○ICTを活用したきゅうり単収の向上 ・町専門員人件費や活動報告会の経費 (委託費等) 1,316千円 ○スマート農業用機械のシェアリングサービスや須賀川産冷凍十割そばの6次化商品開発事業等に要する経費 (補助金) 2,781千円 		
※経費内訳はR6年度 事業費	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>6次化の支援により 開発された新商品</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>令和5年度6次化交流会の様子</p> </div> </div>		
KPI	<p>①加工や直売等の年間販売金額 (+64.5億)</p> <p>②ICT+ミスト冷房の導入農家数 (+78戸)</p> <p>③県認証機関での有機JAS認証新規面積 (+20ha)</p> <p>④経産牛飼養頭数75頭以上の経営体数 (+11経営体)</p>	関連URL	<p>(交付金の具体的使途・実施体制)</p> <p>福島県: https://www.fukushima-message.com/ https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/</p> <p>須賀川市: 調整中 西会津町: 調整中 (効果検証)</p> <p>福島県: http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/youusikisyakaigi.html</p> <p>須賀川市: 調整中 西会津町: 調整中</p>
※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の 累計」の目標値	※福島県、会津若松市、須賀川市、西会津町、石川町の広域連携事業		

事業概要【ビジネスから人の流れにつなげるふくしま共創プロジェクト】

推進当初

申請者	福島県ほか2自治体※	初回採択回	令和3年度第2回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	179,034千円 (18,633千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	新型コロナウイルスの感染拡大を契機にニューノーマルと呼ばれる新しい生活様式や働き方を踏まえた人々の意識や行動が変容しつつある中、会津大学の立地や先端技術を活用したまちづくりを進める本県の特徴を生かし、首都圏からの人や企業の流れを創出するとともに、そうした人材が地域との関係性を深める仕組みを構築することで関係人口の増加ひいては移住や定住・二地域居住に結び付けていく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度 事業費	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>○進出企業と地元のマッチングにより進められる、地域課題解決に寄与する企業のプロジェクト支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画、サービス開発、実証、広報等の経費（補助金）7,500千円 ○市民の積極的なサービス活用と市民主体の周知活動によるサービスの地域浸透の推進 ・市民向けワークショップの開催、デジタルコミュニケーションツールの整備（委託料）11,163千円 </div> <div style="flex: 2;"> <p>The diagram illustrates a cycle between 'Advanced Technology' (top) and 'Local Enterprises/Groups' (bottom). 'Advanced Technology' includes ICT・デジタル, IoT, AI, ロボット, 自動運転, and ドローン. 'Local Enterprises/Groups' includes 中心市街地活性化, 地域交通, 子育て支援, 脱炭素化, 防災, 地域課題, and ごみ減量. A central box labeled '進出企業' (Incoming Companies) and '地元企業・団体' (Local Enterprises/Groups) is connected by a circular arrow. An arrow points from this cycle to a box '地域課題解決に向けた先端サービスの実装化事業' (Implementation of advanced services for regional issue resolution). This leads to '地方創生' (Local Revitalization), which includes '新たな「しごとづくり」による企業・社員の定着' (Retention of companies and employees through new job creation) and '先端サービスの実装による地域課題の解決' (Resolution of regional issues through advanced service implementation). A note mentions '実証から実装へ' (From proof to implementation) involving '地元企業等と進出企業との連携による先端サービスの実装化と地域経済の底上げ' (Implementation of advanced services and regional economic improvement through cooperation with local companies).</p> </div> </div>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業によって創出された関係人口 (+2,800人) ②本事業によって創出された関係企業 (+153社) ③新たに生まれた地域プロジェクトの件数 (+32件) ④移住やビジネス交流等に関する相談件数 (+320件)		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2022100500011/ (効果検証) https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2016111100032/

※福島県、会津若松市、白川市の広域連携事業

事業概要【デジタルを核とした新たな県産品販路拡大プロジェクト】

推進当初

申請者	福島県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	292,522千円 (57,197千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<p>変化する消費者の志向に対応し、消費者に選ばれる強い商品力を持った商品開発を支援することで、プロダクトアウトからマーケットインへのビジネスモデルの転換を図る。 また、デジタルチャネルを活用しつつ、しっかりとした顧客目線のコンテンツによるマーケティングを行うことで、狙った消費者へ確実に訴求し、県産品の販路拡大を図る。</p>		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・Webサイトを活用したプロモーション 17,348千円 ・SNSを活用したプロモーション 15,652千円 ・オンラインコミュニティを活用したプロモーション 7,000千円 ・県内外のクリエイターと県内事業者とのマッチングによる商品開発・改善 4,723千円 ・デザインコンテストの開催 9,207千円 ・SNSによる情報発信及びWEB媒体等のメディアを活用した効果的なポップアップ 3,267千円 	  <p>2022-23 グランプリ 福島県内 六酒蔵酒粕 ジェラート セット</p>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①デジタルマーケティング事業に係るWEBサイトユーザー数 (サイトへ訪問した人数から重複を除いた人数) (+498,000数) ②WEBサイトの直帰率 (最初のページだけを見て離脱してしまったセッションの割合) (▲20%) ③ふくしまの酒まつりへの参加者数 (+3,500人) ④開発商品及び受賞商品の売上額の拡大 (事業実施の翌年度計測) (+50%) 	関連URL	(交付金の具体的用途・実施体制) https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/ (効果検証) http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html

事業概要【多世代共生の潤いのまちづくり「誰もが楽しく生涯活躍できる"みちのくの玄関白河"」】

推進当初

申請者	福島県白河市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	269,634千円 (34,584千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	本市の魅力さをさらに強化・発展させるとともに、年をとっても活躍しながら住み続けられる安心や経済的な安定を提供する環境を整備し、多世代共生の潤いのまちづくりを進めることで、「誰もが楽しく生涯活躍できる『みちのくの玄関白河』」の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○女性に寄り添うライフ・ワークサポート社会実装事業 子育て等によるblankから就職に不安がある女性等を対象としたワークショップ・セミナーの開催 (委託料 6,796千円)</p> <p>○地域プレーヤー創出・育成事業 地域ビジネスに高い関心を有する人材の発掘・育成 (委託料 7,178千円)</p> <p>○文化芸術活用による人材ハブ機能促進事業 文化と芸術に関連する地域資源を活用した本市への多様な人の流れを生み出す (委託料 1,590千円)</p> <p>○しらかわ移住魅力発信事業 本市に移住した際の魅力をYouTubeで発信 (委託料 5,320千円)</p> <p>○しらかわ移住コーディネーター配置事業 移住希望者からの相談への対応や移住等に係る制度の活用支援 (委託料 880千円)</p> <p>○いきいき健康ポイントプログラム事業 ウォーキング等への参加等にポイントを付与する健康ポイントプログラムの実施 (委託料等 10,427千円)</p> <p>○高齢者見守り生活支援事業 高齢者の見守りと買い物支援の実施 (委託料 811千円)</p> <p>○市営住宅お試し居住提供事業 市営住宅の空き部屋を二地域居住や移住体験施設として活用 (修繕費667千円、リース料915千円)</p>		 <p>【ワークショップの様子】</p>  <p>【本市の魅力発信】</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①市独自の支援制度を利用した移住・定住者数 (累計) (+900人)</p> <p>②本事業を通じ本市を訪れた大学生等 (高等教育機関の学生) の数 (+110人)</p> <p>③起業者及び新規法人設立数 (+12件)</p> <p>④生涯活躍事業 (本事業) に参加した市民の数 (+7,000人)</p>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的用途・実施体制) https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html (効果検証) https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html</p>

事業概要【ポピュレーションアプローチの強化による健康増進及び産業活性化事業】 推進当初

申請者	福島県喜多方市	初回採択回	令和3年度第2回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	117,392千円 (20,073千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期からの楽しみながら体を動かす機会や場の提供により、生涯を通じた運動習慣の定着を図る。 ・成長期の適度な運動と食育により望ましい食生活習慣を実践し、子どもの健全な発育・発達を図る。 ・食育応援店等の協力店で利用できる商品券を交付することにより、市内全域の経済の活性化を図る。 ・子どもの健康をテーマとした取組みと、多様な観光資源の融合により、新たな交流人口の創出を図る。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもが楽しめる「スポーツ健康ゾーン」の管理運営 <ul style="list-style-type: none"> ・管理運営業務委託料 14,475千円 (スポーツ体験会・イベント等開催経費を含む) ○ 子どもの成長が見える化できる「体組成測定」の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・測定業務委託料 198千円 ○ 「m (めぐ) ポイント事業」や協力店の拡大に関する経費 <ul style="list-style-type: none"> ・健康コーディネーターの配置、商品券及び事業周知パンフレット等作成経費 3,500千円 ○ 新たな観光コンテンツの周知PR活動経費など <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット等印刷経費等 1,900千円 		 <p>子どもが楽しめる「スポーツ健康ゾーン」の管理運営</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①スポーツ健康ゾーンの利用者数 (+50,000人) ②肥満傾向児出現率減少値 (小5男子) (▲7%) ③市「食育推進連携事業」参加者数※児童等 (+200人) ④観光客入込数 (+5万人) 		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制)</p> <p>https://www.city.kitakata.fukushima.jp/site/aidemi-kitakata/ (効果検証)</p> <p>https://www.city.kitakata.fukushima.jp/soshiki/kikaku/13173.html</p>

事業概要【いばらきサイクルツーリズム推進強化事業】

推進当初

申請者	茨城県ほか11自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	298,517千円 (55,447千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<p>人口減少が著しい県北・県央地域において、官民で設立した協議会と連携しながら、サイクルツーリズムの推進による地域振興につなげるとともに、移住・定住の促進に関わる施策を推進することで、将来的に人口増大及び産業振興、地域の雇用確保等につなげる。併せて、サイクルツーリズムによる滞在型観光の構築による消費喚起策を講じ、自転車活用推進によるサイクリング立県いばらきとしての地域ブランド確立を通じ、地方創生を実現する。</p>		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○稼げる地域づくりの実現に向けた環境創造事業 ・首都圏や台湾へのプロモーション等 (委託料等) 14,566千円 ○サイクリングフロンティア開拓事業 ・マイクロサイクルツーリズムの推進及びサイクリングを通じた移住・定住の促進、協議会運営の負担金等 (委託料等) 7,300千円 ○市町村におけるサイクリング訪問客の受入態勢の構築やサイクリングイベントの実施、レンタサイクルの活用促進等 (委託料等) 11,780千円 ○サイクルステーション整備に係る支援 ・サイクリストに必要な設備導入経費の一部の補助、案内看板設置等 (補助金、委託料等) 10,000千円 ○シェアサイクルの整備、自転車の購入等 (委託料等) 11,801千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①サイクリスト宿泊者数 (+1,047人) ②サイクリングを伴う教育旅行の誘致回数 (+25回) ③移住・定住向けサイクリングツアーの参加者数 (+80人) 		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制) https://ringringroad.com/cyclingibarakai/ (効果検証) https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/keikaku/chiho/koukakensyoubuka.html</p>

↑ 台湾で開催された台北サイクルでの出展ブース (令和6年3月)

※茨城県、水戸市、日立市、常陸太田市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、茨城町、大洗町、城里町、東海村、大子町の広域連携事業

事業概要【スタートアップ・エコシステム拠点都市推進事業】

推進当初

申請者	茨城県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	643,034千円 (128,526千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<p>県内ベンチャー企業が事業拡大できる支援体制を強化・構築し、地域経済の好循環が生み出されることを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術シーズとニーズ（顧客・社会課題）を結びつけた上での事業化・社会実装 ・ベンチャー企業の「ミドル」段階意向への成長支援 ・国内外のスタートアップ・エコシステム拠点との連携促進による新事業展開や新たな投資の呼び込み 		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ニーズを捉えた技術シーズの発掘・事業化支援 <ul style="list-style-type: none"> ・技術シーズの発掘、事業化に向けた課題の整理、解決に向けた支援、事業会社との共同研究の推進：25,000千円 [委託費等] ・実証試験の実施：11,000千円 [補助費等] ○ベンチャー企業の「ミドル」以降への成長 <ul style="list-style-type: none"> ・海外VCなどからの資金調達支援等：29,026千円 [委託費] ・ライフサイエンス分野のベンチャー企業を対象にしたプログラム：27,000千円 [委託費] ○国内外のスタートアップ・エコシステム拠点との連携促進による新事業展開、新たな投資の呼び込み 36,500千円 [委託費等] 		 <p>New Yorkでのピッチの様子</p>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①支援により資金調達1億円を達成した企業 (+10社) ②支援企業（つくば創業プラザ分室、海外展開支援、成長プログラム）の雇用者（常勤役員含む）の増 (+52人) ③実証実験数実施件数 (+20件) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.ibaraki.jp/shokorodo/sangi/sougyou_venture3.html</p>
<p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>			

事業概要【高度IT人材等育成・新事業創出支援事業】

推進当初

申請者	茨城県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	108,849千円 (21,989千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	県内企業による付加価値創出や労働生産性向上に向けた取組の後押しを進め、データ利活用人材の育成や事業展開に向けて必要なスキル人材の育成を通じて、本県の産業活性化を図り地域経済の好循環が生まれることを目指す。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>1 高度IT人材育成・新事業創出支援事業(16,989千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内企業のうち、新事業創出にあたりデータ利活用に取り組む企業（取り組みたい企業を含む）、データ利活用企業予備軍（社内に蓄積したデータがあるもののデータ利活用まで取り組むことができていない企業）を対象として、データ利活用に係るスキル習得のためのカリキュラムの提供 <p>2 中小企業人材育成支援事業（5,000千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内中小企業等を対象に、デジタルスキルに係る資格取得やスキルアップのための研修参加費等を補助し、新分野進出及び新製品の開発等を支援する。 	<p>勘や経験に頼った製造の見える化 IoT機器を活用したセンシング</p> <p>×</p> <p>データサイエンス</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・製品品質の向上や均等化 ・機器の故障予知 	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①講座を通じて習得したスキルを用いて事業（課題解決、新事業展開）に取り組んだ企業数（+145社）</p> <p>②講座受講者数（+335人）</p> <p>③高度IT人材育成に係る講座受講者のうち、アソシエートレベル以上のスキルを有すると認定される者の数（+42人）</p>	関連URL	https://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/s-hokorodo/sanjin/index.html

事業概要【若者かがやき事業】

推進当初

申請者	茨城県日立市	初回採択回	令和3年度第1回募集	
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	37,350千円 (8,993千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が主体となったまちづくり、地域課題解決、関係人口創出等に取り組むことができる体制づくり ・若者が主体となった取組支援を通じた「かがやく若者」の育成 ・若者の起業・就業、移住・定住等を広く支援する体制づくり 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○「ひたち若者かがやき会議」の運営・講座等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・若者かがやき会議への支援 (補助金) 3,000千円 ・事務経費 (通信運搬) 53千円 ○若者団体等への取組支援 <ul style="list-style-type: none"> ・出会い等に係る取組支援 (補助金) 3,000千円 ・まちの形成に係る取組支援 (補助金) 1,500千円 ○若者の人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザーの設置 (報償費) 1,440千円 			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①本事業で組織する「ひたち若者かがやき会議」(地域課題解決等に取り組む若者)の人数 (関係人口数) (+54人) ②本事業で実施する講座・イベント等の参加者数 (+110人) ③若者支援コンシェルジュ支援件数 (+120件) 		関連URL	https://www.city.hitachi.lg.jp/shisei/seisaku_zaisei/1003276/1003280/1003281.html#hyokakaigi-kekka

事業概要【サイクリングによる地域活性化事業】

推進当初

申請者	茨城県土浦市ほか3自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集	
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	101,683千円 (14,204千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・前身事業の課題である「地域での消費喚起の促進」「サイクリスト層から一般層へのターゲットの拡大」を解決し、サイクリングを活用した地域の消費額向上による商業振興及び移住・定住の促進を図る。 ・サイクリングによる健康づくりを推進し、住民の体力向上による健康寿命の延伸や生活習慣病疾の減少を図る。 ・自転車交通ルールを学習することができる場を設けマナー向上を促すことにより、一層の自転車文化醸成を図る。 			
事業概要・ 主な経費 ※経費はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○地域での消費喚起を目的としたサイクリングイベント等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・4市合同ライドア라운드 (委託料) 3,334千円 ・サイクルズ運航事業 (委託料) 1,676千円 ・散走ツアー (委託料) 240千円 ○充実したサイクリング環境を活用した移住・定住の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク移住体験ツアーの開催 (委託料等) 914千円 ・サイクリングを含めたアクティビティ環境の充実と情報発信 (委託料等) 3,493千円 ・サイクルプロモーション促進事業 (委託料等) 3,826千円 ○サイクリングによる健康づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・健康サイクリング、サイクリング啓発事業 (委託料等) 367千円 ○自転車に関する交通安全教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども自転車乗り方教室 (委託料) 354千円 			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ① 4市エリアをフィールドとした4市合同サイクリングイベント「ライドア라운드」消費金額 (+228千円) ② 4市エリアをフィールドとした4市合同サイクリングイベント「ライドア라운드」参加者数 (+228人) ③ サイクリスト来訪者数 (+1,448人) ④ サクルズ利用者数 (+115人) 		<p>関連URL</p> <ul style="list-style-type: none"> https://www.city.tsuchiura.lg.jp/page/page019258.html https://www.city.itako.lg.jp/page/dir008978.html https://www.city.kasumigaura.lg.jp/page/page015857.html https://www.city.namegata.ibaraki.jp/page/dir004825.html 	

※茨城県土浦市、潮来市、かすみがうら市、行方市の広域連携事業

事業概要【持続可能な地域づくりに向けた地域資源マネタイズプロジェクト】

推進当初

申請者	茨城県つくば市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	91,267千円(18,843千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺市街地における「稼ぐ力」の意識改革を行い、地域の賑わい創出と経済の活性化を図る。 ・多様な人材が地域づくり活動に参画する仕組みをつくる。 		
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○チャレンジエリア形成事業(委託料) 4,817千円 コンテストの開催費、受賞者への活動経費助成、チャレンジショップの運営費 ○稼げる地域づくりの加速化事業(委託料) 4,823千円 (仮称)R8レポートの作成、勉強会の実施、サポート人材の派遣 ○地域づくりへの多様な人材参画促進事業(委託料) 6,706千円 活動人材を集める制度の設計・運用、活動経費助成 ○【ハード経費】チャレンジエリア形成事業 2,497千円 活動経費助成(店舗設備経費)(委託料)、チャレンジショップの設備賃借(委託料)、チャレンジショップの設備賃借(委託期間外) 	<ul style="list-style-type: none"> ○チャレンジエリア形成事業 ○稼げる地域づくりの加速化事業  	<ul style="list-style-type: none"> ○地域づくりへの多様な人材参画促進事業  
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①ネットワーク組織に関連した新規の事業収入 (+23,000千円) ②チャレンジショップ入居者及び対象エリアでの開業件数 (+8件) ③専門家による自走化の支援件数 (+12件) ④コンテストの開催等を通じた地域づくりへの新たな人材の参画者数 (+28人) 	関連URL	(効果検証) https://www.city.tsukuba.lg.jp/sos/hikikarasagasu/seisakuinnovationbukikakukeieika/gyomuannai/4/3/1004715.html (交付金の具体的使途・実施体制)調整中

事業概要【市民中心のSociety5.0社会推進事業】

推進当初

申請者	茨城県つくば市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事費)	45,220千円(5,647千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的(効果)	科学分野のヒト(研究者)・コト(研究成果)・モノ(研究機関)が集積する日本最大の研究学園都市を擁する本市の強みをいかし、AI(人工知能)、IoT(Internet of Things)、ビックデータ、ロボティクス等の最先端の未来技術の実証実験→市場調査→市場投入という一連のプロセスを通じた社会実装の支援と、様々なデータ利活用(連携・共有)を推進することで、市民のための課題解決に繋がる新産業・サービスが次々と生まれる新たな社会システムづくりを進める。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>1 地域課題解決型未来技術実証実験支援 3,647千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 審査会委員及び専門家助言謝礼：412千円 ② 広報関連経費：784千円 ③ 審査会運営委託料：275千円 ④ 実証実験経費支援負担金：5,000千円 <p>※ 但し、①②③の全額と④の1,353千円については交付対象事業費の対象外とし、市財源にて対応する</p> <p>2 市場や市民のニーズ調査支援 2,000千円</p> <p>本市が過去に支援した実証実験を通じて社会実装された製品・サービス等のホームユーステスト負担金：2,000千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域課題解決型未来技術実証実験の支援により社会実装(実用化)に至った件数 (+8件)</p> <p>②新規創業数 (+87件)</p>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.city.tsukuba.lg.jp/s/oshikarasagasu/seisakuinnovat/ionbukikakukeieika/gyomuannai/4/3/1004715.html</p>

事業概要【「ウェルカム！こだわりさん。」 ひたちなか市移住・定住促進事業】

推進当初

申請者	茨城県ひたちなか市	初回採択回	令和3年度第1回募集	
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	101,173千円 (26,520千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や事業者と連携しながらプロモーション及び移住・定住促進事業を実施する ・特に若い世代を中心とした転入促進・転出抑制に取り組む ・市民の自発的な情報発信に繋がるシビックプライド醸成を目的とし、市民参加型の取組や市民の自発的な魅力を発信するイベント・企画を実施する 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○マーケティング推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ▶公式ホームページ特設サイトの運営 (使用料) : 600千円 ▶SNSを活用した情報発信 (報償費等) : 585千円 ▶ファンベースプラットフォームの運営 (委託料等) : 5,675千円 ▶プロモーション等の実施 (委託料等) : 8,421千円 ▶シビックプライド醸成事業 (補助金) : 2,630千円 ▶まちづくり達成度調査業務委託 (委託料) : 3,204千円 ▶マーケティングに関する専門家等への招聘経費 (報償費) : 600千円 ○移住・定住促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ▶移住・定住促進窓口の運営 ▶移住体験ツアーの実施 (委託料) : 589千円 ▶～TSUNAGARU Hitachinaka～絆構築プロジェクト (委託料) : 4,216千円 			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①移住世帯数 (+1870世帯) ②お試し移住体験者数 (+101人) ③首都圏在住者のひたちなか市の認知度 (+2.60%) ④本市に誇りや愛着 (シビックプライド) を感じる市民の割合 (+2.60%) 		関連URL https://www.city.hitachinaka.lg.jp/shisei/keikaku/1001631/1007610/1001633.html	

申請者	茨城県守谷市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	43,304千円 (5,282千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<p>市の中心に位置する守谷駅東口市有地を多くの市民や市民団体、市内事業者や民間企業などが集まる駅前の拠点とし、人々の賑わいにより創出された魅力がさらに多くの「ひと」と「企業」を呼び込む相乗効果を創出する。この官民連携で創りあげる魅力ある付加価値（ブランド力向上）により、東口市有地は「守谷市の本当の住み良さ」を象徴する場所にする事で、他自治体との差別化を図り、中長期的なU・I・Jターンを促進することを目的とする。</p>		
<p>事業概要・主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○商業施設運営事業者・市で組織する「ランチパーク守谷活性化推進会」が中心となり、賑わい創出のための各種イベントを実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・イベント企画・調整・開催（負担金） 3,020千円 ・広告宣伝費 600千円 ・その他需用費 200千円 ○市民団体、地域団体等が合同企画を検討するための会議運営を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・会議運営委託 330千円 ○イベント実施に必要な照明や仮設屋根、防音壁等の環境整備を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・仮設屋根、仮設防音壁購入（備品購入費） 500千円 ・イベント照明購入（備品購入費） 300千円 ・E棟空調機器増設 200千円 	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>協議会主催イベントの様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>可動椅子・テーブル</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>あなたの “やってみよう”を現実に</p> <p>お知らせ</p> <p>オープンスペース施設HP</p> </div>	
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①駅前周辺市街地の人口増（過去3年平均の増加数）（+104人） ②市民生活総合支援アプリによるアンケートでの駅前ににぎわいがあると思う市民の割合（+8.50%） ③協議会が実施するイベントの集客数（+30,000人） 	<p>関連URL</p>	<p>https://www.city.moriya.ibaraki.jp/shisei/keikaku/1004562/1004563/index.html</p>

申請者	茨城県那珂市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	22,274千円 (4,580千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・農畜産物加工の会議体の運営を行い新商品開発 ・加工品PRのイベント運営による販路開拓 ・農商工連携の農産加工品開発支援と高品質化支援による農畜産物の高付加価値化、売上向上 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	1 6次産業化推進事業 (1) 新商品開発の会議立ち上げ・運営費 【委託料 3,102千円】 (2) 農産物パウダー試作加工 【委託料 598千円】 2 農商工連携事業 (特産品のカボチャの利用促進) (1) 商品開発及び商談会用試食食材調達 【消耗品費 880千円】		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①本事業における新規就農者数 (+13人) ②本事業による農産物等の売上高 (+35百万円) ③本事業による販路開拓機会の創出による新規取引件数 (+15件)	関連URL	https://www.city.naka.lg.jp/page/page004107.html

事業概要【地域資源をフル活用した「みらい型農園事業」】

推進当初

申請者	茨城県つくばみらい市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	34,296千円 (3,187千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	担い手の高齢化や後継者不足等により、農業を支える人材が不足し、基幹産業の農業が衰退しないよう、農業体験事業等を通じた興味関心の促進や農業関係人口の増加、農業関連事業者と連携した農業振興施策、ICT技術を活用した農業経営の確立等を図っていくことにより、農業を主軸とした地域活性化を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○農業体験事業 325千円 (うち申請額216千円) 花育事業や地域資源を活用した農作業や収穫の体験事業を行う。</p> <p>○農業参入等支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業参入環境整備事業 3,699千円 (うち申請額2,466千円) ・スマート農業推進事業 605千円 (うち申請額400千円) ・販路・消費拡大支援事業 122千円 (うち申請額75千円) <p>○みらい型農業推進協議会 30千円</p> <p>市内の農業を取り巻く状況を踏まえた施策や事業参加者の増加策等について検討を行う。</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①農業参入者数 (+16人)</p> <p>②耕作放棄地解消面積 (+440a)</p> <p>③新規ブランド件数 (+5件)</p> <p>④農業教育事業参加者数 (+115人)</p>	関連URL	調整中

申請者	茨城県境町	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	637,603千円 (112,729千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<p>本町で定常運行している自動運転バスにおいて、町中心部と郊外（交通空白地域）を結ぶ路線を整備すること、また、沿線の商業施設と連携し生活必需品の配送等を行う取り組みにより、「すべての住民が生活の足に困らない町」を実現する。また「自動運転バスの運行」そのものを町の重要なインフラとして活用することで、観光産業及び付随する産業を育成していく。これにより、交流人口の拡大、移住定住の推進、地域経済の活性化、雇用の創出を実現し、あらゆる住民が住み続けられるサステナブルなまちづくりを実現する。</p>		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○自動運転バスを活用し、本町郊外に広がる交通空白地域の解消、また生活必需品の配送等により町民の更なる利便性の向上を図る取り組み 108,593千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅近くにバス停がない交通空白地域、路線バス沿線だが町中心部への移動が不便な地域について、町中心部へつなげる路線を整備 ・各地域同士や、観光拠点、スポーツ施設等をつなげた路線を整備 ・飲食店、商店等と連携し、沿線住民等の買い物を支援するシステムを導入 <p>○自動運転バスを町の重要な資源として活用する取組み4,136千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動運転バスを目的として訪れる観光客、視察者の積極的な受け入れ ・町民のシビックプライド向上に向けた啓発活動、P R品等の作成 ・サービス提供に必要な技術者や運行・整備技術者などを含む幅広いノウハウを習得できる人材育成・資格制度等の整備 		 <p>全国自治体初公道運行実施中の自動運転バス</p>
KPI	<ol style="list-style-type: none"> ① 宅配サービス、道の駅さかいへの物資発送サービスの利用者数 (+10,800人) ② 自動運転バス運行に関する雇用者数 (+23人) ③ 連携自治体数及び関係企業数 (+20団体) ④ 自動運転バスの乗客数 (+23,000人) 		関連URL https://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp/page/page000799.html
<small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>			

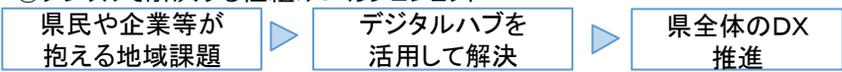
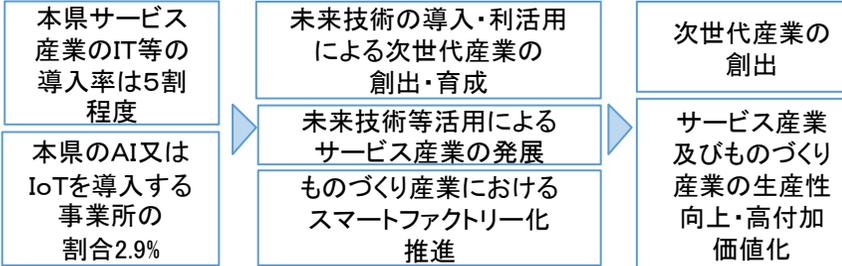
事業概要【スマート林業推進事業】

推進当初

申請者	栃木県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	253,168千円 (41,616千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・林業産出額の増加や、高度な技術・知識をもった林業労働者の確保・育成に向けた対策の推進を図る ・森林資源情報を的確に把握し、効率的な施業を実施するとともに、施業地の集約化等を図る ・未来技術の活用により、林業における現場の自動化・省力化等を実現し、労働生産性と安全性の向上を図る ・木材を適切に流通させるため、規格・品質など需要に応じた生産体制(マーケットイン)の構築を図る 		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○森林資源情報のデジタル化・可視化 ・県内民有林における航空レーザ計測・森林資源解析等の実施(林野庁補助事業活用) ○自動化林業機械等を活用した労働生産性等の実証 ・未来技術の試験的導入 (委託料) 37,434千円 ・労働生産性の調査・分析等 (委託料) 4,182千円 ○生産管理のICT化 ・生産管理システムに係る基礎調査、システム構築等 		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①林業産出額 (+ 30億円) ②木材生産性(主伐)※モデル地区 (+ 20m³/人日) ③労働災害ゼロの施業地※モデル地区 (+ 15地区) ④林業新規就業者数 (+ 15人/5年) 	<p>関連URL</p>	<p>https://www.pref.tochigi.lg.jp/d01/smartringyou.html</p>

事業概要【Society5.0の実現に向けた栃木県DX推進事業】

推進当初

申請者	栃木県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	826,364千円 (179,554千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<p>①デジタルで解決する仕組みづくりプロジェクト 企業、大学、県、市町等の協働により、デジタル技術を積極的に活用して地域課題を解決し、Society5.0を見据えた県全体のDXの推進を図る。</p> <p>②未来技術等を活用した地域経済活性化プロジェクト 未来技術等の導入・利活用による次世代産業の創出や、サービス産業及びものづくり産業の生産性向上・高付加価値化の実現を図る。</p>		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度 事業費	<p>○地域課題を企業、大学、県、市町等が共有し、協働して問題の解決に取り組む新たなプラットフォーム「デジタルハブ」の創設・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「デジタルハブ」の構築・運営 (委託料) 18,388千円 ・周知広報費 (委託料) 3,658千円 ・研修費 (委託料) 1,540千円 <p>○未来技術の導入・利活用による次世代産業の創出・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「とちぎビジネスAIセンター」運営 (委託料) 52,190千円 <p>○未来技術等活用によるサービス産業の発展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化等社会経済情勢の変化に対応するDXの推進を目的とした、ビジョン・戦略の策定や組織改革等のコンサルティング支援 (委託料) 27,304千円 <p>○ものづくり産業におけるスマートファクトリー化推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートファクトリー伴走支援 (委託料) 6,842千円 		
KPI	<p>①「デジタルハブ」により解決した地域課題プロジェクト数 (+13プロジェクト)</p> <p>②AI又はIoTを導入する事業所の割合 (+20.1%)</p> <p>③商業・サービス業事業者の経営革新計画承認件数 (+140件)</p> <p>④スマートファクトリー化に取り組む企業数 (+40社)</p>		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度 事業費	<p>①デジタルで解決する仕組みづくりプロジェクト</p>  <p>②未来技術等を活用した地域経済活性化プロジェクト</p>  <p>①「デジタルハブ」により解決した地域課題プロジェクト数 (+13プロジェクト)</p> <p>②AI又はIoTを導入する事業所の割合 (+20.1%)</p> <p>③商業・サービス業事業者の経営革新計画承認件数 (+140件)</p> <p>④スマートファクトリー化に取り組む企業数 (+40社)</p>		
関連URL	<p>https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html</p>		

申請者	栃木県足利市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	61,502千円 (12,884千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな地区の担い手の確保・育成を図る ・地域資源を活かした住民主体による観光・交流振興を行う ・地区の活性化を図るとともにその魅力を発信することで、転入者の増加を図る 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度 事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○体験型観光施設「名草ふるさと交流館」の活用 ・拠点運営 (委託料) 5,527千円 ○体験型観光を取り入れた情報発信やプロモーション活動の推進 ・農業体験プログラム等交付金 1,857千円 ・里山体験移住ツアー造成 (委託料) 2,000千円 ・プロモーション動画作成 (委託料) 1,500千円 ○空き家のリノベーションとライフスタイルのPR ・大学との共同研究 (委託料) 2,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①足利・名草ふるさと自然塾運営協議会の新規参加者数 (+12人) ②事業年間利用者数 (+1,100人) ③新名物年間販売額 (+120万円) ④名草地区への年間転入者数 (+14人) 		<p>関連 URL</p> <p>https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/goverment/000085/000472/p005168.html</p>

事業概要【群馬県インバウンド誘客推進事業】

推進当初

申請者	群馬県ほか2自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	338,765千円 (48,960千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・アフターコロナを見据えた世界的な旅行需要の取り込みを図る ・群馬県の魅力を海外に発信し、具体的なインバウンド誘客の獲得につなげる ・情報収集から予約手配、移動・交通といった旅行プロセス全体におけるインバウンド対応能力の向上を図る ・量から質への転換を図る新たなマーケティングとプロモーションを実施する 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○観光関連施設サービス等高度化事業 新たな旅行スタイルやトレンドを踏まえたインバウンド対応能力を向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光関連施設サービス等高度化プロジェクト事業 6,200千円 <p>○ビジネスモデルの転換事業 量から質への転換に適した新たなマーケティングの確立を図るほか、高付加価値コンテンツを創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな滞在スタイルデジタルプロモーション 24,038千円 ・台湾・中国向けファン・リピーター獲得事業 7,800千円 ・多言語対応観光発信サイトの拡充や機能追加 10,922千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①外国人宿泊者数 (+538,000人泊) ②外国人宿泊者1人あたり平均宿泊日数 (+0.47泊) ③専用サイトセッション数 (+1,009,104セッション) ④Gunma Excellence施設数 (+63施設) 		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証)調整中</p>

※群馬県、中之条町、みなかみ町の広域連携事業

事業概要【eスポーツを活用した産業・地域活性化事業】

推進当初

申請者	群馬県	初回採択回	令和3年度第1回募集	
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	238,842千円 (34,892千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光誘客や中心市街地の賑わいを促進し、地域の活性化を図る(まちづくり) ・高齢者や障害者福祉への活用により社会参加・活躍の場を作り出す (ひとづくり) ・eスポーツを切り口に、デジタルツールを活用できる人材を育成する (ひとづくり) ・eスポーツ・イベント関連関連事業者や周辺産業の育成により県内経済の活性化を図る。(しごとづくり) 			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○地方創生イベントを支援し、中心市街地などで実証を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催支援(実況者等の派遣) 600千円 ・実証イベント開催(イベント運営費) 264千円 ○大会規模を拡大し、海外とのエキシビジョンマッチを行う <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会負担金(運営委託費) 20,694千円 ○大会・イベントへ出展・連携し、本県ならではの取組を発信する。 <ul style="list-style-type: none"> ・出展料 4,000千円 ○体験・理解醸成・ビジネスにつながる社会人リーグの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会負担金(運営委託費) 2,134千円 ○関連産業の注目度を高めるeスポーツ実況王決定戦の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会負担金(運営委託費) 4,334千円 ○体験会や大会を通じて、高齢者・障害者の社会参加を促進する。 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉×eスポーツ推進事業：866千円 ○高校生対象のeスポーツの実証事業 <ul style="list-style-type: none"> ・教育的eスポーツの実証事業：2,000千円 			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①全国規模の大会・イベントの開催数 (+10回) ②群馬県主催等事業(大会・イベント)の視聴回数 (+50,500回) ③eスポーツ活動(部活・同好会)に取り組む企業数 (+22社) ④人材育成数(セミナー・各種講座等の参加者・視聴者数) (+1,600人) 		関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (評価検証) 調整中

申請者	群馬県	初回採択回	令和3年度第1回募集	
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	291,008千円 (66,092千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・次代を牽引する新たな産業として、成長が見込まれ、高い経済効果をもたらすクリエイティブ産業を育成する ・クリエイティブ産業の育成や地域振興に寄与する人材の発掘・育成を行うことで、クリエイティブな人材が集まり、魅力的なコンテンツが次々と創出される群馬県のクリエイティブ拠点化を目指すものである ・県内コンテンツに新しい価値を付加することで、新コンテンツを磨き上げて創出し、県のブランド力を向上させる 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	○クリエイティブ拠点化の推進 世界から才能が集まるクリエイティブ拠点化を実現するため、以下3点の施策を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・クリエイティブ人材の育成 30,691千円 ・クリエイティブ活躍支援 8,880千円 ・クリエイティブ産業の集積 5,048千円 ・デジタルプレゼンテーション 2,880千円 ○クリエイターのアート活動による地域振興 クリエイター（アーティスト）の支援を・育成等を通して、アートによる地域振興や地域経済の活性化を図る <ul style="list-style-type: none"> ・クリエイター（アーティスト）支援 7,193千円 ・アート教育によるクリエイティブ（アーティスト）育成 1,400千円 ・メディア芸術を活用したクリエイティブ人材の育成 10,000千円 			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①デジタルクリエイティブセンターイベント参加者 (+515人) ②クリエイターデータベース登録者数 (+123人) ③メディア芸術を活用したクリエイティブ人材の育成 (+2,500人)		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (評価検証) 調整中	

事業概要【ものづくり産業DX推進事業】

推進当初

申請者	群馬県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	708,220千円 (158,300千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<p>・「デジタルファクトリー」・「デジタルエンジニアリング」の導入を県内中小ものづくり企業においても広く実践することで、競争力を強化し、本県のものづくり産業の活性化を図る</p> <p>・「ものづくり産業におけるDX」を実現していくための環境を構築し、人材育成等の各種事業を実施</p> <p>・デジタル技術の意義と活用を理解した経営者・エンジニア、県内中小製造業を育成する</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>○実証環境構築のためのシステム構成の改修等 ・ハード整備 10,000千円 保守委託・通信費 10,000千円</p> <p>○企業のデジタル技術導入を幅広くハンズオン支援する ・デジタルファクトリー実証・コーディネート事業 22,074千円</p> <p>○デジタルファクトリー構築に必要なデジタル人材育成を行う ・AI活用人材育成講座 5,222千円 ・ロボット導入実証支援 1,474千円</p> <p>○企業の競争力を強化するためデジタルエンジニアリングの導入支援 ・デジタルエンジニアリングコーディネート事業 32,416千円 ・デジタル技術を活用した研究開発支援 60,230千円 ・先端セミナー 153千円</p> <p>○CAE・MBD・3D金属積層技術活用のための人材育成 ・3D金属積層技術講座 3,300千円 ・デジタルエンジニアリング講座 13,431千円</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>		
	<p>DSL (デジタルソリューションラボ) を拠点とした支援イメージ</p> <p>導入の事前検討、推進計画、実行支援に伴走したデジタル化支援【伴走支援】</p> <p>課題の洗い出し → 目指す方向性の整理・検討 → 活用するデジタル技術の検討 → デジタル技術導入にあたっての助言</p> <p>生産性・付加価値の向上</p>		
KPI	<p>① 5G適用可能技術導入支援件数 (+17件)</p> <p>② デジタルエンジニア育成関連事業修了者数 (+270人)</p> <p>③ CAE活用企業比率 (+252%)</p> <p>④ 金属積層技術の活用による試作等受託件数 (+32件)</p>		
	関連URL	<p>(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (評価検証) 調整中</p>	

申請者	群馬県前橋市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	121,979千円 (23,460千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・登録制学習スペースを設置し、高校生に学びの場を提供することで学力向上と前橋駅前の活性化を図る ・相談、情報提供、仲間づくり、社会参加を通じて自立心や地元愛を醸成し、高校卒業後に途絶えがちな市とのかかわりを継続させる ・地元定着やUターン就職の促進を図り、将来の前橋市を担う人材育成と地元企業の活性化を推進する 		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>○学習室設置により、高校生に自主的な学びの場を提供することで学力向上を支援</p> <p>・学習室運営事業</p> <p>①運営委託料 9,800千円</p> <p>②賃借料 10,723千円</p> <p>③事務費 1,829千円</p> <p>○相談、情報提供、仲間づくり、社会参加を通じて自立心や地元愛を醸成し、高校卒業後に途絶えがちな本市とのかかわりを継続</p> <p>・青少年体験・チャレンジ活動事業</p> <p>①講師謝礼 977千円</p> <p>②オンライン講座用機材リース代 131千円</p>		
KPI	<p>①学習室利用者数 (延べ人数) (+36,000人)</p> <p>②ジョブセンターまえばし利用登録者の市内事業所就職者数 (+2,750人)</p> <p>③情報受信登録者数 (+2,000人)</p> <p>④学習室利用登録者の地域活動参加者数 (+40人)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.maebashi.gunma.jp/soshiki/seisaku/seisakusuisin/gyomu/5/2/3255.html</p>

申請者	埼玉県さいたま市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	47,942千円（10,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	SOIPとはスポーツの場におけるオープンイノベーションを促進し、スポーツへの投資促進やスポーツの価値高度化を図り、スポーツの場から他産業の価値高度化や社会課題の解決につながる新たな財・サービスが創出される社会の実現を目指す取り組みであり、本取組を通して、社会課題の解決やコミュニティの創出、関係人口増加に寄与するとともに、スポーツ産業をはじめとする新産業の創出及び既存産業の活性化を目指す取組である。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>さいたま市版SOIPの本格運用として、5つの推進テーマに即したプログラムを実施し、企業間にコンソーシアムを組成するとともに、それぞれの進捗や進め方に応じ市場展開型テストマーケティング等を実施し、ビジネス展開につなげる。</p> <p>さいたま市版SOIP本格運用（オープンイノベーションプログラム実施）経費 10,000千円</p>		<p>コンソーシアム（テーマ別に設定）</p> <p>プロスポーツクラブ さいたま市 事業者 SSC 大学研究機関 金融機関 提携・実証実験 ベンチャー企業 市民・学生 各種団体 地域コミュニティ 協力・連携 パートナーシップ・連携 市外事業者</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ① 支援事業を通じた起業による新規雇用者数（+70人） ② 支援事業を通じた企業誘致件数（+7社） ③ 支援事業への加入・参加企業数（+80社） ④ 支援事業により実施したテストマーケティングの数（+20件） 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.saitama.jp/006/008/002/012/004/004/p098287.html</p>

申請者	千葉県流山市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	206,995千円 (79,300千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源である白みりんを中核としたコンテンツ及び観光地域づくり ・流山版DMOの育成による観光地域づくりの促進 ・白みりんに関する拠点を整備することにより、交流人口の増加と地域経済の活性化を目指す ・シビックプライドの醸成により、定住人口の定着に寄与する 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○流山版DMO運営支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電動キックボードの運用に向けた運営補助や古民家マッチングサイトの運営費等、流山版DMO運営支援 (補助金) 12,400千円 <p>○白みりんによるブランディング事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東葛各市と連携した発酵醸造イベント企画運営業務 (委託料) 3,300千円 ・白みりんミュージアムオープン記念イベント企画運営業務 (委託料) 6,600千円 <p>○白みりんによるブランディング事業 (デジタル技術活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> 白みりんの製造工程等が分かる展示施設の設置業務 (委託料) 57,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①流山本町地域への来訪者数 (+1,650人) ②開発した新商品の売り上げ (+580千円) ③構築した白みりん検定の受験者数(+15,350人) ④白みりんのまちとしての認知度 (市外住民) (+71%) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.nagareyama.chiba.jp/tourism/1013041/1046080.html</p>

申請者	神奈川県小田原市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	229,351千円 (46,795千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを生き育て、次世代を担っていく若い世代や、女性の活躍を意識した定住施策の促進を図る ・地域資源を、関係人口や交流人口の参画により深化させ、価値を再認識し、次の世代に継承させていく ・「おだわらイノベーションラボ」を取組の核にして、様々な分野・世代の方々が交流し、多様な個がつながり、イノベーションが起こることで、小田原のまちの価値が向上し、持続可能なまちとなることを目指す 		
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○官民連携・共創を生み出すおだわらイノベーションラボ設置事業 26,872千円 ・事業コーディネート事業 (謝礼) ・おだわらイノベーションラボ運営事業 (施設等賃借料ほか) 等 ○若者活躍推進事業 5,748千円 ・U I J ターン・起業家支援事業 (補助金ほか) 等 ○女性活躍推進事業 (報酬ほか) 690千円 ○地域資源継承事業 9,919千円 ・地域資源循環事業 (負担金)、第1次産業体験事業 (委託料) 第1次産業従事者育成事業 (補助金、報償費) 等 ○芸術でつながるまちづくり事業 (謝礼ほか) 3,566千円 		 <p>おだわらイノベーションラボで開催した「はたらく女子会」の様子。参加者は女性活躍推進事業における小田原Lエール認定企業ほか。</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①本事業における起業に至った件数 (+95件) ②女性活躍推進優良企業認定制度の認定数 (+300事業所) ③本市における年間転入者数 (+900人) 		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制・効果検証) https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/municipality/tihousousuei/kouka/p37099.html

事業概要【古町再生プロジェクト推進事業】

推進当初

申請者	新潟県新潟市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	222,073千円 (40,321千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的建造物・町家や景観を活かしたまちづくりを推進し、趣を感じるまちなみ整備を推進する ・地域資源を活かした商品、サービス、イベント等の創出や、空き店舗を有効活用する事業者を支援する ・道路空間の再構築等に取り組み、居心地の良さや利便性を高め、公共空間の利活用を促進する ・上記取組により、古町地区に魅力的な施設やコンテンツを創出し、来街者や商業販売額の増加につなげる 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○古町地区魅力向上事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間アイデアによる地域資源を活かした取り組みの推進 古町地区魅力創出・発信事業 (補助金) 15,000千円 ・空き店舗を活用した集客力向上、新規創業の促進 古町地区空き店舗活用事業 (補助金) 15,821千円 ・歴史的建造物・町家や景観を活かしたまちづくりの推進 古町花街の歴史的な街並み保存事業 (補助金) 5,500千円 ・古町地区における公共空間滞在価値の向上 古町地区公共空間滞在価値向上事業 (委託料) 4,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①1日あたりの古町地区の歩行者通行量 (+2,704人) ②本事業実施による古町地区の空き店舗活用数 (+17件) ③古町地区将来ビジョンの具現化に向けた取り組み数 (+36件) 		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.niigata.lg.jp/business/shoko/shokoshien/shien/ji_sedaityuushin.html (効果検証) https://www.city.niigata.lg.jp/shisei/seisaku/jigyoproject/tihou/sos_ei2020/soseikaigi/soseikaigi2023.html</p>



古町地区魅力創出・発信事業により開催した展示会「古町100選」

古町地区空き店舗活用事業によりオープンしたカフェ

事業概要【地域企業のデジタル化と異業種連携によるDX推進事業】

推進当初

申請者	新潟県新潟市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	128,132千円 (27,214千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> 市内企業の効率の向上を図るため、域内外の専門人材の活用によるデジタル化を推進する 異分野・異業種間の企業や人、技術やデータなどを繋ぎ新しい価値やビジネスを創造できるプラットフォームを構築し、市内企業の共創による既存事業の変革及び付加価値の高い新規事業の創出を支援することで、地域経済を循環させ、企業の持続的な経済活動を支え地域活性化に繋げる。 		
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○プラットフォームの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> プラットフォームの運営 (補助金) 11,214千円 異業種の市内外の企業がデジタル化やDX推進に取り組む会員制プラットフォームを運営し、共創による新規事業開発を促進する。 <p>○新規事業開発に必要な専門人材の活用支援等</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規事業開発支援プログラム (委託料) 8,000千円 <p>○資金獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタルイノベーション創出推進補助金 (補助金) 8,000千円 	   <p>新規事業開発支援プログラムの実施 新たなサービスの実証事業の支援</p>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①プラットフォームを通じて事業化した件数 (+35件) ②プラットフォームを通じてデジタル化やDXに取り組んだ企業数 (+57社) ③プラットフォーム会員企業数 (+137社) 	関連URL	(交付金の具体的な使途・実施体制) https://www.city.niigata.lg.jp/business/growing/digitaltransformatio/index.html (効果検証) https://www.city.niigata.lg.jp/shisei/eisaku/jigyoproject/tihou/sosei2020/oseikaigi/soseikaigi2023.html

事業概要【仕事と暮らしの強みを活かした若者人材定着事業】

推進当初

申請者	新潟県新潟市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	229,496千円 (49,440千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・新市場の開拓や新事業展開による付加価値の向上を図る企業の新たな取り組みを支援する ・関係人口の創出を図るため新潟暮らしの魅力を市内外にPRする ・中小企業の人材育成や採用力を高める支援を行い、若年者の就労を促進する 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○企業の経営力（稼ぐ力）強化 ・展示会の開催経費支援・好事例の横展開（委託料）5,636千円 ○良好な雇用環境の維持・創出 ・企業誘致を推進（委託料・役務費）14,000千円 ・セールスプロモーション（委託料・消耗品費）1,102千円 ○企業の採用力向上支援 ・地域採用に係る戦略的広報支援 等（補助金・委託料）800千円 ○関係人口の創出と情報発信 ・地域の魅力探求プロジェクトの企画・運営（委託料）2,640千円 ・副業人材の流入促進による関係人口創出（委託料）14,280千円 ・関係人口取組の発信（委託料）1,056千円 ・市内外の若者や移住検討者につながる仕組みを通じた情報発信、企業の魅力認知度向上支援（委託料・報償費）9,926千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①市内連携大学における県内就職率（+5.2%） ②転入者アンケートによる県外からの移住者数（+127人） ③関係人口創出事業を通じて本市とつながりをもった参加者数（+139人） ④販路開拓などの支援事業における参加企業の商談成立件数（+40件） 		
			関連 URL （交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.niigata.lg.jp/bussess/shoko/koyo_link/koyo20230524.html （効果検証） https://www.city.niigata.lg.jp/shisei/seisaku/jigyoproject/tihou/sosei2020/soseikaigi/soseikaigi2023.html

申請者	新潟県妙高市	初回採択回	令和3年度第2回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	252,969千円 (55,859千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	産業構造の停滞傾向や、生産年齢人口の減少に起因する担い手・従業員数の減少など、当市の構造的な課題を解決するため、首都圏企業の知見・ネットワーク・ノウハウなどを活用した新たな視点での産業創出や雇用の拡大、更なる関係人口の創出・拡大などによる、活発な経済活動が行われるまちの実現を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○首都圏企業等と連携した新たな産業の創出 (プロジェクト推進費) ●ドローンを活用した地域課題解決プロジェクト (委託) 39,000千円 ●自然環境を生かした次世代型教育プログラム開発・創出プロジェクト (委託) 1,000千円 ●ゼロカーボン・ビジネス (再資源化等) 創出プロジェクト (委託) 5,555千円 ●新規事業の立ち上げ支援を行う「官民連携アクセラレータープログラム」実施・促進費 500千円 ○首都圏企業等新たな外部人材の確保と内部人材の育成 (地方創生人材育成費) ●首都圏企業等新たな外部人材の獲得・確保 (委託) 4,359千円 ●地元企業・人材育成経費 (委託) 5,445千円 		 <p>主要な「3つのプロジェクト」への立ち上げ支援 (ドローン)</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①首都圏企業等と連携したプロジェクトにかかる総売上高 (年間) (+322,100千円) ②首都圏企業等と連携したプロジェクトによって生み出された雇用創出人数 (通算) (+60人) ③当該事業のプロジェクトで関わる外部人材 (地方創生人材) の人数 (通算) (+200人) ④当該事業のプロジェクトで育成された市内人材 (地方創生人材) の人数 (通算) (+60人) 		<p>関連 URL</p> <p>https://www.city.myoko.niigata.jp/docs/55222.html</p>

事業概要【多様な産業・人材の参画による地域全体が潤う「稼げる」観光地づくり推進事業】

推進当初

申請者	富山県ほか15自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,140,532千円 (173,634千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	本県の自然、食、住環境、伝統文化等が有する「価値」に共感してもらえるターゲット層に戦略的にアプローチし、コアな富山県ファン・リピーターの獲得、定住も視野に入れた観光交流の促進等による県内経済の活性化を目指す。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ●アフターコロナを見据えた「稼げる」観光地づくり <ul style="list-style-type: none"> ・体験型・滞在型の観光コンテンツの開発 7,960千円 ほか ●北陸新幹線の敦賀開業効果を波及させるための戦略的プロモーションの展開等 <ul style="list-style-type: none"> ・日本橋とやま館における広報やレポートを促す企画 14,936千円ほか ●「日台観光サミット」の成果を活かした国際観光の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド向け観光コンテンツ等の磨き上げ・展開など 4,250千円 ほか ●文化振興拠点の魅力向上 <ul style="list-style-type: none"> ・高志の国文学館の展示機能の充実、トークイベントや体験型イベント等 7,068千円ほか 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①観光消費額単価 (宿泊・日帰り) (+3,110円/人回) ②観光入込客数 (実数) (+2,685千人) ③日本橋とやま館来館者のうち観光交流サロンでのコンシェルジュ対応者数 (+25,000人) ④県立美術館等の年間来館者数 (+520,000人) 		関連URL https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

※富山県、富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町の広域連携事業

申請者	富山県南砺市	初回採択回	令和3年度第1回募集	
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	147,141千円 (27,838千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根付く伝統、文化の維持、保全、継承を推進する。 ・さらなる南砺ファン獲得のためニューツーリズムを展開する。 ・南砺ファンとのコミュニケーションを通じた南砺ブランドの発信及び誘客推進を図る。 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統的産業人材育成支援事業 ・伝統的工芸品産業再生支援事業 (補助金) 1,000千円 ・帰農塾、就農マッチングツアー (委託料) 1,150千円 ○南砺市を深く知ってもらうためのニューツーリズムの展開 ・ニューツーリズム推進事業 (委託料) 2,200千円 ・VR360°バーチャルツアー開催 (委託料) 2,800千円 ・南砺ファン受入体制整備事業 (委託料) 2,625千円 ○南砺ブランドの発信及び誘客推進 ・観光プロモーション事業 (委託料) 9,340千円 ・ブランド商品開発、ECサイト運営(委託料)5,330千円 ・ブランド、観光商品開発支援事業(補助金・負担金)2,050千円 			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①南砺ファンの総数 (+1,350人) ②ふるさと寄附金収入 (+22,500千円) ③新規伝統的工芸品職人数 (+16人) 		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.city.nanto.toyama.jp/cms-sypher/www/info/detail.jsp?id=26590	

事業概要【北陸産業の新フロンティア開拓事業】

推進当初

申請者	石川県ほか2自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集	
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	2,463,484千円 (399,996千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸地域においては、今後も人口減少による就業者数の減少が見込まれており、魅力ある雇用の場の創出等を通じてその減少に歯止めをかけ、地域経済を活性化させていく ・魅力ある雇用の場の創出のため、企業の生産性向上や新技術・新製品の開発への支援など、企業の競争力を強化する事業を北陸3県が連携して進めていく 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度 事業費</small>	① 炭素繊維複合材料、バイオ医薬品・新医療材料、医療機器、宇宙産業など成長分野での産官学金の連携による研究開発、製品化の推進、人材育成の実施 (補助金) 71,674千円 (委託料) 5,549千円 ② デジタル技術などの先端技術を活用した研究開発、製品化の推進 (補助金) 29,962千円 (委託料) 38,481千円 ③ 北陸地域の高い技術を更に高めるためのイノベーションを促進し、付加価値の高いものづくりに向けた研究開発、製品化の推進 (補助金) 70,699千円 (委託料) 5,612千円 ④ 海外展開の市場調査等への出展支援、商談会の開催等への支援 (補助金) 57,863千円 (委託料) 29,466千円 ⑤ イノベーションを推進するための人材確保に向けた取り組みへの支援 (補助金) 63,413千円 (委託料) 96,540千円 ⑥ イノベーション推進に資する働き方・経営改革に向けた取り組み支援 (補助金) 3,000千円		3Dモデリングマシン ※③事業で整備  デジタルデータ 石膏型 装置外観	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の 累計」の目標値</small>	①北陸三県における製造品出荷額 (機械・金属類) (+11,750億円) ②北陸三県における医薬品・医療機器生産額 (+1,790億円) ③北陸三県の就職マッチング件数 (+218人)		関連URL https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kikaku/keikaku/20150303.html#H28kensyoushu	

申請者	石川県金沢市、白山市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	748,800千円 (132,200千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・文化に親しむ市民の裾野拡大、文化産業に従事する「担い手」や理解者である「支え手」の育成を図る。 ・文化の新しい楽しみ方や文化コンテンツ、付加価値を作り出す。 ・文化事業の総合マネジメント機能を設けることで、文化事業をビジネスとして確立する。 ・文化的土壌を生かして一過性の交流人口ではない、ともに地域を作り上げる関係人口の創出・拡大をめざす。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度 事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ●文化芸術の「担い手」「支え手」育成事業 市内幼児教育施設等における情操教育推進・・・(委託料) 48,400千円 ●文化のブランディングと情報発信事業 デジタルミュージアムの運用(委託料) 31,000千円 ●文化事業実施者への支援及びマネジメント事業 アーツカウンシル金沢の運営(委託料) 14,000千円 ●文化を活用した関係人口の拡大事業 姉妹都市文化祭に向けた準備検討(委託料) 1,000千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①子ども芸術文化体験イベント参加者数(年間) (+1,000人) ②金沢クラフトインデックス新規登録件数(累計) (+57件) ③伝統芸能伝習者の認定件数(累計) (+25人) ④金沢市のふるさと納税寄附受入件数(年間) (+26,724件) 		関連URL https://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshikikarasagasu/kikakuchoseika/gyomuannai/6/3/9395.html

事業概要【金沢市SDGs未来都市計画推進事業】

推進当初

申請者	石川県金沢市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	698,016千円 (102,253千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・文化・工芸の成長産業化や企業支援、人材の多様性の推進など、創造性・革新性の向上を図る。 ・多様な人材が、ライフステージや能力に合わせて活躍できる社会風土を醸成する。 ・自然、歴史、文化の価値をさらに高め、心地よいまちづくりをすすめる。 ・SDGsツーリズムを推進し、「責任ある観光客」を世界中から呼び込む。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○工芸の「つなぎ手」人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・工芸を中心とした講座開催 (委託料) 2,000千円 ○共生社会の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・アウトサイダーアートの魅力発信 (委託料) 600千円 ○地産地消等による低炭素社会の実現 <ul style="list-style-type: none"> ・加賀野菜希少品目販路拡大 (委託料) 1,500千円 ○金沢SDGsツーリズムの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・推進事業者認定事業 (委託料) 3,000千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①IMAGINE KANAZAWA 2030 パートナーズの登録件数 (+300件) ②海外見本市出展等への支援件数 (+20件) ③中心市街地の市文化施設の利用者数 (+143,000人) ④ごみ排出量(年間) (▲11,761t) 	関連URL	https://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshikikarasagasu/kikakuchoseika/gyomuannai/6/3/9395.html

事業概要【広域連携による持続可能なまちづくり計画事業】

推進当初

申請者	石川県七尾市ほか2自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	806,312千円 (126,910千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<p>・3市町が連携し、交流人口の拡大や移住定住の促進、起業・創業支援、企業誘致等の取組をより効果的に実施していくことで、「二地域居住」や「ワーケーション」等を積極的に推進し、「能登」における新しい人の流れをつくり、将来的な移住者数の増加や新たなビジネスの創出、企業誘致等につなげる。</p>		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○能登地域移住交流協議会が事業主体となって、ワーケーションや移住の推進、関係人口拡大のイベント等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワーケーション等推進事業 (補助金) 7,600千円 ・移住プランナー事業 (補助金) 4,100千円 ・移住イベント開催、情報発信 (補助金) 7,200千円 <p>○地域産業の活性化やしごとづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業承継や起業等への支援 (補助金) 12,750千円 ・繊維振興人材の育成 (補助金) 5,400千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①本事業を通じた県外からの移住者数 (+604人)</p> <p>②本事業を通じて当該3市町と関わりを持った人数 (+4,000人)</p> <p>③広域体験プログラムの参加者満足度数 (+80%)</p> <p>④移住プランナー数 (+16人)</p>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的用途・実施体制・効果検証)</p> <p>【七尾市】https://www.city.nanao.lg.jp/kikaku-s/shise/sesaku/sogosenryaku/sougousenryaku.html</p> <p>【羽咋市】https://www.city.hakui.lg.jp/soshiki/soumubu/machizukuri/1/1/index.html</p> <p>【中能登町】https://www.town.nakanoto.ishikawa.jp/soshiki/kikaku/3/5/1/1/index.html</p>

事業概要【ふくいの自然と食で「稼ぐ」観光地域づくり推進事業】

推進当初

申請者	福井県ほか2自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集	
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	810,767千円 (190,282千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	観光分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光・まちづくり・本物体験など地域固有の資源を磨き上げ、交流人口の拡大、移住・定住者の増加につなげる ・プレーヤーを中心とした地域づくりの現場に入りマネジメントする人材などを確保する ・民間プレーヤーの自走のため、事業面・資金面を含め一元的に支援する体制を構築する ・福井県、県域DMO、JR西日本、大手旅行会社各社と連携し、北陸新幹線福井・敦賀開業による誘客効果の最大化を図る 			
事業概要・ 主な経費	<p>○県下全域の民間プレーヤーによる「観光で稼ぐ」地域づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①民間プレーヤー支援補助金 50,167千円 ②観光地域づくりマネージャーの設置 14,618千円 ③観光スーパーバイザーの設置 24,304千円 ④外部専門家派遣経費 (謝礼・旅費) 2,140千円 ⑤他地域のモデルプレーヤーとのネットワーク構築旅費 465千円 ⑥観光マネジメント等を学ぶ講義の実施費用 14,475千円 <p>○官民連携による観光開発の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①その市町ならではの魅力的な体験メニュー・アクティビティ等の開発・磨き上げに向けた商品造成、着地整備 55,000千円 ②旅行会社仕入担当職員の現地視察 6,431千円 <p>○交流人口の拡大を契機とした移住・定住の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①大学生等に対する県内への就職支援 22,682千円 			
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①本県の観光客入込数 (+290万人) ②本県への移住・定住者数 (+400人) ③観光プレーヤー支援数 (+110団体) ④本県の観光消費額 (+378億円) 		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制) (効果検証)</p> <p>https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kankou/kankouvision.html</p>	

※福井県、美浜町、若狭町の広域連携事業

事業概要【アジアの航空機システム拠点における産業化促進】

推進当初

申請者	長野県、南信州広域連合	初回採択回	令和3年度第1回募集	
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	302,806千円 (63,070千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・航空機システム産業の集積形成 ・大学や企業における研究開発成果等の事業化促進 ・エス・バード内の飯田工業技術試験研究所の環境試験機能の高度化と運用の自立化 ・信州大学航空機システム共同研究講座における研究開発の実施 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○航空機産業振興戦略的統括拠点の整備・運営 ・航空機システム分野横断ユニット支援 (負担金) : 15,000千円 ・飯田工業技術試験研究所オペレーター (人件費) : 6,000千円 ・航空機システム産業振興拠点マネージャー (人件費) : 6,086千円 ○航空宇宙産業クラスター形成事業 ・コーディネータによるニーズ・シーズマッチング (補助金) : 8,108千円 ・航空機機能品・装備品等の開発の推進 (委託料) : 3,656千円 ・航空機産業関連の販路開拓支援 (補助金) : 3,077千円 ○事業化開発支援事業 ・航空機分野の事業化開発補助 (補助金) : 8,640千円 			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①航空機関連又は航空機関連技術を活用した製品等の製造品出荷額等 (+81.3億円) ②航空機関連技術を活用して新たな製品開発・事業化につながった件数 (+25件) ③環境試験設備の利用件数 (+400件) ④航空機システム分野横断ユニット修了生数 (+19人) 		関連URL	https://www.pref.nagano.lg.jp/seisaku-hyoka/hyouka/hyouka.html

事業概要【「長期戦略2040」推進プロジェクト】

推進当初

申請者	長野県長野市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	489,529千円 (104,804千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・DXなど既存産業の経営改革や、雇用や人口増への波及効果が高い新産業の創出、起業などに挑戦できる環境づくりなどにより、長野地域の経済基盤を強化する。 ・市民や企業など関係者を巻き込み、官民連携の仕組みを構築し、SDGsの視点と先端技術の活用により、課題解決する。 ・将来の社会の中心となる若い世代が魅力を感じる地域をつくり、都市ブランディングの視点で一元的、戦略的に取組みを発信し、特に首都圏から人材を呼び込むことで、東京一極集中の是正、人口構成の適正化、税収増などにつなげる。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新産業・ICT・先端技術分野 【計91,398千円】 <ul style="list-style-type: none"> (1) 起業家創出プログラム 10,652千円 (2) スマートシティ推進 80,746千円 ○ SDGs 分野 【計5,350千円】 <ul style="list-style-type: none"> (3) SDG未来都市の推進 5,350千円 ○ 都市ブランディング 【計8,056千円】 <ul style="list-style-type: none"> (4) 発信・コミュニケーション 8,056千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①プロジェクト事業化数 (+42件) ②雇用創出人数 (+300人) 		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証)</p> <p>https://www.city.nagano.nagano.jp/n041000/contents/p005096.html</p>

事業概要【アートでまちなか「進化」プロジェクト】

推進当初

申請者	長野県松本市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	406,095千円 (69,020千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<p>・本市の強みである「クラフト」と「現代アート」を官民連携で活かし、市民や観光客が日常的にクラフトやアートに触れる機会を提供し、クリエイティブな産業や人材が集まる都市を目指し、交流人口や移住者の増加を図る。</p> <p>・文化・芸術分野の強みを活かした、冬季における魅力的なコンテンツの提供により、特に閑散期となりがちな冬季に、寒さを楽しみに変えてまちの賑わい向上につなげる。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>○まちなかクラフトめぐり事業 既存の工房やギャラリーの人と場所を結び、バイヤーや消費者、観光客を取込み、販路拡大に取り組む。</p> <p>・実行委員会への負担金 8,240千円</p> <p>○冬の城下町フェスティバル事業 商店街連盟等と設置している、城下町松本フェスタ組織委員会において、国宝松本城へのプロジェクションマッピング等の、冬の戦略的な観光施策を行う。</p> <p>・実行委員会への負担金 60,780千円</p> <p>○移住・転職セミナー開催</p> <p>・「オンライン合同企業説明会」を開催 (別予算：市単費)</p> <p>・首都圏等での移住相談 (別予算：市単費)</p>		 <p>工芸の庭 (工芸の五月)</p>  <p>国宝松本城天守 プロジェクションマッピング</p>
KPI	<p>①アート、クラフト等クリエイティブ人材移住者数 (+45人)</p> <p>②アートでまちなか進化プロジェクト協力店舗数 (+240店舗)</p> <p>③冬季 (12月～2月) の市内観光地利用者延数 (+97,610人)</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>関連URL</p>	<p>○工芸の五月 https://matsumoto-crafts-month.com/</p> <p>○光と氷の城下町フェスティバル https://lightandicematsumoto.jp/</p>

申請者	長野県伊那市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	833,000千円 (185,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローン配送や移動・医療MaaS等先駆けて実施する先端技術をより早く実装し横展開する ・地方における地域課題最適解モデルとしてサービスを実装 ・「物理距離」から「時間距離」へのパラダイムシフト・本質的コンパクトシティへ ・マンパワーとテクノロジーの融合による持続的地域社会の実現 		
<p style="text-align: center;">事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ロボティクスによるマンパワー代替・活用プロジェクト ・パワーアシストスーツ・IoTデバイス・コミュニケーション ロボットによるウェルビーイング実証委託料 (45,000千円) ○ドローンのマルチユース化 ・無人VTOL (無操縦者航空機) による山岳物資輸送開発実証委託料 (17,000千円) ・ドローンによる橋梁点検プラットフォーム構築実証委託料 (15,000千円) ○観光型MaaSの推進 ・トリップチェーン観光型MaaS開発委託料 (30,000千円) ・メタバースによる移住定住促進実証委託料(20,000千円) ○医療型MaaSの推進 ・オンライン診療・服薬指導・機器実証委託料 (15,000千円) ・妊産婦検診用オンライン診療車両の開発、運用、及び内科診療用オンライン診療車両との2台運用体制の構築委託料 (20,000千円) ○移動型MaaSの推進 ・AIオンデマンド乗合タクシーの高度・EV実証委託料 (10,000千円) 		
<p style="text-align: center;">KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①スーパーエコポリス・サービス利用者数 (+1,662人) ②スーパーエコポリス・サービス実装アプリ件数 (+27件) ③スーパーエコポリス・サービス提供事業者数 (+47社) ④観光MaaSによる地域内滞留者数 (+2,000人) 	<p style="text-align: center;">関連URL</p>	<p>https://www.inacity.jp/shisei/inas-hiseisakusesaku/shinsangyougijutu/</p>

事業概要【文化芸術による地域の担い手育成・拡大プロジェクト】

推進当初

申請者	岐阜県ほか4自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	792,007千円(125,783千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的(効果)	<p>・伝統文化に関して、「関係人口」による新たな担い手の育成・確保や伝承につなげるアーカイブ化を図っていく。一方で、県民が芸術に触れ、参加する機会を増やすことで、新たな文化・芸術を創造し、新たな魅力づくりにも取り組んでいく。そして、文化・芸術と産業が触発し合うことで、新たな価値を創造し、国内外に発信することで、更なる魅力と活力づくりにつなげていく。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>○日本の伝統的な技能と現代アートを融合させた作品の展覧会及び作家によるトークショーを開催し、伝統技能の様々な可能性を再認識することで、新たな価値観に基づく地域文化の担い手の育成や拡大につなげていく。【7,423千円】(委託料)</p> <p>○国民文化祭の開催に向け、前回大会(H11)のレガシーである「ひだみの創作オペラ」の新作作成や公演を支援してきた団体が国民文化祭において公演を披露し、県内外に広く魅力を発信する。【10,000千円】(補助金)</p>		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①県美術館アートコミュニケーターの育成数(+115人)</p> <p>②地歌舞伎、文楽・能伝承教室の参加者数(+2,980人)</p> <p>③観光消費額(+1,700億円)</p> <p>④移住者数(+8,702人)</p>	関連URL	<p>(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証)</p> <p>https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html</p>

※岐阜県、岐阜市、高山市、大垣市、各務原市の広域連携事業

事業概要【空宙博を核とした「まちの賑わい」創出事業】

推進当初

申請者	岐阜県、各務原市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,378,532千円 (300,835千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的(効果)	<p>・航空宇宙産業の振興(競争力強化、「稼ぐ力」の拡大)とまちの賑わいの創出(観光による活性化、まちづくり活動の展開等)が相互に関連し、「空宙(そら)」をキーワードに、産業・観光の好循環により多角的に発展する「空宙(そら)のまち」を目指す。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>○まちの賑わい創出の拠点としての機能を展開 211,034千円(県、市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜かかみがはら航空宇宙博物館の利用促進(委託費等)(県) ・岐阜かかみがはら航空宇宙博物館の運営(委託費等)(県・市)※指定管理者執行 <p>○宇宙関連企業の事業展開を全方位で支援 61,132千円(県)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航空宇宙分野への助成(航空宇宙・ドローン産業等競争力強化支援事業費補助金) ・セミナー、勉強会、ビジネスマッチングなどの産業振興事業、技術者の人材育成事業等による支援(委託費等) 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①各務原市観光入込客数(+14万人) ②岐阜かかみがはら航空宇宙博物館入館者数(+230,934人) ③県内航空宇宙産業の製造品出荷額(▲202億円) 	関連URL	<p>(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証)</p> <p>https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html</p>

事業概要【新たな人の流れづくりに向けた戦国武将観光の広域展開】

推進当初

申請者	岐阜県ほか4自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,071,584千円 (235,250千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光を契機とした「関係人口の創出」や「人と人との交流」を通じて、岐阜県の魅力を発信し、地域ブランドの向上による都市部から地方への「新たな人の流れ」の創出を目指していく。 ・「戦国武将観光のブランド化」と観光を契機とした「新たな人の流れや交流」を通じて、人口減少や少子高齢社会を起因とした地域の担い手不足を克服し、持続可能な魅力と活力あふれる地域社会の構築を目指す。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○観光を契機とし、移住定住も視野に入れた関係人口の創出を加速化するため、ファンと定期的に接点を持ち続ける仕組みを構築 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史観光と地域の魅力をPRするコンテンツ (例: 話題のコンテンツを活用した集客イベント、講演会、ワークショップ、史跡ウォーキング等) を年間を通じて展開 (委託料) (県112,480千円、垂井町6,000千円、関ヶ原町10,000千円、輪之内町0千円) ○戦国・武将ゆかりの史跡等を持つ市町村と県が連携した広域観光を促進し、歴史観光の先進県としてのブランド確立を目指す。 <ul style="list-style-type: none"> ・広域周遊ルート・周遊マップ・旅行商品開発など広域周遊観光企画の実施 (委託料) (県19,200千円) 		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①移住者数 (+8,702人) ②観光入込客数 (+3,750万人) ③関係人口 (岐阜県ファンクラブ会員数など) (+8,085人) 	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html

※岐阜県、可児市、垂井町、関ヶ原町、輪之内町の広域連携事業

事業概要【リモート社会に対応する「フレキシブルな働き方」実現による人の流れの創出事業】

推進当初

申請者	岐阜県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	653,115千円 (135,947千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的 (効果)	<p>・県内企業のデジタル化推進による働き方改革の取組みに加え、企業の本社機能移転につながるサテライトオフィスの誘致を積極的に行い、全国的に人手不足となっているIoT技術者や、次世代を担う若者にとって魅力的な「フレキシブルな働き方」のできる環境を創出し、人材の県外流出に歯止めをかけるとともに、県外からの流入を呼び込むことで、「新たな人の流れを創出」していく。</p>		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○IT部門従事者向けのリカレント教育と新規就職学生等を対象としたIT基礎研修への助成（（公財）ソフトピアジャパンへの補助金（事業実施主体への運営費））【10,076千円】</p> <p>○サテライトオフィス誘致活動（3,400千円）</p> <p>・企業展への出展、パンフレットの印刷、フォームマーケティングの実施（3,400千円）（使用料及び賃借料、印刷製本費、委託料）</p> <p>○ICTの導入をはじめとした「働き方改革」に取り組む建設企業の認定及びPR事業の実施とSNSを活用した認定企業取り組み紹介、WEBを活用したプロモーション（5,164千円）（委託料、需用費等）</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①デジタル人材育成者数（累計）（+4,160人）</p> <p>②サテライトオフィス誘致件数（+87件）</p> <p>③ワーケーションに取り組む施設数（+32施設）</p>		<p>関連URL</p> <p>（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html</p>

事業概要【移住定住促進に向けた若者の就業・定着強化プロジェクト】

推進当初

申請者	岐阜県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	498,784千円 (121,361千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<p>・「仕事」と「若者」をマッチングさせ、県内で学ぶ若者には「県内への定着（定住）」に、そして、県外へ流出した若者や県外の若者には、「魅力ある仕事」を呼び水とした「県外からのU I Jターン（移住）」につなげることで、移住・定住を加速化していく。</p>		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○将来の地域産業の担い手確保に向けた高校生等向け企業PR冊子の配布、広報媒体への掲載及び中学生向け出前授業の実施【4,133千円】（委託料、需用費）</p> <p>○オンライン、リアルを併用した地域の魅力と地元企業を紹介・マッチングする説明会等を開催（委託料等） 【30,788千円】</p> <p>○中小企業の新入社員に対して地元での交流を促進し、互いを高め合う交流研鑽会の開催（委託料）【2,839千円】</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①移住者数（累計）（+8,586人）</p> <p>②高校で学んだことを活かした職業に就きたいと思う高校生の割合（+10.9%）</p> <p>③県内私立大学・私立短期大学で地域との協働・連携による地方創生の活動に取り組む学校の割合（+19校）</p> <p>④若者定着に向けた若手社員の交流会や管理職等の勉強会の修了者数（+1,205人）</p>	関連URL	<p>（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証）</p> <p>https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html</p>

事業概要【SDGsを原動力とした「清流の国ぎふ」づくりとサステイナブル・ブランドの構築事業】

推進当初

申請者	岐阜県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	720,392千円 (189,396千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<p>・「サステイナブル」をキーワードとした、「稼ぐ観光」と「魅力的な商品や食の創出」の取組み、そしてESG投資による「活力」があふれる地域の実現。</p> <p>・SDGsの達成に向けた多様な主体の自発的な活動や、相互に協力、連携し合う活動を「オール岐阜」で加速化することで、県民の誰もが健やかに、安らかに暮らせる、そしてあらゆる人々が暮らしやすい地域の実現</p>		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○サステイナブル・ツーリズム推進事業 (委託料・36,207千円) 補助金・19,000千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の利害関係者が一体となった持続可能な観光地域づくりに資する取組への助成 <p>○サステイナブルな農業の確立 3,280千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省力化や気候変動、多様なニーズに対応したブランド研究開発 (消耗品費、役務費) <p>○SDGs普及啓発活動の強化と官民双方による支援メニューの充実 (26,645千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民・事業者、市町村等のニーズに応じた、フォーラム、セミナー、グループワーク、相談会・交流会等、多様な学び・体験、交流の創出 (委託料、報償費等) 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①観光消費額 (+1,700億円)</p> <p>②環境にやさしい行動に取り組んだ人の割合 (20代) (+5.9%)</p> <p>③ぎふ清流GAP実践率 (+35%)</p> <p>④「清流の国ぎふ」SDGs推進ネットワーク会員数 (+1,011会員)</p>	関連URL	<p>(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証)</p> <p>https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html</p>

事業概要【コンソーシアムを核としたぎふ花きの仕事・暮らし創生プロジェクト】

推進当初

申請者	岐阜県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	256,510千円 (59,446千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<p>・若者が将来に向けて活躍できる選択肢を創出するとともに、福祉施設などにおいて活躍が期待される園芸福祉サポーターの育成を通じて、高齢者がいつまでも生きがいを持ち続けられる社会の構築に繋げる。</p> <p>・花で彩り心豊かな暮らしを育める地域社会を形成し、花の文化を愛で、花により喜びや生きがいを創出する、住みよいまちづくりを目指す。</p>		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○清流の国ぎふ花と緑の振興センターにおいて、県内の花き生産者等が、高度な栽培管理技術を実地で学べ、かつ経営能力の向上を図るための研修を開催（委託費等）【7,475千円】</p> <p>○ぎふワールド・ローズガーデン集客等実証実験事業 ・柔軟な料金体系による集客等の実証実験、冬期の花き活用促進（委託料）【25,000千円】</p> <p>○園芸福祉サポーター実践活動促進事業 ・園芸福祉サポーターの育成と資質向上、園芸福祉活動の充実（委託料）【1,534千円】</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①花き産出額 (+9.5億円)</p> <p>②コンソーシアムによる連携開発事例 (+20事例)</p> <p>③園芸福祉サポーター数 (+157人)</p>	関連URL	<p>(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html</p>

事業概要【多治見市および周辺地域を舞台とし、地場産業（陶磁器）をテーマとした映像作品の放送開始に合わせた地域活性化事業】

推進当初

申請者	岐阜県多治見市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	530,685千円 (102,896千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	多治見市を实名の舞台とし、地場産業である陶磁器をテーマとした映像作品の製作サイドと連携した映像作品そのものの情報発信やそれらを活かした観光、陶磁器製品・文化財・芸術作品・雇用の場としての陶磁器産業のPR、陶磁器産業に関わる創作意欲の高い若者の人財育成や就労支援・創業支援・地元定着を支援する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○製作サイドと連携した映像作品そのものの情報発信やそれらを活かした観光PR 61,095千円</p> <p>○陶磁器製品のPR、文化財・芸術作品としてのPR 34,552千円</p> <p>○雇用の場としての陶磁器産業のPR、陶磁器産業に関わる創作意欲の高い若者の人財育成や就労支援・創業支援・地元定着支援 7,249千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①社会動態（転入－転出）による人口増減数（岐阜県統計課集計データ）（+362人）</p> <p>②陶磁器意匠研究所研究生の卒業時地元定着率（+15%）</p> <p>③観光入込客数（国際陶磁器フェスティバル美濃を除く暦年データ）（+50,000人）</p> <p>④個人版ふるさと納税制度による寄附額（+50,000千円）</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.tajimi.lg.jp/gyose/shisaku/dai8jisogo/dai8jisogo.html</p>

事業概要【人が集まり、地域が繋がる自転車活用事業】

推進当初

申請者	静岡県富士市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	83,917千円 (17,893千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	自転車による富士山の風景を楽しみながら移動できる体制の構築、プロサイクリングチームと連携した当市の特色を生かした誘客を進めるとともに、市民に対して自転車活用を推進することで、市外からの来訪者と市民が交流し、地域における様々なイベントや体験活動を通じて、人が集まり、地域で繋がり、地域経済にも寄与するまちづくりを目指す。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車活用による交通利便性の向上に向け、レンタサイクル事業の運営や安全で楽しめる観光ルートの設定などを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・レンタサイクル運営費 (委託料) 1,907千円 ・サイクルラック等自転車観光者受入支援 (補助金) 1,000千円 ● 滞留型観光事業の創出として、サイクルステーションを拠点としたサイクリストが集まる環境整備や、立ち寄り場所などの情報発信を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・サイクルツーリズム推進事業費 (委託料) 5,749千円 ・サイクルステーション運営費用 (委託料) 2,237千円 ● サイクルスポーツを通じた認知度の向上に向け、プロレースの開催、サイクルスポーツの体験など、様々なイベントを実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・プロカテゴリーレースの開催 (負担金) 5,000千円 ・観光資源活用サイクルイベントの開催 (委託料) 2,000千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ① レンタサイクルを使って観光施設に訪問した人数 (+1,476人) ② 当該年度における経済波及効果 (+140,000千円) ③ サイクリスト立ち寄り拠点整備事業所数 (+170件) ④ 自転車レース開催月におけるRESAS滞在人口の地域外人口の数 (+3,500人) 	関連URL	調整中

事業概要【未来技術を活用した新たな地域社会創出プロジェクト】

推進当初

申請者	愛知県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	618,102千円 (114,370千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	今まで行ってきた最先端技術の実証実験などを高度化させ、技術の導入・普及に向けたより細やかな導入支援を行うとともに、技術の他分野への活用など、最先端技術活用の裾野を広げ、より多くのサービスを展開することにより、住民生活に支障のない、サービスの導入を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○各分野（移動・物流・エネルギーなど）の実装に向けたビジネスモデルを構築し、スーパーシティを推進する。（委託料、需用費等）30,224千円</p> <p>○介護・リハビリ支援ロボットや無人飛行ロボット、サービスロボットの活用や社会実装に向けた支援を行う。（委託料）49,972千円</p> <p>○デジタル技術の活用を推進できる自社内人材の育成を支援する。（委託料）34,174千円</p>		 <p>（無人飛行ロボットの活用）</p>  <p>（サービスロボットの活用）</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①「介護・リハビリ支援ロボット」「サービスロボット」の各分野での導入件数 (+30件)</p> <p>②スーパーシティにおけるビジネスモデルの作成数 (+11件)</p> <p>③デジタル人材育成研修会の参加人数 (+1,320人)</p> <p>④本事業を通じた5Gワンストップ窓口相談件数 (+150件)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.aichi.jp/site/supercity/</p> <p>https://aichirx.jp/index.html</p> <p>https://www.fujita-hu.ac.jp/news/j93sdv000000jt85.html</p> <p>https://www.pref.aichi.jp/press-release/aichi-pref-iot/jinzai-shido-in-2023.html</p> <p>https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chih-o-sosei/0000082498.html</p>

事業概要【先端技術を活用したモビリティ社会実現プロジェクト】

推進当初

申請者	愛知県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	809,131千円 (158,710千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	自動運転及びMaaSの実装を図り、より快適で効率的な社会交通システムの構築が可能になるとともに、自動運転や、交通に係る技術連携を行うことによる技術力向上により、本県の自動車産業等の国際競争力向上が図られる。また、移動における効率的な仕組みが整うことにより、混雑回避が可能になるなど、「新しい生活様式」に対応した社会を実現することができる。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○自動運転社会実装 (役務費、報償費、事務費) 158,710千円</p> <p>スタートアップ支援拠点として県が2024年10月にオープンするSTATION Aiの利用者に向け、周囲の車速に協調可能な最先端の自動運転車両による定期運行を開始する。</p>		<p>スタートアップ等と連携した新たなモビリティサービスの創出</p>  <p>STATION Ai</p> <p>名古屋駅</p> <p>自動運転の定期運行</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>① MaaS実装に向けた連携者数 (+20件)</p> <p>② 自動運転の社会実装件数 (+16件)</p> <p>③ 自動運転実証実験件数 (+60件)</p> <p>④ 地域公共交通計画 (地域公共交通網形成計画) の策定市町村数 (+5件)</p>		<p>関連URL</p> <p>あいち自動運転推進コンソーシアム https://www.autonomous-car.pref.aichi.jp/ 愛知県HP https://www.pref.aichi.jp/site/jidounten/ https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-bosei/0000082498.html</p>

事業概要【スタートアップ等によるイノベーション推進・競争力向上事業】

推進当初

申請者	愛知県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	806,555千円 (125,802千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<p>本県が持つモノづくりを始めとした既存の産業の圧倒的な集積と新しい技術やアイデアを持つスタートアップが結び付き、さらに地域の大学、行政、金融などの支援機関が参加するとともに、海外の先進的な機関の知見を共有することで、革新的なスタートアップ・エコシステムを創出し、グローバル時代においても存在感・競争力を持ち続けられるよう、我が国の経済をけん引する。</p>		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○スタートアップ・オープンイノベーション支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県の産業特性を踏まえた事業領域で活動する県内等スタートアップに対して、支援プログラムを実施 (委託料、役務費) 75,222千円 ・愛知県の産業特性を踏まえた事業領域の海外スタートアップと、本県の事業会社とのオープンイノベーションの実現を狙う支援プログラムを実施 (委託料、役務費) 50,580千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①ベンチャーキャピタルや金融機関等による投資・融資、事業会社との取引・提携開始件数 (+35件) ②世界トップクラスのアクセラレーター事業者による支援プログラムにおける応募スタートアップ数 (+500件) ③超短期型アントレプレナー創出プログラムの参加者数 (+90人) ④専門家派遣等による生産性向上・コスト国際競争力強化企業数 (+65件) 	関連URL	<p> https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kaigairenkei-suishin/ https://www.aichi-startup.jp/packages/ https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html </p>

事業概要【「ツウ」な魅力発信による誘客向上・地域活性化プロジェクト】

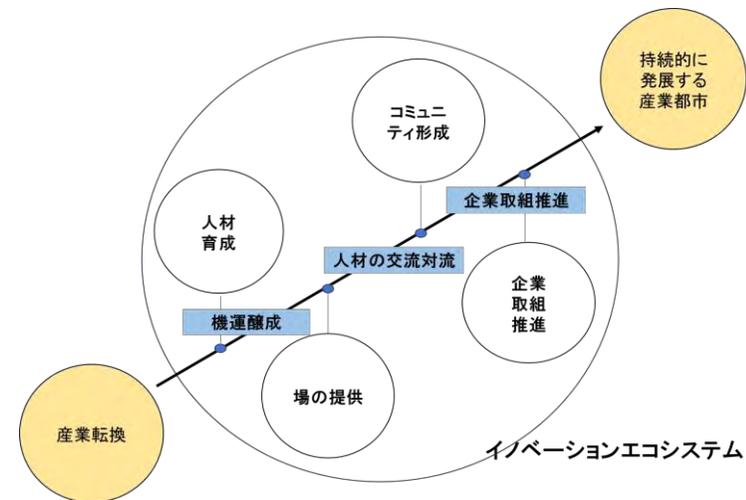
推進当初

申請者	愛知県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	632,402千円 (95,907千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	地域資源を生かし、日本人旅行者及びアジア諸国をはじめとした訪日外国人旅行者の呼び込みを一層強化し、地域の活性化に結び付けていくとともに、2022年11月に開園したジブリパークや、2026年度に開催予定のアジア競技大会、2027年度のリニア中央新幹線の東京－名古屋間の開業などのビッグプロジェクトに併せて、愛知ならではの魅力の効果的な発信を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○「ツウ」な愛知発信による誘客及び魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光関連事業者を巻き込んだ観光プログラムの造成を促進 (委託料) 5,454千円 ・陶芸の魅力発信 (報償費、委託料) 1,398千円 ・医療ツーリズムの推進 (委託料、報償費、事務費) 6,249千円 <p>○ジブリパーク周遊観光におけるPR・プロモーション等実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ジブリパークのある愛知」をイメージしたキービジュアルや観光動画によるPR・プロモーション (委託料) 82,806千円 		 <p>© Studio Ghibli</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①本県の延べ宿泊者数 (+662,260人泊) ②本県における観光消費額単価 (+1,916円) ③陶磁美術館本館来館者及びこま犬関連イベントの参加・観覧者数 (+12,520人) ※R5～R6年度末まで休館 ④外国人患者受け入れ人数 (+1,500人) 		<p>関連URL</p> <ul style="list-style-type: none"> https://l-tike.com/bw-ticket/gp-aichi/ https://medicaltourism.pref.aichi.jp https://www.pref.aichi.jp/touji/exhibitoin/2021/t_uchisoto/index.html https://www.pref.aichi.jp/touji/exhibitoin/2021/p_honnkann/index04.html https://www.youtube.com/watch?v=hIoq1QuBQLQ https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

事業概要【DX時代に向けた産業イノベーションと次世代育成プロジェクト】

推進当初

申請者	愛知県刈谷市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	210,431千円 (51,419千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内ものづくり企業を対象としたマッチングによる既存事業の高度化や新規事業の創出を図る ・本市で活動するIT人材やIT企業を活用し、次代の産業の担い手の育成及び確保を図る ・地域経済の柱となる産業が複数存在する足腰の強い産業構造への転換を図る 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○職歴・階層別及びテーマ別に社会人基礎力としてのビジネス基礎能力、マネジメントスキルの習得セミナーを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (事業委託料) 3,700千円 <p>○オープンイノベーションを推進するためのプログラムを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (事業委託料) 26,083千円 <p>○デジタル関連分野の人材やIT企業の誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ KariCoCoの運営 (事業委託料) 4,799千円 ・ IKOMAI DESKの運営 (事業委託料) 5,200千円 <p>○小中高校生を対象とするIT教育やキャリア教育、若年技術者の育成に資するイベントを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (事業委託料) 6,717千円 		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①IT人材誘導数及び企業誘致数 (+20件) ②ビジネスマッチング推進事業及びオープンイノベーション推進事業によるマッチング件数 (+50件) ③セミナー等受講者数 (+700人) <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	関連URL	<ul style="list-style-type: none"> https://www.city.kariya.lg.jp/sangyo/sangyoshinko/1010401.html https://www.city.kariya.lg.jp/shisei/seisaku_keikaku/sougokeikaku/1013287.html



事業概要【世界ラリー選手権（WRC）をいかした三河・東濃地域の山村及び産業振興に向けたまちづくり事業】

申請者	愛知県豊田市、岐阜県恵那市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	3,198,641千円（900,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	観光分野
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治体が主体となって世界ラリー選手権（以下「WRC」）を開催 ・愛知県豊田市及び岐阜県恵那市を中心とする三河・東濃地域（以下「本地域」）で官民が連携して「ラリーをいかしたまちづくり」を進め、山村振興と産業振興を図り、地域の「経済基盤の強化」、「就業機会の創出」、「生活環境の整備」に取り組む 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・WRC継続開催による地域活性化事業 847,000千円 ・WRC開催とそのインパクトをいかした地域活性化事業 40,000千円 ・クルマを安全・安心に楽しめ、環境問題の解決に寄与する事業13,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①豊田市及び恵那市における主な観光施設やイベントの年間観光入込客数（+1,520,000人） ②WRCやモータースポーツに関連するイベントの集客数（のべ人数）（+980,000人） ③WRCに関連するイベント開催における豊田市及び恵那市への経済波及効果（+13,300百万円） ④関連企業の自動車販売台数（登録車）（+25万台） 		<p>関連URL</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォーラムエイト・ラリージャパン2024 豊田市HP https://www.city.toyota.aichi.jp/kuurashi/shogaigakushu/sports/1054881/index.html ・フォーラムエイト・ラリージャパン公式HP https://rally-japan.jp/ ・恵那市ラリージャパン活用推進実行委員会HP https://rally-ena.jp

事業概要【スポーツを核とした健康まちづくり事業】

推進当初

申請者	愛知県西尾市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	163,500千円 (40,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	あらゆる市民が心身ともに健康的に生活できるよう、本市の魅力を生かして楽しく継続して健康づくりに取り組むことのできる仕組みを構築し、高齢者から若者まで元気に活躍し続けられる社会、マルチステージ社会の早期構築を促し、住み続けられるまちを形成することを目指すとともに、スポーツ大会やツアーに市外からの参加者を呼びかけ、関係人口の創出・拡大を図り、将来的な移住者の増加を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>①にしお健康ツーリズム事業 スギ薬局と連携し、企業等における健康診査などにおいて、健康上のリスクのある人（特定保健指導の対象者及び対象にならないがリスクの高い人）を対象に、市内の温泉や抹茶等の食の資源を活用した健康プログラムを企画開発する。また、企画開発したプログラムを組み込んだモニターツアーを実施し、プログラムの検証と改善を図るとともに、観光事業者と連携して健康ツーリズム商品として販売の拡大を目指す。 健康ツーリズム実施業務補助経費1,500千円</p> <p>②フルマソン大会等の開催による健康づくり事業 健康づくりのまちとしてPRしていくためのシンボリックイベントとしてフルマソン大会を開催 ・にしおマソン（フルマソン）実施事業補助金38,500千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①健康ツーリズム参加者数 (+95人) ②フルマソン参加者数 (+1,300人) ③市外からのマソン参加者数 (+5,200人)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.nishio.aichi.jp/s-hisei/keikaku/1001515/1003264.html</p>

事業概要【健康でエコなマイクロツーリズム推進プロジェクト】

推進当初

申請者	滋賀県ほか6自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	492,000千円 (77,093千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・琵琶湖畔と内陸部をつなぐ観光周遊の流れの創出を図る。 ・観光客が地域を周遊することにより滋賀県の食や文化等の魅力を体験し、自ら情報発信することにより観光客の誘客へとつなげる好循環を図る。 ・サイクルステーションやレンタサイクル等を利用することにより、観光客が自らのニーズに合った健康でエコなマイクロツーリズムを推進するとともに、環境負荷の低いサステナブルツーリズムへの転換を図る。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>地域経済の活性化を図るため、日本遺産をはじめとした県内観光コンテンツを活用したマイクロツーリズムの創出を目指す。</p> <p>内陸部ルートを活用した新たなサイクリング人口の創出 6,400千円 民間事業者とのネットワークづくり 8,200千円 安全、安心な受入環境づくり 8,300千円 交通安全指導員の配置など安全・安心な自転車利用促進事業 15,232千円 健康でエコな自転車を軸とした湖岸アドベンチャーツーリズム発信事業 3,032千円 余呉湖周辺施設整備 4,214千円</p>		 
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①健康でエコなマイクロツーリズムによる経済効果の増加額 (+1,096百万円) ②サイクルツーリズムの自転車利用に伴うCO2削減の増加量 (+1,534 t-CO2) ③女性・ファミリー向けサイクリング体験イベント参加者の増加人数 (+2,800人) 		関連URL http://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseiunei/kousou/300323.htm !

※滋賀県、大津市、草津市、守山市、野洲市、米原市、日野町の広域連携事業

事業概要【環境と経済・社会活動を両立する地域循環経済創生プロジェクト】

推進当初

申請者	滋賀県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	795,058千円 (161,731千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	国内外の地域のニーズに丁寧に対応するとともに地域資源を活かした地域循環経済を生み出しつつ水環境課題の解決に貢献することにより、本県の水環境ビジネスに対する認識やブランド力を高め、本県地域経済の活性化を目指す。研究を通じて明らかとなった琵琶湖固有の生態系の持つ価値や魅力を観光分野と連携して活用することで、環境保全と地域経済の活性化の積極的な両立を目指す。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○水環境技術のブランド化を中心とした海外展開等の推進</p> <p>○水環境技術をはじめとした環境ビジネスの推進支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発支援 (補助) 15,300千円 <p>○新たな視点も取り込んだ水環境課題の解決に向けた先進的な研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・琵琶湖の水・湖底環境の健全性評価に関する調査研究 (委託料) 17,000千円 <p>○科学的知見に基づき地域資源を活用するビジネスの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在来魚の生息状況に関する調査研究 (委託料) 17,000千円 		 <p>左図 研究・技術分科会の様子</p>  <p>右図 サイエンスエコツアーの様子</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①環境ビジネス関連のビジネスマッチング成約件数 (+52件)</p> <p>②ブランド認定した製品・サービスを扱う企業のうち売上が前年度比で増加した企業の割合 (+95%)</p> <p>③サイエンスエコツアーのプログラム開発数 (+8件)</p>		<p>関連URL</p> <p>http://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseiunei/kousou/300323.html</p>

事業概要【歴史文化を活用した観光ハイブリット事業】

推進当初

申請者	滋賀県甲賀市	初回採択回	令和3年度第1回募集	
事業計画期間	R3-R7年	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	513,530千円 (73,109千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化を始めとする地域資源の磨き上げを行い魅力を発信する ・「忍者」を核とした観光誘致を図る ・史跡を活かした拠点整備等を行い、歴史文化を活用し、マイクロツーリズムを促進する 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○東海道の歴史的なまち並みを活かした周遊観光ルート整備 ・土山宿本陣活用イベント開催経費ほか5,628千円 ○古代の都城遺跡である史跡紫香楽宮跡の活用 ・紫香楽宮跡に関する講演会開催ほか1,259千円 ○国史跡水口岡山城跡の魅力発信 ・城跡に関する歴史講演会の開催、環境整備1,638千円 ○中世城館の城跡の情報発信や環境整備 ・城跡維持管理 (委託料) 1,000千円 ○信楽焼や陶芸家の調査による焼き物産地の魅力発信 ・信楽焼調査 (報酬) ほか1,589千円 ○忍者に関連する文化財や史跡等の地域資源の体験型コンテンツの開発 ・日本遺産関連施設整備 (委託料) ほか24,800千円 			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ① 宿泊を伴う観光客数 (+194,107人) ② 外国人観光客数 (+110,793人) ③ 市内観光消費額 (+9,817百万円) ④ 資料館等施設来館者数 (+4,500人) 		関連URL https://www.city.koka.lg.jp/16565.htm	

事業概要【さりげない支えあいのまちづくり こなんSDGs 未来都市の実現【シュタットベルケ構想】】

申請者	滋賀県湖南市	初回採択回	令和3年度第1回募集	
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	46,022千円 (4,950千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的 (効果)	1 産業力が強化された活力あるまちの創造 2 地域が主体となった持続可能なまちの創造 3 安心して暮らせる基盤の整ったまちの創造 4 観光と交流による活性化されたまちの創造			
事業概要・ 主な経費	○協議会設置事業 (750千円) 自治体地域新電力会社を中心にSDGsに取り組む企業の参画の促進を図るための経費 ○SDGs×地域資源等教育推進事業 (1,000千円) 市内中学校・高等学校でのSDGs体験教育を市内企業との連携により行う事業のための委託費 ○林福連携事業検討 (1,000千円) 障がい者の連携によるバイオマス燃料安定供給をめざすためのコーディネーター育成の委託費 ○農福連携事業検討 (600千円) ソーラーシェアリングにかかる農福連携の取組のための委託費 ○(仮称)若者まちづくり課プロジェクト創生事業 750千円 ○官学民連携ロールモデル創生事業 750千円 ○まちづくりフォーラム 100千円 SDGsの視点にもとづくまちづくりをテーマに、大学連携による専門的な知見の活用や、地域が主体となってSDGsの活動を行う経費			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①SDGsに配慮した活動を展開する企業数 (+56社) ②自然エネルギー等導入による流出しているエネルギー費用を域内で還流 (+1,350,000千円) ③官民連携によるESG投資 (+230,000千円) ④市内観光入込客数 (+174,555人)		関連URL	https://www.city.shiga-konan.lg.jp/soshiki/sogo_seisaku/chiiiki_sosei/6/sougousennryaku/sougousennryakuhyoukakai/index.html

事業概要【「子育て、子育てにやさしい」京都創生プロジェクト事業】

推進当初

申請者	京都府ほか15自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集	
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	2,552,765千円 (504,280千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子育てにやさしいまち (誰もが住みやすいまち) の核づくりを創出する ■ 地域での仕事づくりを目指す ■ 関係人口の創出、若者定着を促進する ■ 若者・子育て世代にとって魅力的な住環境を創出する 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○誰もが住みやすいまちづくり事業(府内への横展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの核(中心エリア)づくり支援(ソフト分)60,000千円 ・まちの核(中心エリア)づくり支援(ハード分)40,000千円 <p>○第2期京都府地域創生戦略(各地域の将来像)に基づく各市町村の中心エリア間の政策連携促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各市町村独自施策 354,280千円 <p>○【まちのファンづくり(若者定着促進)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーター(アドバイザー配置)3,000千円 ・「風土づくり」「まちづくり」「職場づくり」部会の開催3,000千円 ・府内企業経営者による産業学セミナー、就職支援協定締結大学におけるミニ企業説明会等28,000千円 ・就労環境改善に取り組む中小企業支援8,000千円 ・就労環境改善のための就労環境改善アドバイザー派遣8,000千円 			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①モデル地域市町村における人口の社会減解消 (+900人) ②市町村による重点取組エリアの設定 (+25箇所) ③エリア内の起業数、雇用数等(関係人口の創出) (+580件) 		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証)</p> <p>https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html</p>	

事業概要【あなたとともに「心やすらぐ地域の暮らし」を ～みんなが主役の地域振興事業～】

推進当初

申請者	京都府ほか18自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集	
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	4,268,236千円 (881,347千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	観光分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・若者たちが京都で夢を実現できる環境をつくり、移住定住を促すことで、新たな人の流れを生み出す。 ・京都ならではの伝統や文化が息づく「暮らし・生き方」のモデルを創出する。 ・地域のあらゆる産業が連携し相乗効果を生み出せる、観光を入口とした地域振興と多角的な地域経済を実現する。 ・地域を支える新たな動きや活力が生まれ、温かくも多様な人との交流で、誰もが住みやすい豊かな地域を育む。 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○人口減少時代においても活力あふれる地域コミュニティづくり <ul style="list-style-type: none"> ・農山漁村地域におけるコミュニティの活性化支援 (72,500千円) ○若者等の地元回帰に向けた、地域の魅力ある仕事づくり <ul style="list-style-type: none"> ・「アートとテクノロジーの融合」による若者を引きつける魅力的な産業拠点づくりと人材確保・育成 (38,000千円) ○暮らしやすさ向上による移住定住の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域拠点での地域外人材との交流事業 (31,880千円) ○外部から稼ぐ地域内経済循環の実現 <ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ船受入による地域経済の振興 (15,891千円) 		 <p>お茶の京都 海の京都 森の京都</p>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ① 地域への移住者、地域活動にかかわった地域外の人々の延べ人数 (+440人) ② 地域での新規就職者数 (+570人) ③ 本事業により空き家等を活用して交流を行う拠点数 (+15箇所) ④ 地域の一人当たり所得向上額 (+360千円) 		関連URL https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html	(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証)

申請者	京都府	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	411,832千円 (61,666千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・eスポーツ大会等の開催により、サンガスタジアム by KYOCERAの多角的利用による賑わい創出を図る ・サンガスタジアム by KYOCERAをeスポーツに関連する新たな人材育成の拠点地とすることを旨とする 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○スポーツ拠点としての認知度向上を図るための20,000人規模の集客イベント「京都スタジアム杯」の開催 33,333千円</p> <p>○オンライン観戦ツール等の運用 13,333千円</p> <p>○屋内施設用次世代高速wifiの運用 2,000千円</p> <p>○eスポーツマネジメント人材育成講座の開催 3,336千円</p> <p>○プログラミング・サイバーセキュリティ等の高度デジタル人材育成講座の開催 8,000千円</p> <p>○小中高生向けプログラミング体験会・プログラミング大会の開催 1,664千円</p>		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①サンガスタジアム by KYOCERAで開催されるeスポーツ及びプログラミングイベントの参加人数 (オンライン参加を含む) (+40,000人) ②プログラミング・サイバーセキュリティ等の高度デジタル人材の育成人数 (講座受講者数を含む) (+1,400人) ③小中学生向けプログラミングイベント参加者数 (+300人) 	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

事業概要【「海の京都連携都市圏」形成推進事業】

推進当初

申請者	京都府舞鶴市ほか6自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,981,799千円 (413,702千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	京都府北部5市2町それぞれが有する強みを活かし、連携と協力により役割分担と機能強化を図るとともに、公共交通等のネットワークの利便性を向上させることで、京都府北部が一つの経済・生活圏を形成し、圏域全体における地域循環型の経済成長、高次の都市機能の確保、生活関連機能の向上に協働・連携して取り組み、都会にはない豊かで文化的な生活環境を有する仮想的30万人都市圏を実現し、京都府北部地域の創生に取り組む。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○圏域全体の経済成長のけん引 ・産学官連携コンソーシアム研究事業 2,200千円 ・地域の新たな「稼ぐ力」の創出のための創業支援事業 13,257千円 ・特色あるものづくり産業の「稼ぐ力」強化支援事業 62,485千円 ・黒谷和紙や丹後ちりめんなど伝統産業における「稼ぐ力」拡大支援事業 11,312千円 ・特色ある一次産業における「稼ぐ力」創出事業 65,346千円 ・新たな生活様式に対応した「海の京都観光圏」の形成推進事業 8,680千円 ○高次の都市機能の確保・充実 ・高等教育機関と連携した人材育成事業 17,744千円 ・高等教育機関と連携した地域づくり促進事業 42,182千円 ○圏域全体の生活関連機能サービスの向上 ・関係人口創出事業 38,166千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①圏域への移住世帯数 (+50世帯) ②ワーケーション施設・テレワーク施設・サテライトオフィスの施設利用者数 (+4,958人) ③製造品出荷額 (+1,686,375万円) 		関連URL 京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会 https://kyotohokuburenkei.jp/k/ 効果検証 (代表・綾部市) https://www.city.ayabe.lg.jp/0000002649.html

※京都府舞鶴市、福知山市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町の広域連携事業

申請者	大阪府、大阪市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	276,350千円 (48,450千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・オーバーツーリズム対策と観光客消費単価の向上 ・多様化するニーズに対応した、地域資源を活かした誘客促進 ・国際交流や誘客促進を目的とした、教育旅行の活性化 ・SDGsへの取組みの推進によるブランディング、魅力創造 		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○大阪・関西万博に向けた地域消費&ショーケース機能強化 ・広域連携による観光交流人口・消費向上のためのWEBサイト運用、研修開催、コンテンツの磨き上げ、コース造成 14,500千円 ・デジタルプラットフォーム (アプリ) 構築 15,000千円 ○誰もが楽しめる多様性をもったまちづくり ・LGBTQ受け入れ環境整備プログラム構築、セミナー開催等8,000千円 ○観光と教育の連携による事業拡大および自立化 ・Web交流の促進、情報発信 3,500千円 ○大阪・関西万博に向けたSDGs対策 ・MICE SDGs認証制度の構築 6,500千円 ・食による交流促進セミナー開催、情報発信 950千円 		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①大阪・関西万博に向けたショーケース機能強化事業における消費額 (+ 2,413,300万円) ②大阪・関西万博に向けたショーケース機能強化事業における新規ビジネス件数 (+ 77件) ③大阪・関西万博に向けたSDGs対策におけるMICE参画事業社数 (+ 190社) ④大阪・関西万博に向けたSDGs対策における食の交流事業件数 (+ 550件) 	関連URL	https://www.pref.osaka.lg.jp/kikaku_keikaku/tihou-sousei/

事業概要【世界に伍するスタートアップ・エコシステム構築事業】

推進当初

申請者	大阪府、大阪市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,198,135千円 (238,027千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<p>広域自治体である大阪府が大阪市とともに、京都府市、兵庫県・神戸市との連携、関西広域連合とも協働することで、産学官連携や地域間連携を強化し、東京や海外の先進都市に匹敵するトップクラスのスタートアップ・エコシステムの構築に取り組む。</p> <p>また、本事業終了後においては、行政主導から民間主導の活動にシフトし、行政が地域・政策間連携など後方支援を担う、官民協調による自立したエコシステムとすることで、「副首都・大阪」の確立・発展に向けた新産業・イノベーションの推進、発展の環境を実現させ、まち・ひと・しごとの創生による持続的な発展を目指す。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>○大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアムによる取組み推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコシステム構築に向けた専門家の招聘費及び専門家交通費等 (13,250千円) <p>○万博開催、うめきた2期まちびらきのインパクトを活用した世界で存在感を示すための情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・万博やうめきたに向けたブランディング計画の追加 (3,150千円) ・広報費、PR資料作成経費等 (12,087千円) <p>○グローバルに活躍するスタートアップを輩出するための海外エコシステムとの接続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外エコシステムとの連携 (35,145千円) ・国際的ピッチイベントの開催 (57,604千円) <p>○ユニコーン企業の候補を輩出するための成長段階に応じた切れ目のないアクセラレーションプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪独自のアクセラレーションプログラム (95,308千円) ・グローバル拠点都市の海外アクセラレーターの活用 (21,483千円) 		
KPI	<p>①ユニコーン輩出件数 (+3社)</p> <p>②5億円以上の資金調達を行うスタートアップ件数 (+35社)</p> <p>③スタートアップビザ活用数 (+31者)</p>	関連URL	<p>(交付金の具体的使途・実施体制)</p> <p>https://osaka-startup.com/ (効果検証)</p> <p>https://www.pref.osaka.lg.jp/kikaku_keikaku/tiho-u-sousei/</p>



(出典：(公財)大阪産業局)

事業概要【5G等先端技術を活用したビジネス創出プロジェクト】

推進当初

申請者	大阪府大阪市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	510,668千円 (116,645千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<p>超高速・低遅延・同時多数接続の特長を有する5Gは、次世代の情報通信インフラとして、あらゆる産業分野にインパクトを与える可能性を有し、デジタル化が加速する中で、5G等の先端技術を活用したビジネスの市場拡大が見込まれる。ソフトバンク株式会社等と連携し設置した「5G X LAB OSAKA」を拠点に、中小企業等に対して、さまざまなビジネス支援を行い、新たな産業の創出及び地域経済の活性化をめざす。</p>		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>「5G X LAB OSAKA」を拠点に、中小企業やスタートアップ等に対して、さまざまな事業フェーズ（構想期・開発期・実証期・事業化期）に応じた支援を行い、5G等先端技術を活用したビジネスの創出をめざす。</p> <p>大阪産業局事業交付金 116,645千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○プロジェクト組成事業 ○開発補助 ○実証実験支援 ○導入トライアル補助 		  <p>(事例) 5G等を活用した 建機遠隔操縦シミュレータ</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ① 5G等の先端技術を活用したビジネス創出件数 (+22件) ② 5G関連プロジェクトの創出件数 (+37件) ③ 5G等の先端技術を活用した実証実験支援件数 (+59件) 		関連URL https://www.city.osaka.lg.jp/keizaisenryaku/page/0000522389.html

申請者	大阪府堺市、大阪府	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	176,000千円 (34,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・泉北ニュータウン地域におけるウェルビーイングの向上 (LWC、堺市独自アンケートで定量把握を行う) ・例えばヘルスケア (健康増進、見守り) のような行政課題に対し、コンソーシアムメンバーを中心に民間、大学、行政がそれぞれのノウハウを出し合い、最適な課題解決策を見出し、市民のウェルビーイングの向上を目指す。 ・上記解決策、施策の効果検証をスモール実証でPDCAを回し、最終的には市民のための社会実装を目指す。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>【泉北スマートシティコンソーシアム支援事業】負担金: 14,000千円 泉北ニュータウン地域を実証フィールドとして、先進的取り組みであるAIオンデマンドバスやヘルスケア領域の高齢者見守り、睡眠改善コンサル事業の実施。</p> <p>【都市OS構築・運用事業】 負担金: 20,000千円 大阪府都市OSにおいて市町村共同ポータルサイトなどの立上。 コンソーシアムで開発するアプリとのID連携。</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①企業拠点進出数 (+13件) ②新規雇用者数 (+65人) ③実証プロジェクトの数 (+95件)	関連URL	https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/g_yosei/shishin/shisei/senryaku/75027220210402131206568.html

事業概要【「恋人の聖地」広域市町村連携によるデジタル・シティプロモーション事業】

推進当初

申請者	大阪府貝塚市ほか17自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	3,783,556千円 (726,882千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	単独では実現の困難な著名人の招致や民間事業者から参画を得やすいポータルプラットフォームの構築を実現、大都市圏に向けた情報発信。各事業関連資源のブランド化・再構築を図り、SNS等に向けたコンテンツ化を推進することにより、地域資源をデジタル情報価値のある魅力的なものに高め、観光振興による交流人口の増加に加え、関係人口の増加を図り、移住・定住による地方への人の流れを生み出すことを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○SNS等の活用のためのポータルプラットフォーム基盤整備事業 市町村連携ポータルプラットフォーム共同基盤事業費【90,000千円】</p> <p>○広域市町村連携シティプロモーション事業 市町村の連携シティプロモーション事業費【396,710千円】 ・『国内外のメディア・大使館・観光局との連携構築』事業費/広報費、委託費等</p> <p>○地域産業拡大事業 市町村の連携地域ブランド・産業拡大事業費【131,950千円】 ・『各国の観光局・海外事業者と連携、販路開拓』事業費/試作・実証費、市場調査費、販路拡大費、委託費等</p> <p>○情報ネットワーク・地域活性化事業 市町村の連携デジタル活用・地域活性化事業費【108,222千円】 ・ICTを活用した配信・啓発・連携事業費/SNSメディア制作配信費、AR動画配信事業費、委託費等</p>		 
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①観光入込数 (+22,155,000人)</p> <p>②ポータルプラットフォームへの投稿数 (+5,130件)</p> <p>③メディア掲載数 (+2,052件)</p>		<p>関連URL</p> <p>○大阪府貝塚市ほか17自治体 HP</p> <p>○総集サイトは 令和6年7月公表予定</p>

※大阪府貝塚市、北海道七飯町、岩手県花巻市、山形県村山市、福島県田村市、石川県白山市、長野県須坂市、岐阜県山県市、静岡県西伊豆町、愛知県豊根村、大阪府泉南市、兵庫県朝来市、徳島県阿南市、高知県室戸市、福岡県小郡市、佐賀県基山町、熊本県阿蘇市及び大分県豊後高田市の広域連携事業

申請者	大阪府四條畷市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	134,480千円 (29,645千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	第6次四條畷市総合計画では、2050年のまちの将来像を「自然と歴史をいつくしみ・やすらぎ・ぬくもり・にぎわいをそだてよう、みんなの夢をつくるまち四條畷～すべては住みよいまちづくりのために～」をめざす。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○低速型自動運転車運行 乗降ポイント案内標識（原材料費） 112千円</p> <p>○物流生産性向上の為に継続した対話 物流生産性向上に向けた協議費用（役務費） 10千円</p> <p>○未利用地及び公共空地の有効活用協議事業 （1）基本方針・基本構想策定業務（委託料） 27,500千円 （2）賑わい創出に向けたイベント実証（委託費） 1,000千円 （3）有効活用利用協議会事務用品（消耗品費） 50千円</p> <p>○フォーラム・地域イベント支援事業 （1）実装イベント費用（報償費・謝礼） 300千円 （2）3年間の歩みの展示等（消耗品費） 50千円 （3）自動運転等の普及啓発（印本、役務費） 395千円 （4）市民提案型イベント（報償費 謝礼） 80千円</p> <p>○地域の人づくり研修 （1）体験学習費（報償費 謝礼） 50千円 （2）教室開催費用（需用費） 10千円 （3）自動運転等オペレータ研修費用（委託） 470千円 （4）低速電気自動車保守事業者養成費用（委託） 70千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①田原地域内における新たなサービスや事業者の新規創業数及び事業敷地等拡大事業者数（+5団体）</p> <p>②田原地域における社会増減人口0人以上（+0人）</p> <p>③市ホームページにおける田原管内が所管する記事へのアクセス数（+2,700件）</p> <p>④新たな低速型自動運転車の利用人数（+955人）</p>	関連URL	https://www.city.shijonawate.lg.jp/soshiki/33/33941.html



事業概要【こうべ女性就業・活躍促進プロジェクト】

推進当初

申請者	兵庫県神戸市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	91,330千円 (20,370千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・女性が働く希望を叶え、ライフイベントに左右されず多様な働き方を選択しながらキャリアを築き、活躍できるまちの実現を目指す。 ・地方経済の中核となる都市として、若年女性にとって魅力ある仕事を増やし人口流出を防ぎ、神戸の都市機能を周辺の都市・地域に提供することで、地域の経済をけん引し、活力の維持・発展を推進する。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度 事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○女性の再就職・キャリアアップ支援と支援モデルの構築 ・支援情報発信、キャリア相談実施経費 (委託料) 1,220千円 ・就労支援セミナー等開催経費 (委託料) 2,200千円 ・郊外型女性向けコワーキング施設の運営経費 (委託料) 2,000千円 ○女性リーダーの育成・ネットワークづくりの支援 ・セミナー及び交流会開催経費 (委託料) 3,500千円 ○女性活躍・多様な働き方の推進に向けた市内中小企業のサポート ・女性活躍推進企業認定制度の運営 (印刷費等) 950千円 ○女性の理工系人材育成 ・体験プログラム実施経費 (委託料) 1,500千円 ○起業を志す/起業して間もない女性の育成・支援 ・実践型伴走支援プログラム実施経費 (委託料) 9,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の 累計」の目標値	①再就職又は非正規から正規雇用転換した女性の数 (+245人) ②女性リーダー育成プログラムを受講した女性の数 (+180人) ③女性活躍・多様な働き方への新たな取り組みを行った企業の数 (+650社) ④女性起業家育成プログラムを受講した女性の数 (+80人)		関連 URL https://www.city.kobe.lg.jp/a47946/shise/kekaku/masterplan/jikikihonkeikaku00/2025visionsuishin.html



就労・再就職支援セミナー



女性リーダー育成研修

女性活躍推進企業認定

事業概要【ウイズコロナ時代のニューノーマルな雇用促進パッケージプラン】

推進当初

申請者	兵庫県姫路市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	145,067千円 (26,874千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの若者が地元に戻り就職し、その生涯を安心して暮らしていく。 ・地方でセカンドキャリアを考えている人々も、終の住み家に選び、地域経済の担い手となり更にその魅力を向上させる。 ・その魅力に共感を得ることで、次の担い手がまた新たな魅力を生み出す、そういった発展的なスパイラルが育っていく街を目指す。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域密着型就職支援サイト「JOB播磨」の運営、改修 1,291千円 ○インターンシップ等イベント「あっと！姫路」 17,394千円 インターンシップ等マッチングイベントをリアルとオンラインで実施、連携して県外学生等を対象とした魅力発見ツアーを実施 ○「女性就労支援事業」 8,189千円 既卒者の中でも、特に出産や育児等で離職した者や就労経験のない女性を対象に、キャリア形成等に関する研修を行い、合同企業面談会等も開催。 		<p>地域密着型就職支援サイト「JOB播磨」</p> 
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①雇用パッケージプランによる就職内定者プラス起業者累計数 (+150人) ②20～39歳の転出超過者数 (▲300人) ③JOB播磨掲載企業数 (+900社) ④AI面接導入企業数 (+25社) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/0000006344.html</p>

申請者	兵庫県姫路市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	180,000千円 (30,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・都市のイメージアップに取り組み、姫路・播磨の地場産品の認知度向上を図る ・国内外での地場産品のプロモーションや、地場産事業者のECサイト参画を促し、地場産品の販路拡大を図る ・産業、観光、教育、人口政策を含有する政策間連携により、UJIターンを促し人口の社会増減の増加に寄与する 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○産官学金で構成するコンソシアムによる評価並びに年度計事業の検討 2,000千円 ○国内外でのプロモーション及び商談会 <ul style="list-style-type: none"> ・海外プロモーション 10,000千円 ・国内プロモーション 8,000千円 ・メディアプロモーション 2,000千円 ・ファンづくり 1,000千円 ○各種ECサイト、企業等との協業 2,000千円 ○大阪万博を見据えた事業 5,000千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①姫路の大学生の「姫路」、「播磨」の地場産品に係る認知度向上割合 (+20%) ②プロモーション、商談会による契約成立件数 (年度末現在での商談進行中も含む) (+45件) ③ECサイトへの新規参画者数 (+90者) ④20代、30代の転出超過数 (▲250人) 		関連URL https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/0000006344.html

事業概要【飛び地自治体連携による成果連動型スポーツ健康まちづくり事業】

推進当初

申請者	兵庫県西脇市ほか3自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	865,368千円 (173,918千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	住民が自発的に健康づくりに取り組めるよう行動変容を促すことで、地域で役割を持ちながら生涯現役で暮らすことができるまちの実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○健幸ポイント事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間支援業務 (委託料) 18,260千円 ・ICT活用の健幸ポイントプログラムの運営 61,393千円 ・事業推進に係る委託費 10,056千円 ・人材育成 1,586千円 ・消耗品・その他諸経費 16,396千円 <p>○4市町連携スポーツ健康まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動教室運営 40,298千円 ・生涯スポーツ推進事業、スポーツ健康フェスタ開催 1,642千円 ・健康の駅の整備 (補助金) 1,222千円 <p>○事業評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム参加者を対象にしたアンケート・歩数データ分析 (委託料) 11,135千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①健康寿命の延伸 / 医療費・介護給付費の抑制額 (+647百万円) ②健幸ポイントプログラムの参加者数 (+11,500人) ③80・90歳代の健幸ポイントプログラムの参加者数 (+1,720人) ④事業を通じた市民の健康投資 (+5,100万円) 		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.nishiwaki.lg.jp/kakukanogoannai/shichoukoushitsu/seisaku/chihousousei/28193.html (効果検証) https://www.city.nishiwaki.lg.jp/kakukanogoannai/shichoukoushitsu/seisaku/chihousousei/28193.html</p>

※兵庫県西脇市、福井県大野市、京都府南丹市、岩手県金ケ崎町の広域連携事業

事業概要【「おかえり丹波」丹波市とつながる関係人口創出・移住促進事業】

推進当初

申請者	兵庫県丹波市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	207,347千円 (48,296千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・出生から高校生までの成長過程で、子どもたちの丹波市への愛着心を育み、大学等卒業後や就職を契機に丹波市に帰ってくる若い世代を増やす ・人口減少下でも、市外在住の方で丹波市と様々な形で関わりをもち、地域を支えてくれる人材として関係人口の創出を図る ・歴史ある有機農業を活かした取組などを推進し、地域の農業を次世代に継承するとともに、移住・定住の促進を図る 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>○ハッピーバース応援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹波市産の木材を活用した木のおもちゃ等を出産した世帯に贈呈。商品開発に関わる大学生の活動を補助 (補助金) 500千円 <p>○関係人口創出事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポータルサイト運営 (クラウドサービス使用料) 660千円 ・ふるさと住民登録案内チラシ作成 60千円 ・ポータルサイト周知のインターネット広告 (委託料) 1,386千円 ・ふるさと住民ポイント付与業務 (委託料) 330千円 <p>○移住促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住希望者の仕事や住まいを支援するワンストップ相談窓口の運営 (委託料) 25,000千円 ・オンライン移住相談窓口 (使用料) 1,510千円 ・移住促進イベント (負担金) 628千円 ・農の学校運営事業 (指定管理委託料) 13,222千円 ・就農支援のための情報発信サイトの運営 (委託料) 5,000千円 </div> <div style="flex: 1;">  </div> </div>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①相談窓口を利用して移住した年間人数のうち、40歳未満の人の割合 (3ヶ年平均) (+12.7%) ②ふるさと住民の累計登録者数 (+670人) ③丹波市に住み続けたいと感じる市民の割合 (+3.6%) 		
	関連URL	https://www.city.tamba.lg.jp/sos/hiki/sogosesakuka/gyomuannai/8/5/1417.html	

事業概要【移住定住促進と関係人口創出によるまちづくり推進事業】

推進当初

申請者	奈良県天理市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	53,775千円 (8,332千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> • 空き家の活用や雇用に対するマッチング事業による、移住施策の推進。 • 既存コミュニティを移住者にも寛容で地域課題解決型に転換することによる、関係人口の創出。 • 豊かな自然を活かした持続可能な循環型の里山の魅力を活かした地域づくり。 • 農やスポーツの体験を取り入れた“旅”を通じた、多世代活躍の場や関係人口の創出。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○移住情報提供や移住者と地域との関係づくりのための支援実施。高原地域では、持続可能な循環型里山暮らしを推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 移住促進委託料 250千円 • 大和高原「福住村」プロジェクト負担金 3,500千円 <p>○農やスポーツの体験を取り入れた“旅”に関する事業などの実施による、関係人口の創出。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 多世代活躍関係人口創出事業補助金 200千円 • 地域内外交流促進事業委託料 1,000千円 • 地域経済活性化事業 (おてつたび事業) 補助金 730千円 • 天理市スポーツツーリズム推進協議会負担金 2,000千円 <p>○移住者の就職・創業関係の支援、サテライトオフィス活用事業の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 創業、起業等相談会事業 502千円 • サテライトオフィス等利用促進事業 150千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①事業を通じた移住世帯数 (+38世帯) ②事業を通じた移住相談件数 (+310件) ③事業を通じた関係人口数 (+400人) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.tenri.nara.jp/ka-kuka/shichoukoushitsu/sougousei-sakuka/top/tenrisimachihitosigotosouseikaigi/index.html</p>

事業概要【最南端から最先端へ！民間ロケット発射場を核とした地方創生プロジェクト】

推進当初

申請者	和歌山県ほか2自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集	
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	641,652千円 (99,338千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙関連産業の集積化に向けてシンポジウムの開催などにより機運醸成を図るとともに、当該地域における従来の主要産業である観光産業と繋げることで、コロナ禍で大打撃を受けた観光産業の復活はもとより、「ロケットの町」として認知度の向上など地域活性化の多様な相乗効果の創出を図る ・宇宙関連企業の協力を得ながら、県内での宇宙教育やプログラミング教育の充実化を図り、高度人材（研究者・技術者）を育成し、中長期的に地域への集積が期待される宇宙関連産業の人材輩出を図る 			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○ ロケット打上応援イベント等の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・協議会でのイベント運営（委託料）74,871千円 «内訳» 県：37,435千円、那智勝浦町：18,718千円、串本町：18,718千円 ・映像シアター運営【串本町】（委託料）6,659千円 ○ 高度人材育成のための宇宙教育やプログラミング教育を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・宇宙シンポジウム開催【県】（委託料等）3,529千円 ・児童生徒のイベントの参加促進【県】（役務費等）2,865千円 ・宇宙ワークショップ開催【串本町】（委託料）3,080千円 ・宇宙ワークショップ開催【那智勝浦町】（委託料）2,000千円 ・中高生向け高度プログラミング教育【県】（委託料）5,004千円 ・県立串本古座高校での宇宙教育推進【県】（報償費等）1,330千円 		 <p>ロケット打上げイメージ（提供：スペースワン社）</p>	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①公式見学場（2箇所）来場者数（+13,600人） ②観光入込客数（那智勝浦町・串本町・白浜町・田辺市本宮町の合計）（+136万人） ③県内児童生徒に対する宇宙関連教育実施人数（+1,700人） 		<p>関連URL</p> <ul style="list-style-type: none"> https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020_100/tihouseusei/tihouseusei.html https://www.town.nachikatsuura.wakayama.jp/Info/1080 https://www.town.kushimoto.wakayama.jp/sangyo/town-planning/sougou-senryaku.html 	

申請者	和歌山県ほか6自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	35,470千円 (5,322千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	観光分野
目的(効果)	当地方に従来からある自然資源、歴史文化等の可能性を最大限に活かす取組により、稼げる魅力的な産業と雇用を生み出し、地方でも一人ひとりの夢や希望の実現を後押しできる地域社会を創り、次代に継承していく。具体的には、地域一体となって体験交流型観光を推進し、交流人口、関係人口及び移住人口の拡大による地域の活性化を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>観光振興を基軸にした協働によるまちづくりを進めるため、1市6町の広域連携及び官民協働による地域内外の人をつなぐ新たな組織を設立し、体験交流型観光の推進体制を整備し、教育旅行を中心にした団体の体験交流型旅行の受入等を行う。これにより、交流人口及び関係人口を拡大させ、観光事業者等の売上増加や一次産業従事者の所得向上につながる経済波及効果並びに地域コミュニティの維持・強化、人材育成、地域住民の地域への愛着と誇りの醸成等といった社会的効果を生むものとする。</p> <p>○ワンストップ窓口化構築、組織運営事業 ワンストップ組織運営にかかる費用 5,067千円</p> <p>○プロモーション事業 旅行会社や学校への営業活動等費用 255千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①御坊日高広域のワンストップ組織の年間売上額 (+38,477千円)</p> <p>②教育旅行受入人数 (+3,532人)</p> <p>③民泊受入家庭数 (+100軒)</p> <p>④御坊日高広域のワンストップ組織会員内の移住者人数 (+22人)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/130500/chiikisinnkoubu/d00210442.html</p>

事業概要【「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション】

推進当初

申請者	鳥取県鳥取市	初回採択回	令和3年度第2回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	138,151千円 (27,505千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	SDGs の考え方を取り入れた「再生可能エネルギーの地産地消」と「次世代農業」と「鳥取型ワーケーション」の取組によるローカルイノベーションの創出と関係人口の拡大		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ● 持続可能な農業経営に向けた取組み ・再エネを活用したスマート農業実装支援 (補助金5,000千円) ● 都市部から地方への人材確保の取組み ・ワーケーション関連経費 (補助金1,800千円) ・地域資源を活用した地域活性化関連経費 (補助金2,000千円) ● 持続可能なカーボンフリー社会実現の取組み ・エネルギー地産地消まちづくり実証研究会 (補助金2,000千円) ・太陽光パネルリサイクル推進事業 (補助金4,000千円) ● 上記の取組効果を高める統合的な取組 ・情報発信経費 (需用費662千円、委託料2,943千円、補助金3,000千円) ・啓発事業等の開催 (委託料3,419千円) ・その他関連2事業 (報酬1,626千円、職員手当等610千円、共済費327千円、旅費68千円、需用費50千円) 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①鳥取市SDGs未来都市の構想に基づいた事業への参画企業数 (+112社) ②再生可能エネルギーを活用した農産物出荷額 (+47,800千円) ③ワーケーションをきっかけとした移住相談者数 (+60人) 	関連URL	https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1705372139920/index.html (調整中)



事業概要【「全世代・全員活躍のまち南部町」推進プロジェクト】

推進当初

申請者	鳥取県南部町	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	353,664千円 (72,275千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	「交流・居場所」「活躍」「しごと」「住まい」「健康」の分野ごとの取組みを官民一体となって実施することで、誰もが居場所と役割を持ち、つながりを持って支え合う「地域コミュニティ」を形成し、その情報を町内外で積極的にPRすることで、以前から住んでいる町民が「南部町に住み続けたい」と思い、町外の人々や企業・団体等が「南部町に住みたい、関わりたい」と思うような「全世代・全員活躍のまち南部町」を目指す。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○都市部企業と町内団体等が協働したまちづくり・DX人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伴走支援 (委託料) 1,000千円 <p>○「しごとコンビニ」によるワークシェアリング、すきま時間を活用した町民の活躍の場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「しごとコンビニ」事業の実施 (委託料) 13,000千円 <p>○空き家を活用した住まいの「確保・環境整備」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の改修費 (補助金) 10,000千円 <p>○地域における外国人材の活躍と多文化共生社会の実現を図る専門人材を招聘する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部専門人材(JICA)の招聘 (負担金) 7,500千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①活躍人口増加数 (+4,585人) ②空き家の利活用件数 (+20件) ③新たな事業主体の設立数 (+1法人) 	関連URL	鳥取県南部町HP https://www.town.nanbu.tottori.jp

事業概要【しまねのチカラ！組織連携による地域の自立性向上プロジェクト】

推進当初

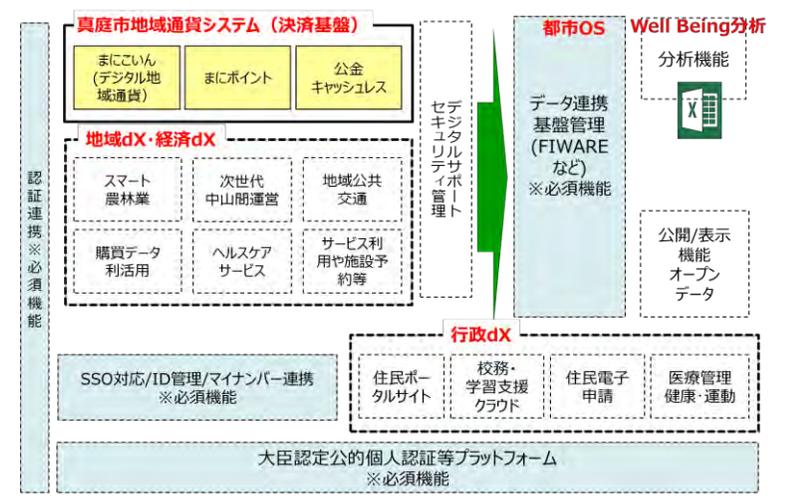
申請者	島根県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	717,729千円 (125,595千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	地域運営組織の運営の維持が難しい地域において、担い手の確保や、複数の公民館エリアにおける連携、自主財源の確保により、構造的な課題を解決し、地域運営組織の持続につなげる。		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>○中山間地域の生活機能の維持・確保を図るために、単独の公民館エリアにおいて新たに担い手の確保に取り組む人材の配置を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域運営組織への人材配置支援、実践活動支援（ソフト事業）（補助金） 23,516千円 <p>○複数の公民館エリアにおける機能の分担や集約など、より広い範囲での取組への支援を開始し、モデルとなる地区を構築し、広く県内に波及させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場支援（人件費、会場使用料等） 12,419千円 <p>○地域運営組織が新たに取り組む収益事業に対し支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活交通バス実証運行・実行計画策定経費の支援（補助金） 38,361千円 		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①生活機能の維持・確保のための実践活動に取り組んでいる公民館エリア数【当該年度3月時点】（+50エリア） ②生活機能の維持・確保のための実践活動の数【当該年度3月時点】（+125活動） ③地域の実情に応じた生活交通の確保に向けた実行計画を策定する市町村数【当該年度3月時点】（+13市町村） ④担い手不在集落解消数【当該年度4月～3月】（+275集落） 	<p>関連URL</p>	<p>（交付金の具体的使途・実施体制）</p> <p>https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/region/chiiki/chusankan/tiisanakyotendukurinokasokuka.html （効果検証）</p> <p>https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/singikai/56kaihatushinngikai.html</p>

申請者	岡山県津山市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	500,000千円 (100,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	津山圏域における産業支援の拠点である「つやま産業支援センター」では、地域中小企業の潜在能力を発揮させるイノベーション創出、ICT利用の促進、事業継続力の強化により自立性を高め、地域の人口流入を促進します。就労者不足の改善、地域企業の経営力と知名度の向上、後継者問題の解消、専門人材の確保、UIターン促進、下請け型企業の自立支援など包括的に支援をしています。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>企業の経営力強化</p> <p>革新製品付加価値製品開発及びブランド化支援 9,630千円</p> <p>販路開拓・パートナーシップ構築支援事業 12,180千円</p> <p>創業・新事業の創出</p> <p>創業者育成、創業ネットワーク形成事業 4,150千円</p> <p>技術系創業促進事業 800千円</p> <p>人材育成</p> <p>中核人材育成・採用サポート事業 920千円</p> <p>技術人材育成事業 900千円</p> <p>地域産業の強化・BCP構築</p> <p>個別企業支援の体制整備事業 7,600千円</p> <p>個別企業・製品等の全国発信事業 900千円</p> <p>など</p>		 <p>つやまエリアオープンファクトリー</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ① 1世帯当り総所得金額 (+85千円) ② サポートによるファクトリーブランド及び自社製品保有企業数 (+15社) ③ オープンファクトリー参加者数 (+250人) ④ 市内ICT企業の新規雇用者数 (+25人) 		<p>関連URL</p> <p>令和6年度公表予定</p>

事業概要【次世代型中山間地域創造プロジェクト】

推進当初

申請者	岡山県真庭市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	286,817千円 (66,254千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<p>・フィンテック・ブロックチェーン技術を活用したデジタル地域通貨を導入し、SDGsの理念を踏まえた地域づくりを推進</p> <p>・スマート農林業の推進により基幹産業・農林業の生産性向上及び地域マイクログリッド及び林業、木材・木造建築研究ゾーン構想の実現を目指す</p> <p>・脱化学肥料化による上流からの海ごみ対策の推進を図り、効率的でエシカルな農業スタイルを確立する</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>○デジタル地域通貨基盤の運用と利用促進ポイント付与キャンペーンを実施し、運用に必要な収入の確保を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル地域通貨基盤サービス利用料 (使用料) 30,779千円 ・利用促進ポイント付与キャンペーン (委託料) 1,100千円 ・外部利用促進プログラム開発等 (委託料) 1,000千円 ・利用促進イベント開催 (委託料) 1,163千円 ・データ連携基盤・デジタルID基盤利用料 (使用料) 1,485千円 ・データ連携基盤・デジタルID基盤実装・運用費用 (委託料) 13,860千円 <p>○スマート農業技術導入補助とスマート農業塾の開催による普及・社会実装</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真庭市スマート農業技術導入補助 (補助金) 8,000千円 ・スマート農業によるビジネスモデル創出事業 委託料1,925千円 <p>○行政DX基盤による市内ビッグデータの蓄積・官民利活用推進によるイノベーション促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ開催・サポートセンター運営 (委託料) 1,992千円 ・産業プラットフォーム活用戦略策定事業等 (委託料) 4,950千円 		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① デジタル地域通貨の利用者数 (+20,500人) ② スマート農業に取り組む農業従事者数 (+27人) ③ 官民データ連携事例数 (+11件) 		
<p>関連URL</p>	<p style="text-align: center;">調整中</p>		



申請者	岡山県美作市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	18,122千円 (3,250千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	美作市出身の映画監督「大谷健太郎」氏がメガホンを取る映画の宣伝力を活用し、海田茶等のブランド化、ロケ地のPRなどロケツーリズム、原作者のファンを含む映画ファンの取り込み、リピーターや日帰り客を含む観光客の増加、これら一連の推進を図ることで、地域の賑わい創出へと繋げ、美作市の活性化と定住促進と移住者増加を目指すもの。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○ロケツーリズム推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画の公開に合わせてロケツーリズムを推進するために、ガイド付きのロケ地巡礼ツアーを開催する。 ・ロケ地巡りツアーの企画・開催に係る経費 (委託) 650千円 <p>○ロケ地受入体制整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・撮影を行ったロケ地に、ロケが行われたことを記すサインを整備する。 ・ロケ地サイン立て看板 (可動型) 制作事業 (委託) 550千円 <p>○首都圏における海田茶プロモーション事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏の百貨店等と連携して海田茶のPRイベント、販促活動を展開。また、高付加価値な新商品作りを企画する。 ・令和6年度 首都圏海田茶プロモーション事業 (委託) 1,650千円) <p>○海田茶認知度向上事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの首都圏における海田茶ブランディングの成果を地元へ還元し、湯郷温泉街での海田茶の普及活動を行う。(委託) 400千円 		 <p>↑ 映画ロケ風景</p> <p>首都圏での プロモーション →</p> 
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①湯郷温泉地内の主要観光施設への来客増加 (+4,500人) ②美作市観光案内へのアクセス数の増加 (+30,000件) ③インバウンド観光客数の年間宿泊客数 (+9,000人) ④移住定住人口の増加数 (+80人) 		<p>関連URL</p> <p>調整中</p>

申請者	岡山県奈義町	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	538,000千円 (104,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	奈義町で生まれ、学び、暮らすことは町民の誇りであり、まちの魅力を自覚し、主体的に奈義町で暮らしている。そして町外からは、奈義町に憧れを抱いている。そのような奈義町に、生きがいを持ちながら暮らす一人ひとりの町民、緩やかな関係を持つ内外の人々、自然景観、面となって互いに関連しあう施策、それらの総体としての「奈義町」が、誰もが豊かに暮らすことができる「全世代全員活躍のまち」のひとつのモデルになることを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>① 合計特殊出生率2.95 日本一結婚・出産・子育てのしやすいまちづくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソフト事業：47,200千円 ・施設整備：18,000千円 <p>② まちで活躍する人づくりと人材供給事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソフト事業：20,100千円 <p>③ 多世代交流の場と役割と心身健康づくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソフト事業：9,900千円 <p>④ 住みたい・帰ってきたい暮らしと住まいの整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソフト事業：9,300千円 	<p>様々な施策により多方面から町民の生涯活躍を叶える</p>	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①合計特殊出生率 (▲0.65ポイント)</p> <p>②新規創業者数と事業承継者数 (+15件)</p> <p>③人口維持 (▲0人)</p>	関連URL	調整中

事業概要【自治体広域連携によるローカルベンチャー拡大推進事業～官民共同・地域間連携による企業版関係人口創出・右腕人材マッチングプラットフォームの開発～】

推進当初

申請者	岡山県西粟倉村ほか6自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	2,231,371千円 (445,518千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	知見や技術のある都市部企業を協働パートナーとして巻き込み、より大きな経済的成果や地域課題の解決（脱炭素社や健康寿命会増進、地域内経済循環等のローカルSDGs推進）につながる事業を創出し、地域内における経済波及効果（雇用創出・給与水準向上、域内売上・費用額向上等）を高め、小規模・小都市の自治体における地方創生戦略としてのロールモデルを確固たるものにする。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○広域自治体共有プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業版関係人口等拡大事業（地域共創ラボ、ローカルリーダーズミーティング等） 委託料24,000千円 ・重点ベンチャー支援事業（個別伴走支援、有機的なコーディネート等） 委託料20,220千円 <p>○岡山県西粟倉村</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業版関係人口等拡大事業（関係人口プラットフォーム構築事業、先端技術による3K課題解決実証事業） 委託料28,620千円 ・新事業創出加速化事業（ビジネスアイデア・プラン開発事業、新事業創出加速化支援事業、百年の森林留学プログラム） 委託料77,000千円、賃借料1,380千円 <p>○北海道厚真町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業版関係人口等拡大事業（関係人口創出事業、情報発信事業） 委託料20,627千円 ・重点ベンチャー支援事業（新規事業創出加速化事業、厚真町ローカルベンチャー人材育成事業） 委託料等22,319千円 <p>○宮城県気仙沼市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業版関係人口等拡大事業（事業・デジタル変革促進拠点整備、DX推進プロジェクトの実施、人材プラットフォーム運営事業） 委託料等7,400千円 ・重点ベンチャー支援事業（新事業創出加速化事業、観光産業成長支援事業、地域の担い手育成事業） 委託料等123,733千円 <p>○島根県雲南市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業版関係人口等拡大事業（雲南ソーシャルチャレンジバレー推進事業） 負担金3,520千円 ・重点ベンチャー支援事業（起業創業・事業承継支援事業、オープンイノベーション推進事業） 委託料等34,729千円 <p>○愛媛県久万高原町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業版関係人口等拡大事業（オープンデータ推進事業、企業版関係人口推進事業、地域運営協議会設立育成支援事業、コミュニティナース育成支援事業、企業との協働推進事業） 委託料6,270千円 ・重点ベンチャー支援事業（新事業創出加速化プログラム、久万高原町魅力ある産業づくり、森からはじめる未来づくり支援事業） 委託料8,700千円、補助金12,000千円 <p>○鹿児島県錦江町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点ベンチャー支援事業（新事業創出加速化事業） 委託費55,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①ローカルベンチャーによる売上規模（+5,532,725千円）</p> <p>②都市部企業等との協働プロジェクト件数（+263件）</p> <p>③課題解決型人材の増加数（+1,290人）</p> <p>④事業ノウハウ移転地域数（+115地域）</p>		<p>関連URL</p> <p>https://initiative.localventures.jp/</p>



事業概要【地域貢献人材を育成する大学等への支援事業】

推進当初

申請者	広島県広島市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	21,337千円 (3,333千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	急速な人口減少や少子化・高齢化が進む中、広島広域都市圏の圏域経済の活性化及び圏域内人口200万人超の維持を目指す「200万人広島都市圏構想」の実現に向け、地域の活力の維持・向上を図り、圏域全体の持続可能性を高めていくため、地域に愛着と誇りを持って地域課題の解決や産業・経済の更なる発展等に貢献する人材を育成することを目的とする。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>広島広域都市圏内の市町が属する広島県、山口県、島根県内の大学等を対象に、圏域内の市町及び企業・団体等と連携し、圏域内市町をフィールドとして取り組む大学等の教育研究活動（大学等において取り組んでいる研究分野のほか、各市町の地域課題の解決や地域の活性化等に関するもの）に補助金を交付する。</p> <p>事業費：3,333千円 補助金額：1件当たり年間50万円を上限 (補助率：対象経費の10分の10)</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①大学卒業生の県内就職率 (+0.50%)</p> <p>②本事業により実施された教育研究活動の数 (+50件)</p>		<p>関連URL</p> <p>(デジタル田園都市国家構想交付金活用事業) https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/11/366238.html (効果検証) https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/11/109113.html</p>

申請者	広島県東広島市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	211,395千円 (36,690千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・「環境」をキーワードとした持続可能な社会の構築 ・「SDGs」をキーワードとしたイノベーションの創出の仕組みづくり 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	1 「環境」をキーワードとした持続可能な社会の構築 ・食品リサイクルループの啓発 (委託料) 1,248千円 ・事業系生ごみのたい肥化 (補助金) 3,693千円 ・里山資源マイスター養成研修 (委託料) 1,852千円 ・環境に配慮した社会システムの構築推進経費 (報償費等) 379千円 2 「SDGs」をキーワードとしたイノベーションの創出 ・市民への認知度向上 (委託料等) 876千円 ・SDGsパートナーの交流の場創出 (委託料等) 2,595千円 ・大学と連携したイノベーションの創出に資する共同研究等 (負担金) 26,047千円		 <p>SDGsパートナーの交流の場の様子</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①生産寄与直接効果額 (+335百万円) ②SDGsパートナー数 (+615団体) ③SDGsパートナー交流の場参加数 (+250団体) ④市内の温室効果ガス総排出量 (▲306.5千t-CO ₂)		関連URL https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/somu/1_1/chihouseusei/2514.5.html

申請者	山口県ほか9自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	590,141千円 (76,102千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	山口県では、人口減少、とりわけ県外流出による社会減が大きな課題となっており、本県では、第2期県総合戦略での取組の方向性とコロナ禍の影響を踏まえ、県内就職・進学に向けて実効性のある取組を展開することにより、転出超過の半減に向けた県内への人材の定着・還流の創出を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○大学生等を対象とした県内就職促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内企業の認知度を上げる効果的な取組 (委託料) 20,820千円 ・県内就職に向けた取組の体系化 (委託料) 23,927千円 ・県内企業の魅力向上・掘り起こし (委託料) 4,009千円 ・県内市町による地元就職促進 (印刷製本費、賃借料等) 236千円 <p>○高校生を対象とした県内就職促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門高校生等の県内企業への就職意欲の喚起 (委託料) 6,542千円 ・県内企業の若手技術・技能者への育成指導力の向上 (委託料) 5,951千円 <p>○外国人材を対象とした県内就職促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学生への確実な情報伝達 (委託料) 6,791千円 ・県内就職に向けた支援取組の体系化 (委託料) 4,153千円 ・県内企業の受入体制の確立 (委託料) 3,673千円 		 <p>VR企業見学 さあ、ミライのショクバへ</p> <p>MIRANAVI</p> <p>3Dで見学 ></p> <p>先進的な視覚効果を駆使した動画 (VR映像) による企業見学の実施</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①大学生等の県内就職決定者数 (+668人) ②第2次産業に就職する高校生の県内就職率 (+7.2%) ③県内の外国人留学生の県内就職決定者数 (+63人) ④県内高校から県内大学等への進学率 (+6.1%) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/</p>

申請者	山口県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	436,239千円 (95,486千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	各地域の独自リソースを活用したニーズプル型イノベーションの促進により、県内企業の技術力、研究開発力の底上げや生産性の向上、地域経済の活性化を図るとともに、地域における新たな雇用の場の創出・拡大を実現する		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>○地域ニーズ・課題や特産品などの地域リソースを把握し、企業ニーズや大学シーズとマッチングすることができる地域や産業等の事情に精通したプロフェッショナル人材を配置するなどの人的体制を整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロフェッショナル人材人件費・活動経費 54,610千円 <p>○地域企業や市町、大学、金融機関等の産学公金により構成する地域コンソーシアムを形成・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域コンソーシアム構築・運営経費 5,942千円 ・事業発信、マッチング経費 9,934千円 <p>○地域リソースを活用した研究開発・事業化プロジェクトを支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究開発支援 (補助金) 25,000千円 		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①本取組による雇用者数 (+18人) ②本取組による関連売上額 (+1億1,500万円) ③本取組により連携する地域団体・市町数 (+5件) ④本取組によるデジタルものづくり機器等の導入企業数 (+6社) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/</p>

事業概要【次世代へつなぐ商店街づくり加速化プロジェクト】

推進当初

申請者	山口県山口市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	435,310千円 (86,462千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・既存ストックを活用したまちの再生 ・求心力のある商業・業務エリアの形成による生産性の向上 ・中心商店街の新たな価値創出によるまちの活性化 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○塩漬け状態の遊休不動産等を所有者から借上げ、リノベーションを実施し、出店希望者にサブリースするまちづくり事業者への改装費支援（補助金） 19,000千円</p> <p>○デジタル化等既存店舗の稼ぐ力向上のための取組支援（補助金） 3,000千円</p> <p>○周辺施設・学校・団体と連携したイベント支援(補助金) 9,950千円</p> <p>○魅力的な商店街空間となるファサード整備等環境整備支援（補助金） 5,000千円</p> <p>○百貨店の空きスペースを活用した、特産品の販売や地域資源の情報発信、教育的なコンテンツやアクティビティの提供等、商業活動以外にも含めた様々なプレイヤーの多様な活動の展開を図る場の運営（委託料） 20,000千円</p> <p>○子どもたちがものづくりの活動を通じて地域とつながることを目的に、商店街の空き店舗を活用した拠点づくり（委託料） 14,510千円</p>		   
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①中心商店街の新規出店した店舗の1日当たり平均来店者数 (+2,320人) ②中心商店街の平日・イベントのない休日平均来街者数 (+2,100人) ③商店街滞在時間1時間30分以上の割合 (+8.5%) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.yamaguchi.lg.jp/soshiki/14/151510.html</p>

事業概要【人生100年時代を楽しむ21の幸せ地域拠点づくり ～Jリーグクラブ「レノファ山口」のつなぐ力でスマート"ライブ"シティづくり～】

推進当初

申請者	山口県山口市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	86,666千円 (13,333千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	プロサッカークラブ「レノファ山口FC」のもつ集客力や多くのスポンサー企業等とのつながりや知名度などのリソースを活用し、人生100年時代において、市内全21地域が住み慣れた地域住民にとって心身共に健康で、生きがいをもって楽しく暮らし続けることができるまちとなるよう、市内21地域において、企業等とも連携して、多様で持続可能な事業展開が可能となる仕組みづくりを行うもの。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業構想に沿って、各地域で交流事業等を実装する。 <ul style="list-style-type: none"> ・プロスポーツを活用した交流事業(委託料)3,334千円 ・企業等と連携した健康づくり事業(委託料)3,333千円 ・地域への愛着醸成事業(委託料)2,000千円 ・デジタル技術を活用した交流事業(委託料)1,333千円 ● 湯田地域をモデル地域として、地域住民や企業等が主体的となった取組を展開するとともに、持続的な事業展開が可能となるように地域人材の育成を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域や企業等が連携した地域活性化事業(委託料)2,667千円 ・事業実施に向けた地域人材の育成 (委託料) 666千円 		 <p style="text-align: center; background-color: #fff9c4; padding: 5px;">スポーツを活用した、 新しい市民協働・官民連携モデルの創出へ</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①地域行事や市民活動に年1回以上参加している市民の割合 (+7.4%) ②本事業を実施する地域の増加数 (+21地域) ③本事業に参画する企業数 (+88件) ④本事業を通じた健康づくり等のプログラムへの参加者数 (+8,800人) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.yamaguchi.lg.jp/soshiki/14/151510.html</p>

申請者	山口県萩市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	211,116千円 (34,226千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野

目的 (効果)

- ・地域資源活用等により若者を惹き付ける魅力的な雇用の場を創出し、若者の定着を図り、経済活性化に導く。
- ・安心して事業承継や事業引継ぎができる体制の構築を図る。
- ・若者が、地元で就業・起業・事業承継をしたいと考える産業人材を創出し、チャレンジマインドの醸成を図る。
- ・市内事業者のデジタル化を支援し、経営基盤強化を図り、事業継続の維持と経済活動の活性化に導く。

事業概要・主な経費

※経費内訳はR6年度事業費

- 合同企業説明会開催事業
 - ・説明会で利用する企業ガイドブックを作成 (印刷製本費) 500千円
- ニュービジネス創出支援事業
 - ・ビジネスプランコンテストの開催を支援 (補助金) 300千円
- サテライトオフィス誘致事業
 - ・サテライトオフィスの誘致、テレワークの推進 (委託料・負担金) 7,150千円
- 中小企業者等持続的成長発展・創業支援事業
 - ・伴走型の経営革新・創業事業を支援 (補助金) 20,000千円
- 産業人材育成事業
 - ・産業人材の育成、IT人材の育成を支援 (補助金) 5,700千円
- デジタル化等促進支援事業
 - ・中小企業者のデジタル化を支援 (補助金) 576千円



合同企業説明会の様子

KPI

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

- ①萩市内出身新卒学生等の地元就業者数 (+ 32人)
- ②萩市での新規起業件数 (+ 9件)
- ③中心市街地における空店舗活用件数 (+ 8件)
- ④合同企業説明会参加企業数 (+ 12社)

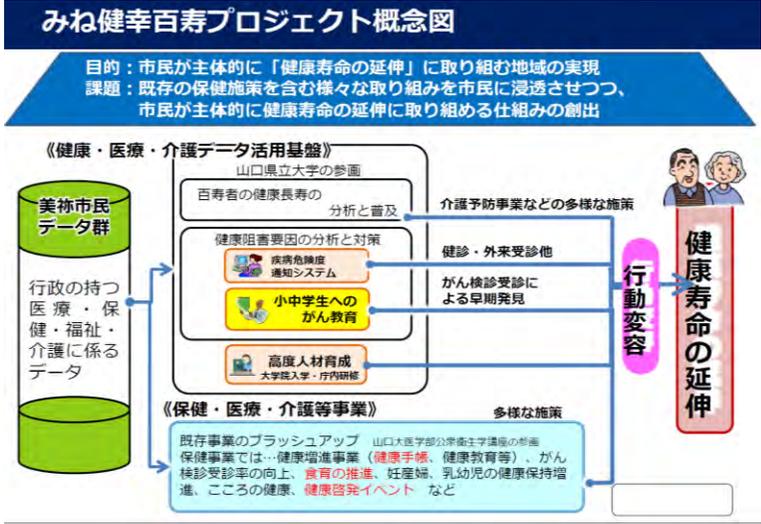
関連 URL

(交付金の具体的使途・実施体制・効果検証)
<https://www.city.hagi.lg.jp/soshiki/12/h55256.html>

事業概要【美祢市健康百寿プロジェクト】

推進当初

申請者	山口県美祢市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	90,098千円 (16,166千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が主体的に「健康寿命の延伸」に取り組める仕組みの創出 ・産官学が連携した住民参加型の施策として美祢市の健康・医療・介護等のビッグデータを活用した仮説検証型地域保健施策を通し、健康長寿のまちづくりによる地域活性化を目指す 		
事業概要・ 主な経費	<p>※経費内訳はR6年度事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ○がん教育 <ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校でのがん教育による予防啓蒙活動 (委託料) 165千円 (教材印刷) 135千円 ・企業・団体・地域向けのがん教育実施による予防啓蒙活動 (委託料) 165千円 ○疾病危険度予測システム <ul style="list-style-type: none"> ・集計・解析システムの機能拡張、保守に要する経費 システム保守業務 (委託料) 174千円 ・タブレット用アプリソフトウェア (需用費) 103千円 ○生活・健康・福祉をDXで考える研究会 <ul style="list-style-type: none"> ・地域健康課題の解決策をエビデンスに基づき立案する医学研究会に要する経費 (報償費) 400千円 (旅費) 120千円 (ライセンス使用料) 66千円 ・地域住民の医療・介護に関するデータ抽出に要する経費 (手数料) 138千円 ・健康寿命阻害要因及び健康寿命延伸要因の分析結果に基づく予防保健施策の展開 (委託料) 4,982千円 ・データ (KDB、DPC等) に基づく仮説検証型地域保健課題解決実践研修業務 (委託料) 2,000千円 ・医学生参加型の特定健診・がん検診受診率向上対策業務 (委託料) 1,000千円 ○人材の育成【デジタル人材育成経費】 <ul style="list-style-type: none"> ・データに基づく統計・解析など専門知識を習得した論理的思考の高度DX人材育成経費 (負担金補助及び交付金) 649千円 ・行政のDX推進を加速化させることによる生産性向上講座に要する経費 (委託料) 5,000千円 ○産官学と地域が連携した健康関連イベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・健康食生活への行動変容促進講座 (委託料) 169千円 (需用費) 44千円 (旅費) 6千円 ・健康教育、運動イベント開催事務経費 (需用費) 176千円 (役務費) 10千円 ・講師招聘経費 (報償費) 54千円 (旅費) 10千円 ・産官学と地域が連携した健康意識啓発イベント (委託料) 450千円 (報償費) 100千円 (需用費) 50千円 		
KPI	<p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p> <ol style="list-style-type: none"> ①みね健康マイレージ参加者数 (+130人) ②健康ウォーク参加者数 (+82人) ③特定検診の受診率 (+25%) ④仮説検証型地域保健施策推進のための分析・施策立案に取り組む高度人材 (+3人) 		
関連URL	<p>https://www2.city.mine.lg.jp/sos/hiki/somubu/gyoseikeiei/shingikai/sogokeikaku/10321.html</p>		



申請者	山口県美祢市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	61,797千円 (12,260千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	未来を生き抜く力を育む公設塾を設置・運営、及びアウトリーチを実施する ・地域の方々に協力のもと、地域全体で挑戦できる子供を育む枠組みを構築する ・慶應義塾大学との連携協定を生かして、多様な価値観に触れる機会を作る ・教育環境の充実や本市の魅力向上を図り、将来的に子育て世代の移住・定住者の促進につなげていく		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○公設塾minetoの運営 ・公設塾運営委託費 (委託料) 5,660千円 ・施設運営に係る経費 (需用費、役務費、使用料及び賃借料) 1,559千円 ・講師招聘に係る経費 (報償費、旅費) 799千円 ○出張minetoに係る経費 ・出張minetoに係る経費 (委託料) 1,000千円 ○mineto合宿に係る経費 ・mineto合宿に係る経費 (委託料) 500千円 ○mineto子どもキャンプに係る経費 ・mineto子どもキャンプ開催経費 (委託料) 2,742千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①受講者数 (通塾者数) (+100人) ②「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」に肯定的な回答をした生徒の割合 (肯定率) (+4%) ③「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」に肯定的な回答をした生徒の割合 (肯定率) (+4%) ④交流した他自治体の子供たちの数 (延べ数) (+70人)	関連 URL	https://www2.city.mine.lg.jp/kosodate_kyoiku/mineto/index.html

申請者	徳島県ほか5自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,039,796千円 (210,452千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的(効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・広域的な産地間連携等による園芸産地の再編・強化や、先端技術を活用した超省力化・高品質生産の実装等による生産性の向上 ・気候変動に適応した新品種・新技術の開発・普及 ・状況の変化に対応した新たな販売戦略の構築 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○農林水産物の生産性向上の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・スマート技術の導入や産地間連携の推進(委託費、需用費、役務費、賃借料等) 27,737千円 ○気候変動等環境変化への適応策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・新品目の栽培技術開発(需用費、委託費、役務費、賃借料等) 11,790千円 ○状況の変化に対応した新たな販売戦略の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・「TurnTable」を核とした「新たな商流」の構築・展開(委託費、賃借料、需用費、費用弁償等) 79,963千円 ・海外輸出チャネルの拡充(プロモーション) (委託費、需用費、会場使用料等) 36,820千円 	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>国内販路開拓</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>海外販路開拓</p> </div> </div>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①産地リノベーションを実施した園芸産地における生産額 (+25億円) ②農林水産物の新品種・新技術の開発・導入数 (+34件) ③とくしまブランド推進機構の関与した販売金額 (+25億円) ④農林水産物等輸出金額 (+9億円) 	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.pref.tokushima.lg.jp/kenseijoho/kenseisogo/shingikai/chijibukyoku/5020160/

※徳島県、徳島市、阿波市、北島町、藍住町、板野町の広域連携事業

事業概要【ニューノーマル時代を切り拓く「転職なき移住」推進事業】

推進当初

申請者	徳島県、美波町	初回採択回	令和3年度第2回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	932,756千円 (202,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・「ワーケーション」や「副業・兼業」などの地域に継続的に関わっていただける人材の獲得 ・若者世代をはじめとする移住者の拡大及び戦略的な移住交流の加速化 ・移住者の受け皿となる地域産業・人材の育成、暮らしやすい社会づくりの推進 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○ニューノーマル時代に対応した新たなライフスタイルの提案 <ul style="list-style-type: none"> ・マッチングセミナー・ワークショップ等の開催、コワーキングスペース等 受入体制強化（委託費、報酬、費用弁償、負担金等）16,937千円 ○ニーズに応じた移住・交流支援の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・移住相談センター運営、移住フェア・セミナー開催（委託費、消耗品費、使用料、負担金等）40,324千円 ○ターゲットを絞った戦略的の魅力発信の加速化 <ul style="list-style-type: none"> ・各種メディアを活用した魅力発信（委託費、事務費等）19,254千円 ○移住・交流による地域人材・産業育成の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・県内外の学生や地元企業等との連携によるフィールドワーク実施・ 広報活動（委託費、報償費、消耗品費、賃借料等）20,616千円 ○安全・安心なダイバーシティ社会の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティ社会実現のための広報・交流会開催、スポーツイベント等の 地域交流定着支援（委託費、補助金、事務費等）26,806千円 	 <p>「とくしま若者回帰アンバサダー」 による地域の魅力体験</p>  <p>阿波（徳島）のいろんな魅力を 若者目線で発信</p>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①本県への年間移住者数＋準移住者数（＋1,030人） ②とくしまで住みたい会員数（＋500人） ③本県への本社機能誘致数（＋8社） ④デュアルスクール実施回数（＋31回） 	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） https://www.pref.tokushima.lg.jp/kensei-joho/kenseisogo/shingikai/chijibukyoku/5020160/

申請者	徳島県徳島市ほか14自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	153,920千円 (28,020千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 15市町村から成る徳島東部圏域が、官民が一体となり戦略的に取り組む仕組みを構築する ・ 観光コンテンツを魅力あるビジネスに成長させ、旅行者等による交流人口の拡大を図る ・ 観光地域づくりを推進し、圏域経済を好循環させ、持続可能な地域にする 		
事業概要・ 主な経費	<p>○地域固有の資源を観光資源として磨き上げ「ニューツーリズム推進事業」としてコンテンツ造成等を推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信・観光素材集製作費 (委託費・広告宣伝費) 5,200千円 ・A T (アドベンチャートラベル)・S T (サステナブルファムツアー) の造成・磨き上げ費 (委託費) 1,300千円 ・ニューツーリズム推進に係る事務費 (会議費、通信運搬費、消耗品費、賃借料、印刷費・広告宣伝費・委託費) 300千円 <p>○住民が地域の魅力を再認識する機会の創出や、訪問者と住民との積極的な交流を促進するとともに、住民を対象とした将来の観光を担う人材を育成していくことで、住民の地域への誇りと愛着の醸成を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光満足度・住民満足度調査費 (委託費) 1,500千円 ・マイクロツーリズム推進費用 (委託費) 800千円 ・観光人材育成費 (講師謝金旅費・広告宣伝費・会場費・資料作成費) 500千円 ・観光地域まちづくりWG運営費 (講師謝金旅費・広告宣伝費・会場費・資料作成費) 600千円 ・シックプライド醸成に係る事務費 (会議費・通信運搬費・消耗品費・賃借料・印刷費・広告宣伝費・委託費) 200千円 <p>○観光アプリのデータを活用した地域一体による戦略的・効果的なデジタルマーケティングやCRMを実施することで面的DXを推進するとともに、観光デジタル人材の育成を推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周遊促進に向けた企画商品開発・運営費 (委託費) 1,000千円 ・観光デジタル人材の育成費 (講師謝金旅費・広告宣伝費・会場費・資料作成費) 500千円 ・面的DX推進に係る事務費 (会議費・通信運搬費・消耗品費・賃借料・印刷費・委託費・広告宣伝費・委託費) 100千円 <p>○大阪・関西万博会場で徳島に興味を持った人々に徳島を来訪してもらい、さらに徳島東部をハブとして広域的な周遊・長期滞在に繋げる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周遊コンテンツの造成費 (委託費) 800千円 ・関西方面での集中プロモーション費用 (広告宣伝費・委託費) 700千円 等 		 <p>イーストとくしま 観光推進機構</p> 
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①徳島東部圏域の延べ宿泊者数 (+120.8万人) ②徳島東部圏域ひとり当たり観光消費額 (+26千円) ③徳島東部圏域の来訪者満足度 (+4.5%) ④徳島東部圏域の住民満足度 (+5.0%) 	関連URL	https://www.city.tokushima.tokushima.jp/smph/shisei/machi_keikaku/town_planning/region_revitalize/mirai_senryaku/index.html

※経費内訳はR6年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」

事業概要【テレワークを活用した「地域の稼ぐ力」向上計画】

推進当初

申請者	徳島県小松島市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	46,000千円 (9,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク推進機関 (センター) を中心とし、地方での「多様な働き方」ができる環境づくりを図る。 ・地域の coworkingスペースと連携し「雇用型テレワーク」の候補地とした企業誘致等により、地方での新たな雇用創出を図る。 ・ハローワークや地元企業、高校とも連携したマッチングイベント等の開催により「地域の稼ぐ力」を向上させる。 		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワーカー育成の主体となる団体に対する業務委託 (3,670千円) ・企業誘致促進委託 (仲介委託) (3,928千円) ・各種セミナーやコミュニティイベントの開催等 (152千円) ・人材のネットワークを活用し、ハローワーク等との連携による就職マッチングイベント及び地元企業とのマッチング強化支援の広報物制作等 (750千円) ・地元企業と市内高校生とのマッチングイベントの開催等 (500千円) 		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①テレワークにおける研修参加者のうち実際にテレワークを実施した人数 (+32人) ②テレワークに関する各種セミナーへの参加者 (+42人) ③テレワークの利用を主目的とした coworkingスペースの利用登録者 (+52人) <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.komatsushima.lg.jp/docs/502578.html</p>

事業概要【まちを将来世代につなぐプロジェクト】

推進当初

申請者	徳島県神山町	初回採択回	令和3年度第2回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	249,655千円 (50,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	2060年に向けて3,000人を上回る人口規模と、集落単位でバランスのとれた人口構成を実現し、住民自治が能動的に機能している、自立的で安定した「輝く農山村」を目指す。構造的な課題に対し、①すまいづくり・②ひとづくり・③しごとづくり・④循環の仕組みづくり・⑤安心な暮らしづくり・⑥関係づくりの6領域で横断的かつ総合的な取り組みを推進する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○すまいづくり ・空き家・空き地発掘と利活用、新規賃貸物件の開発 (事業費)1,200千円 ○ひとづくり ・高校プロジェクトの展開 (魅力化、進学サポート) (事業費)2,050千円 ・防災学習を兼ねた自然体験ワークショップ(事業費) 700千円 ○しごとづくり ・中学生の地域での仕事観の醸成(事業費) 500千円 ○循環の仕組みづくり ・食農教育推進、新規就農者支援(委託費) 7,100千円 ○安心な暮らしづくり ・集落支援人材配置(研修費) 100千円 ○関係づくり ・町民向けバスツアー、視察研修、事業検証(事業費)1,400千円 ・地域メディアの開発(委託費) 450千円 ○全領域(人件費) 27,850千円、(運営経費等) 8,650千円 		  
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①社会動態+11人/年 (+55人) ②0から14歳の子どもの数341人【2026年3月31日現在】(+58人) ③15から34歳の青年の数563人【2026年3月31日現在】(▲27人) 		関連URL https://www.town.kamiyama.lg.jp/ https://www.in-kamiyama.jp/ https://www.youtube.com/channel/U_C9gLFmNfmgepySFt6HNoFFw

申請者	愛媛県ほか2自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,206,013千円(258,561千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的(効果)	○グローバルな取り組みや海外需要の獲得に向けた取り組みを進めることによる愛媛の農林水産物のブランド化と販売促進による地域経済の活性化 ○若者が魅力を感じる持続可能な儲かる農林水産物を実現し、若い新規就業者の増加や定着率の向上、地方への人の流れをつくる		
事業概要・ 主な経費	[愛媛県] ○販売拡大に向けた営業力の強化 ・既存営業案件の発展・拡大(11,759千円 委託料、事務経費) ・営業先とのネットワークの強化(14,457千円 負担金、事務経費) ○IT活用等による新たなビジネス機会や商流の創出 ・リアルとデジタルの両輪での営業活動の推進(98,087千円 委託料、負担金等) ・信頼性確保による販路の創出・拡大(27,546千円 委託料 事務経費) ○売れる商品づくりの推進 ・競争力の高い本県ブランドの強化(27,072千円 委託料、負担金等) ・流通を見据えた商品づくりと付加価値の向上(13,556千円 委託料、補助金等) [八幡浜市] ○地域産品のブランド力強化 ・新たな産品開発・磨き上げと普及・ブランディング(17,480千円 委託料、負担金等) ○大都市圏・海外等での販路開拓・拡大 ・首都圏や関西圏等の大消費地での販路開拓(15,174千円 負担金、補助金等) ・台湾を中心とした海外販路開拓(6,759千円 補助金、トップセールス旅費等) [大洲市] ○地域ブランド産品のクロスユース拡大(E C×観光×ふるさと納税) ・支援商品の追加決定(184千円 審査委員報償費) ・E C、店舗での販路拡大、開拓支援、地域ブランド販売力・PR力強化支援(EC、店舗の両方で顧客獲得が行える体制作り)(19,477千円 委託料、補助金等) ○芋煮等郷土料理国内外発信事業 ・リアルとデジタル両軸の認知度向上事業(7,010千円 補助金)		
KPI	本事業の取り組みを通じた県関与年間成約額(農林水産物)(+125億円) 本事業の取り組みを通じた県関与年間成約件数(+1,312件) 「愛」あるブランド産品の年間販売額(+20.5億円)	関連URL	https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html

※経費内訳はR6年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【愛媛発の暮らし方改革提案と新たなコミュニティ形成による若者世代呼び戻しプロジェクト】

申請者	愛媛県、八幡浜市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	701,168千円 (144,143千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<p>・本県の将来を担う若者世代の地方回帰・定着の流れを力強く生み出す仕組みを構築し、自己実現を達成できる場所として、若者世代がゆとりと潤いのある豊かな生活を送ることができる移住地域づくりを目指す。</p> <p>・移住から定住までの重層的なサポート体制の構築により、移住者の定住促進と「人が人を呼ぶ好循環」の創出を図る。</p> <p>・オンライン移住コミュニティを活用し、本県への移住意識を醸成するとともに、移住不安要素を解消することで、移住意欲の向上を図る。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>【愛媛県】</p> <p>○若者世代の地域受入基盤強化事業 (77,177千円 委託料、事務経費 等)</p> <p>・南予地域での移住者受入態勢の強化 ・地域おこし協力隊OB・OG組織を活用した橋渡し人材の育成と地域との橋渡し機能強化 ・企業も含めた移住と仕事の一体的な移住定住支援相談ワンストップ窓口の運営 ・インスタグラムなどSNSを活用した定期的なアプローチによる愛媛ファンの呼び込み及び定着 ・県外からの帰省者や、その家族等をターゲットとした県での暮らしの魅力等のアピールによる県内出身者の呼び込み及び定着 ・企業や社員の成長と地域の課題解決を目指す企業合宿型ワーケーションのマッチング促進による企業版関係人口の創出 ・「地域みらい留学」参画校での学校体験等の実施及び県内全国募集実施校の生徒募集に係る情報発信</p> <p>○次世代型コミュニティ拡充事業 (36,809千円 委託料)</p> <p>・地域交流型の「コワーキングコミュニティ」の成果を継承したリモート関係人口を含めた移住潜在層向け「オンライン移住コミュニティ」の充実・大阪圏及び名古屋圏におけるPRの強化 ・地域おこし協力隊の活動ステージに応じた「先輩相談コミュニティ」の充実</p> <p>○暮らし方・働き方改革両面での人材誘致強化事業 (10,413千円 委託料、講師謝金・旅費 等)</p> <p>・県内一次産業女子のネットワークを活用した県内就農のPR、就農体験会の開催 ・SNS等の活用や講座・セミナーの開催による愛媛の農林業の魅力発信</p> <p>【八幡浜市】</p> <p>○移住者受入のための市民の意識醸成 (400千円 補助金) ・移住・定住に関する推進体制の整備</p> <p>○市の暮らし・魅力発信事業 (2,884千円 補助金、委託料 等) ・定住支援員を設置し、ポータルサイトやSNSの活用、移住フェアへの参加等を通じて、当市の暮らし、魅力等を発信するとともに、多様な主体と連携しながら、ワンストップで相談に応じる ・創業セミナーの開催 ・首都圏等在住者のネットワークを活用した情報発信及び交流活動</p> <p>○ふるさと・キャリア教育推進事業 (1,013千円 委託料、補助金 等) ・中学生がふるさとに愛着や誇りを持つこと、また地元企業への理解を深める目的とした大学との連携事業 ・県内小学生を対象にした県内企業等での職場体験の場の提供</p> <p>○UIターンによる新規就農者確保・育成事業 (15,447千円 補助金) ・就農を目指す新規就農希望者に対する支援 ・新規就農者の創出に向けた各種就農相談活動、マッチング等支援 ・みかんアルバイトを契機とした新規就農者確保、関係人口拡大のための、アルバイト受け入れ支援 ・Iターン就農者等の居住用の空き家改修に係る補助 ・Iターン就農促進に向けた働きやすい環境整備のために必要な経費に対する補助</p>		
KPI	<p>①県外からの移住者数に占める20代及び30代の人数 (+2,289人)</p> <p>②県外からの移住者に占める20代及び30代の割合 (+11.7%)</p> <p>③地域おこし協力隊の定着率 (+11.5%)</p> <p>④地域留学入学生徒数 (+290人)</p>	関連URL	https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値			

事業概要【第2のふるさと、新しい人の流れ創出事業】

推進当初

申請者	愛媛県松山市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	407,246千円(76,685千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・サステナブルツーリズムの誘客を通じて、滞在時間の延長による観光消費額の拡大を図る ・また、ツーリズムに訪れた若者たちに対して、関係性の維持・深化につながる取組を一体的に実施することで、松山市を第2のふるさととして、多様な形で関わる新しい人の流れを生み出す ・ソフト・ハード事業を一体的に取り組むことで、サステナブルツーリズムをビジネスとして実施できる体制を整備する 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度 事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○太陽エネルギーで動くグリーンスローモビリティ及びE-Bikeの活用 ・グリーンスローモビリティの運営（委託料）495千円 ・グリーンスローモビリティの維持管理（修繕料、保険料、消耗品等）1,190千円 ○観光産業の高付加価値化と自立性を実現するプラットフォームの支援 ・プラットフォームの運営（負担金）6,000千円 ・情報発信等（委託料）2,000千円 ○サステナブルツーリズムを実施・発展できる体制の整備 ・広域周遊型SDGs体験旅行プログラムの作成（負担金）2,500千円 ・旅行商品化の推進（負担金）19,000千円 ・SDGs 修学旅行の誘致（負担金、消耗品等）7,500千円 ・情報発信等（委託料）35,000千円 ・多言語対応などの受入環境の整備（負担金）3,000千円 		<p>(事業イメージ)</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終 事業年度までの「KPI 増加分の累計」の目標 値	<ul style="list-style-type: none"> ①サステナブルツーリズムの利用者数(+15,000人) ②サステナブルツーリズムの利用者のうち、地方への移住又は通学に興味を持った割合(+39.0%) ③ほしふるテラス姫ヶ浜の利用者数(+700人) ④グリーンスローモビリティの走行距離(+7,350km) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/chihososei/senryaku-kensyo.html</p>

事業概要【四国の真ん中で広域観光戦略創出事業】

推進当初

申請者	高知県本山町ほか3自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	79,790千円 (15,958千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	①観光広域連携組織「一般社団法人土佐れいほく観光協議会」のDMO機能の充実 ②広域観光情報発信の推進 ③観光旅行商品の造成とブラッシュアップ、営業活動の推進 ④観光人材育成事業		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○観光広域連携組織「一般社団法人土佐れいほく観光協議会」のDMO機能の充実 9,119千円 法人を主体としたワンストップ窓口の確立を目指し体制強化を進めるとともに、事業戦略の作成、地域内観光交流団体との連携、マーケティング調査など、基盤づくりを推進する。</p> <p>○広域観光情報発信の推進 3,287千円 広域観光ホームページの充実、SNSなどで、タイムリーで分かりやすい情報発信の構築を推進する。観光パンフレット等による広域観光の情報発信とともにワンストップ窓口としての周知を推進していく。</p> <p>○観光旅行商品の造成とブラッシュアップ、営業活動の推進 2,845千円 広域での旅行商品造成（一般観光・教育旅行）を進めるとともに、観光旅行商品の営業活動を開始し、旅行会社等の販売先の確保を行う。</p> <p>○観光人材育成事業 707千円 観光による地域づくりの先進地事例等の視察による研修を実施することで、観光による地域づくりの戦略を学ぶ。商品造成や販売の展開を広げるため旅行業務取扱に関する研修など、広域組織の人材スキルアップを行う。</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①域内（4町村）主要観光施設入込客数（+195,500人） ②旅行商品造成数（+55本） ③域内（4町村）主要宿泊施設宿泊者数（+12,500人） ④民泊受入世帯数（+17人）	関連URL	本山町のHPに掲載準備中 https://www.town.motoyama.kochi.jp/



事業概要【「まるごと大川」ブランディングを核とした大川村地場産品販売単価向上プロジェクト】

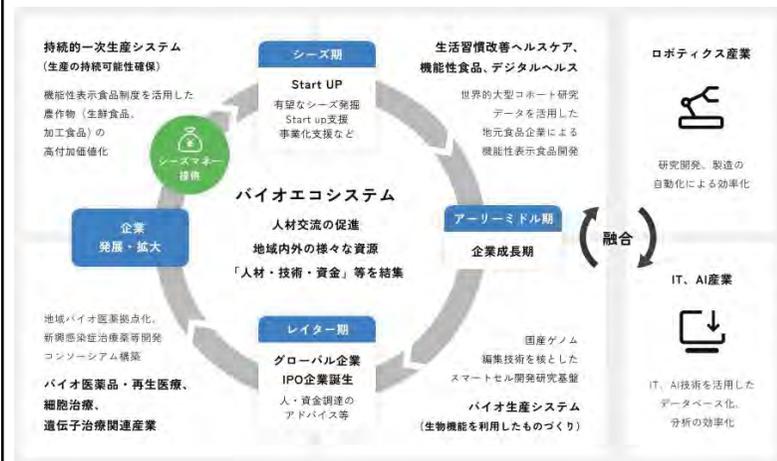
推進当初

申請者	高知県大川村	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	549,514千円 (83,802千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<p>新たな推進主体である大川村ブランディング推進協議会を立ち上げ、集落活動センター結いの里における住民参加型プログラムを活用することで、村の地場産品に付加価値をつける目的がある。住民の意見を反映したロゴマークが大川村を認知するためのPRコンテンツとなり、ロゴの共通イメージで紐付けして情報発信することが販促効果をもたらす。地場産品の売り上げや商品イメージにプラスの影響を与えることが予想され、各種特産品の販売力の弱点であった高付加価値化の達成が見込まれ、直接的な収益アップにつなげて自立に向けた「稼ぐ力」を身につける</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>○事業概要① (住民参加型むらづくり事業費)</p> <p>(1) ブランディングに係る経費 19,647千円</p> <p>(2) 商品開発に係る経費 14,758千円</p> <p>○事業概要② (村地場産品の販売単価向上事業費)</p> <p>(1) 村地場産品の営業に係る経費 15,654千円</p> <p>(2) 販路拡大に向けた現場リーダー育成に係る経費 13,368千円</p> <p>(3) 「大川黒牛」「土佐はちきん地鶏」の新規就業者の確保・育成に係る経費 20,375千円</p>		
KPI	<p>①土佐はちきん地鶏の販売平均単価(円/kg) (+841円)</p> <p>②「大川黒牛」の販売平均単価(円/kg) (+1,883円)</p> <p>③集落活動センター結いの里の収益事業収入 (+5,228千円)</p> <p>④株式会社むらびと本舗の新規就業者数 (+4人)</p>	関連URL	http://www.vill.okawa.kochi.jp

事業概要【福岡バイオコミュニティ形成プロジェクト】

推進当初

申請者	福岡県、久留米市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,552,796千円 (291,456千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡バイオコミュニティの形成を推進し、国内有数のバイオ産業の拠点化を目指す ・イノベーションや投資等を促進するバイオエコシステムの構築を目指す ・地域において魅力的で安定した雇用の場を創出する 		
<p style="text-align: center;">事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>1. 福岡バイオコミュニティ基盤形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○福岡バイオコミュニティ推進会議の運営 (人件費、活動費等) 28,172千円 ○市場領域拡大に係るプロジェクト協議会の運営 (旅費、資料代等) 3,786千円 ○報告会・連絡会等の開催 (使用料、旅費、資料代等) 2,249千円 ○オープン・イノベーション機能構築 (人件費、活動費等) 10,780千円 ○異分野交流の環境整備 (共用機材整備費、オペレート費用等) 10,000千円 ○展示会・マッチングイベント等の開催及びアドバイザーによる海外展開支援 (出展料、使用料、資料代、人件費等) 10,480千円 ○オウンドメディアの運用 (HP改訂費、資料代等) 3,299千円 ○アクセラレーションプログラムの構築 (人件費、活動費、使用料等) 23,003千円 ○人材確保・人材育成支援事業 (人件費、使用料、旅費等) 4,178千円 <p>2. 福岡バイオコミュニティ市場領域の拡大 (県内バイオベンチャーへの実証事業補助等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生鮮食品等の機能性食品展開事業 (補助) 31,452千円 ○出口戦略・海外展開事業 (補助) 4,328千円 ○地域バイオ医薬拠点化事業 (補助) 100,579千円 ○先駆的バイオベンチャーに対する米国での医薬品承認等支援事業 (補助) 14,000千円 ○ゲノム編集や生物機能等を活用したスマートセル実用化事業 (補助) 45,150千円 		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①バイオ分野の一人あたり給与 (+333,000円) ②県内バイオ関連企業数 (+55社) ③実証事業による製品化販売額 (+330,000,000円) ④福岡バイオコミュニティ推進会議新規会員数 (+110会員) <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	関連URL	<p>(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証)</p> <p>https://www.pref.fukuoka.lg.jp/life/8/52/236/</p>



事業概要【人の流れや投資を呼び込む「新たな都市ブランディング」推進事業】

推進当初

申請者	福岡県北九州市ほか18自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	536,813千円(88,959千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	充実した都市インフラ等を有する北九州市が中心となって、北九州都市圏と山口県下関市を加えた、「北九州経済圏」のブランディングを一体的に行うことで、より多様なフィールドやプレイヤーの活用等を通じて、都市圏の価値向上、市外からの人の流れや投資を呼び込む。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○シティプロモーション推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的広報事業（委託費等）55,894千円 ・新しいまちのイメージ発信プロジェクト（委託費）12,305千円 ○メガリージョン推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・北九州都市圏域連携事業（委託費）6,220千円 ・関門連携推進事業（委託費）1,320千円 ○クルーズ船誘致・受入事業 <ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ船誘致・受入事業（負担金）2,200千円 	 <p>JR小倉駅ストリートサインの様子</p>	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①小倉都心地区の歩行者通行量 (+456,140人) ②商業地区の空室率 (+2.5%) ③北九州市の魅力度ランキング (+50位上昇) ④関門エリア（下関市・北九州市）の観光客・宿泊客による観光消費額 (+33,225,000千円) 	関連URL	調整中

※福岡県北九州市、山口県下関市、福岡県直方市、福岡県行橋市、福岡県豊前市、福岡県中間市、福岡県宮若市、福岡県芦屋町、福岡県水巻町、福岡県岡垣町、福岡県遠賀町、福岡県小竹町、福岡県鞍手町、福岡県香春町、福岡県苅田町、福岡県みやこ町、福岡県吉富町、福岡県上毛町、福岡県築上町

事業概要【新卒者市内就職応援プロジェクト ～キャリア形成段階に応じた就職支援～】

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	447,265千円 (88,820千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<p>中学・高校・大学等と早期からキャリア形成の段階に応じた事業を展開し、継続的に企業や仕事の魅力に触れる機会を提供することで職業観を醸成するとともに市内企業への興味・関心を高める。また、市外や留学生を含めた幅広い学生を対象とした事業展開や企業の新卒採用力の向上、就職に影響を与える教員等への働きかけなど、全方位からのアプローチにより、市内企業の若年層の人材確保を図るとともに若年層の市内定住・還流を促進する。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>○就活前学生向け事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業観の醸成・市内企業の認知度向上を図るためのイベント等 (委託費等) 24,200千円 ・企業の魅力を体験するインターンシップ等事業 (委託料) 16,800千円 <p>○就活学生向け事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採用選考につなげるための業界研究イベント等 (委託費) 6,900千円 <p>○就職前学生及び就活学生向け広域展開事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州・山口一円の学生就職支援 (委託費) 3,700千円 <p>○企業向け事業及び保護者・教員向け事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業への採用力向上支援 (委託費等) 36,420千円 ・保護者・教員への市内就職PR (委託費) 800千円 	 <p>[左写真] 市内企業の認知度向上を図るためのイベント</p> <p>[下図] 企業への採用力向上支援プログラム</p> 	
KPI	<p>①市内企業への新卒就職者数 (+700人)</p> <p>②インターンシップ参加者数 (+180人)</p> <p>③インターンシップ企業数 (+50団体)</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	関連URL	調整中

事業概要【ポストコロナの北九州市版「生涯活躍のまち」事業】

推進当初

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	386,722千円 (62,129千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	首都圏等に北九州市の魅力を発信することで、関係人口の創出、北九州市への人の流れをつくとともに、移住希望者のニーズに応じた就業支援や雇用の創出等を通じて、市内産業の活性化を図り、生涯活躍のまちの実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 55%;"> <p>○ポストコロナの全世代型定住・移住促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定住・移住の支援 (委託費) 11,000千円 ・定住、移住促進PR (委託費等) 4,629千円 ・東京に転出した若者の交流推進 (委託費) 3,000千円 <p>○移住者の視点による移住相談事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多岐にわたる移住相談に対応するワストップ°窓口の創設 (委託費) 7,000千円 <p>○北九州で働こう！U・Iターン応援プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・U・Iターン職業紹介等実施業務 (委託費) 13,500千円 </div> <div style="width: 40%;"> <p>関心層</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係人口の創出 ・住みよさPR <p>移住検討層</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住相談窓口 ・イベント、SNS等での市情報提供 <p>移住</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UIターン応援プロジェクト ・副業・兼業支援 <p>定住</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住後のコミュニティ構築支援 <p>・暮らしと仕事の両面からの支援を実施 ・各段階に応じた支援により、移住者の不安解消を図る ・人流の好循環により、市内企業の人材確保、産業の活性化を図る</p> </div> </div>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①20～30歳代の社会動態改善数 (令和元年基準) (+970人)</p> <p>②採用提案等によるU・Iターン就職決定者数 (+180人)</p> <p>③複業・兼業のマッチング件数 (+80件)</p>	関連URL	調整中

事業概要【企業の持続的発展・誘致による北九州地域経済活性化プロジェクト】 推進当初

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	755,572千円 (152,474千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏のIT関連企業等の誘致による新たな雇用の創出 ・市内企業のデジタル化の推進による生産性向上・競争力強化 ・雇用創出、生産性向上・競争力強化の取組等を通じて、地域経済活性化を実現 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <ul style="list-style-type: none"> ○企業誘致の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・自動運転セミナー開催費 (委託費等) 574千円 ・実証実験、技術開発等関連費 (補助費) 2,700千円 ・ワーケーション推進事業費 (委託費等) 25,000千円 ○デジタル化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・専門家派遣費、広報費等 (委託費等) 26,500千円 ・中小企業のDX化導入補助 (補助費) 62,400千円 ・理工系学生のインターンシップ費用 (委託費) 2,000千円 ○事業活動の下支え <ul style="list-style-type: none"> ・事業承継セミナー開催費 (委託費) 1,500千円 ・事業承継の専門相談員配置費 (委託費等) 1,800千円 ○オフィスリノベーションの促進 <ul style="list-style-type: none"> ・OAフロア化等の補助 (補助費) 30,000千円 </div> <div style="flex: 1; text-align: center;"> <pre> graph LR A[企業誘致] <--> B[新規雇用] B <--> C[DX導入] A --> D[地域経済活性化【成功モデル都市】] </pre> </div> </div>		
KPI	①市内新規雇用創出数 (+31,560人) ②企業誘致による新規雇用創出数 (+1,500人) ③DX導入企業数 (+200社)	関連URL	調整中

事業概要【感染症などに備え、安心して暮らせる地域共生社会促進事業】

推進当初

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	315,187千円 (56,850千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症や自然災害が発生しても、住み慣れた地域で健康かつ安心して暮らせる地域・社会を構築する ・ICT・介護ロボット等を活用した「北九州モデル」の展開により、感染症に強い介護現場づくりに取り組む 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○先進的介護「北九州モデル」の推進 ・北九州モデルの展開（相談支援拠点の運営等） (委託費等) 41,877 千円 ・感染症予防等に資する新たな先進的介護の取組み (委託費等) 13,543 千円 ・介護ロボット等の開発・改良、普及・啓発 (委託費等) 1,430 千円 		<p>先端的介護「北九州モデル」の概要</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①北九州モデル導入を含む職場改善件数 (+25件) ②介護ロボット等導入施設数 (+63件)		関連URL 調整中

申請者	福岡県大牟田市	初回採択回	令和3年度第1回募集	
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	361,892千円 (37,353千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・開放的なイノベーション拠点を整備し、新たな交流やネットワークを生む仕掛けづくりを進め、次世代の人材育成を図る。 ・若い世代の本市の地域経済や地域企業への興味・関心を深め、定住人口や関係人口の創出を図る。 ・IT企業などの情報関連産業の企業誘致を進め、若い世代の働く場所の選択肢を広げる。 			
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○開放的なイノベーション拠点を整備し、産学官金による多様なソフト事業を展開 ・ソフト事業の実施 (補助金等) 9,000千円 ・大牟田市ビジネスサポートセンターの設置 (利用料等) 4,098千円 ○若い世代に選ばれ、地域企業のデジタル化を支える情報関連企業等の誘致及びIT人材の育成 ・誘致の展開 (補助金・需用費等) 4,660千円 ○地域企業の魅力向上に向けたデジタル化、成長戦略・イノベーション創出への支援 ・イノベーション創出支援の実施 (補助金等) 11,295千円 ○本市をフィールドとする先進技術等の実証実験の展開 ・事業プロモーションと連携支援等に係る協議会の運営 (委託費・需用費等) 3,000千円 ・福岡地域戦略推進協議会との連携 (負担金等) 300千円 ・eスポーツ等のデジタル技術を活用した事業 (負担金等) 5,000千円 			
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①拠点施設利用者数 (+4,450人) ②イノベーション創出促進事業の実施 (ビジネスマッチング、交流事業など) (+30回) ③貸しオフィス入居数 (+11件) ④新事業創出 (技術開発、新商品開発、創業、協業など) (+8件) 		<p>関連URL</p> <p>https://au-rea.com/</p>	

事業概要【「新たな日常」における地域間連携による「民需」「人の流れ」創出プロジェクト】

推進当初

申請者	福岡県久留米市ほか5自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,646,649千円 (301,213千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	新型コロナウイルス感染症による「新たな日常」において、圏域市町のDX推進等による民需主導による成長や雇用の創出、観光消費額の増加により、圏域の平均所得の向上を実現していく。併せて、圏域市町の連携による移住定住の推進や観光客の確保といった「ひと」の流れを創出し、その「ひと」が交流し、移住・就業等を通じて、「ひと」と「しごと」の好循環化を実現していく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○地域産業の経営基盤の強化と雇用・就労の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・企業に対するDX化支援 (委託6,600千円) ・ハイブリッド形式等による会社説明会の開催など就労促進 (補助金4,974千円) ○地域資源の磨き上げ <ul style="list-style-type: none"> ・ワーケーションの推進 (イベント強化) (委託料2,000千円) ・オンライン予約型体験交流型の観光 (広域実施) (補助金2,182千円) ○観光・M I C E のプロモーションの展開 <ul style="list-style-type: none"> ・ネットメディアや情報誌、イベント、オンライン等様々な手法を活用した観光プロモーション (補助金4,098千円) ○魅力の発信・シティプロモーションの展開 <ul style="list-style-type: none"> ・ラジオやTV、オンライン等のメディアを活用した情報発信 (補助金11,010千円) 	<p>圏域(4市2町)連携</p> <p>雇用</p> <p>観光</p> <p>移住</p> <p>圏域の平均所得の向上</p> <p>「ひと」と「しごと」の好循環</p>	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①圏域の就職者数 (+823人) ②圏域の直接消費額 (+300百万円) ③圏域の人口と人口推計の比較 (+8,920人) 	関連URL	<ul style="list-style-type: none"> 久留米市 https://www.city.kurume.fukuoka.jp/1100keikaku/2045keikaku/3015sousen/ 大川市 https://www.city.okawa.lg.jp/s007/010/020/020/20160225145825.html 小郡市 https://www.city.ogori.fukuoka.jp/1139/1146/1207 うきは市 https://www.city.ukiha.fukuoka.jp/list00232.html 大刀洗町 https://www.town.tachiara.fukuoka.jp/page_01323.html 大木町 http://www.town.ooki.lg.jp/kankyo/jitissougoukeikaku/7673.html

※福岡県久留米市、大川市、小郡市、うきは市、大刀洗町、大木町の広域連携事業

事業概要【ひとりひとりが主役の豊前市「ハレノヒ」実現プロジェクト】

推進当初

申請者	福岡県豊前市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	412,364千円 (94,392千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を活かした食や体験プログラム等による、地域の魅力の磨き上げを図る ・地域の人々の役割や活躍の機会の掘り起こしのため、多世代交流を図る ・仕事や雇用の創出を図るため、市外からの交流、関係、移住定住人口など＝活躍人口の創出を図る ・上記目的を実現するため、チャレンジショップ及び交流体験スペースの創出を図る 		
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○活躍人口の創出拡大に向けた各種事業実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活躍人口創出費（委託料、消耗品、借上等）12,639千円 ・ネイチャーフィールド環境改善費（委託料、補助金、整備材料費等）18,964千円 <p>○活躍人口が取り組みたいことを支援するための環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり活動支援費（委託料、補助金、その他需用費等）16,930千円 ・健康づくりシステム構築・活動促進費（委託料、補助金、その他必要費等）4,837千円 <p>○多様な人が生涯を通じて学び、体験することによる「ひとづくり」に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びの機会と人材育成費（委託料、補助金、その他需用費等）27,860千円 ・体験活動等促進費（委託料、その他需用費等）3,162千円 <p>○チャレンジショップ及び交流体験スペース関連経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR宇島駅横電車が見える公園コンテナ設置（工事費、委託費）10,000千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①平均滞在人口 (+729人) ②豊前市の総生産額 (+71億円) ③転入者数 (+68人) ④体験型イベントの開催回数 (+20回) 		
		関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.buzen.lg.jp/sousei/harenohi.html (効果検証) https://www.city.buzen.lg.jp/sousei/tihousouseijigyoku.html



事業概要【食品関連事業者が活躍する長崎県産品振興プロジェクト】

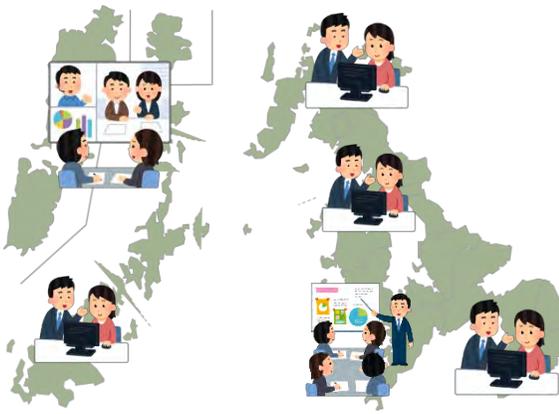
推進当初

申請者	長崎県ほか2自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	912,180千円 (176,493千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・食品関連事業を中心とした「1次産業」、「2次産業」、「3次産業」の好循環の実現 ・生産・加工・流通をつなぐ官民体制によるマーケットインの発想からの高付加価値化の実現 ・ウィズコロナ、アフターコロナに対応したブランド化、販路拡大 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>①マーケットインの視点への転換のための消費者ニーズ等把握、商品開発・改良支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな市場進出など販路を見据えた計画を実行する県内食料品製造事業者を支援(補助等) 18,050千円 ・水産物の取引拡大に向けたデジタル機器整備等に対する支援(補助) 22,000千円 <p>②県産品のデータベース化等による更なる販路拡大・販売強化、県内外における消費喚起支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県産農産物等のブランド確立や高単価・安定取引拡大のため、これまで開拓した販売先との連携の中で農業者等が実施する改善・情報発信等に関する取組に対する支援(補助・委託) 22,485千円 ・ホテル等での長崎フェアや食材勉強会、食の魅力発信、バイヤー招聘等を支援(委託) 52,503千円 <p>③アフターコロナを見据えた輸出や通信販売の拡大対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎県農産物輸出協議会が実施する輸出産地育成に向けた次なるステップとなる商談会等、取引拡大につながる活動費を支援(負担金) 9,820千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①支援企業の付加価値額 (+20%) ②「農」ビジネスモデル数 (+12モデル) ③新たに取引を開始した水産加工品の販売額 (累計) (+1,140百万円) ④県産品(農産物、加工食品・陶磁器)の輸出額 (+505百万円) 	関連URL	https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kenseijoho/kennokeikaku-project/sousei/

※長崎県、佐世保市、松浦市の広域連携事業

事業概要【県内中小企業DX推進プロジェクト】

推進当初

申請者	長崎県ほか2自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	386,812千円 (87,504千円)
事業タイプ・ 類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<p>○DXに取り組む県内中小企業が、専門家とともに自社の経営課題解決のためのベストシナリオを作成し、それに合ったデジタルツールが導入され、成功事例となる。</p> <p>○DXに取り組むユーザー企業が増えるとともに、デジタルツールを提供する県内ベンダー企業にもビジネスチャンスが生まれる。</p>		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○小規模事業者の人手不足等に対応するための効率化やインボイス等の環境変化への対応及び支援機関のデジタルスキル向上によるデジタル化支援体制の強化を図るため、デジタル化推進員(2人)を配置(県11,196千円)</p> <p>○小規模事業者のデジタル化による域外需要獲得及び取引拡大のための専門家招へい等に係る費用を支援(県9,820千円)</p> <p>○デジタル化支援のためのコンサルティングスキル獲得を目指す実践型のトレーニングや講座を開催し、県内支援機関の支援力・支援体制の強化を図る(県46,119千円)</p> <p>○新規事業展開支援(新上五島町12,822千円)</p> <p>○民間主導によるDX活用をはじめとした生産性向上・競争力強化のための取組みに対する補助(長崎市2,750千円)</p> <p>○新製品開発に取り組む事業者のための新製品の認証制度及び補助事業(長崎市1,297千円)</p> <p>○製造業関連企業における共同研修による人材育成支援補助金(長崎市3,500千円)</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①計画を実践した事業者のうち付加価値が年率3%以上向上する企業数(+70社)</p> <p>②県内情報関連産業における売上高(+558.41億円)</p> <p>③DX相談件数(+1,000件)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kenseijoho/kennok-eikaku-project/sousei/</p>

※長崎県、長崎市、新上五島町の広域連携事業

事業概要【地方回帰と産業構造の変化を捉えた大規模人材還流プロジェクト】

推進当初

申請者	長崎県ほか21自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集		
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	3,033,925千円 (699,903千円)		
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	地方への人の流れ分野		
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎に創出される良質な雇用情報が幅広く伝わり県外からの人材の呼び込みによる企業の人材確保、人口の抑制につながる。 ・移住支援のデジタル化など検討の熟度等に応じたサポートを行うことにより、移住相談の間口が広がり、移住の裾野拡大につながる。 ・農山漁村集落の魅力を発信するとともに、ながさきSociety5.0の推進により、県外から多様な人材を呼び込み、地域活動の担い手不足の解消や農業・水産業の活性化、住民が主体となった活気あふれる地域づくりにつながる。 				
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<table border="0"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○官民連携による魅力ある企業情報の発信と人材確保 126,204千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ながさき移住サポートセンター等による就職支援の強化 ・誘致企業や地場企業の人材定着の支援等 ○移住希望者等を囲い込むための入口戦略の強化 153,324千円 <ul style="list-style-type: none"> ・移住支援のデジタル化及び相談受付体制の強化 ・首都圏イベント、webプロモーション等の効果的な情報発信 ・地域の特徴を活かしたワーケーション誘致の広域連携の推進 ○都市部の若者等の受入促進による農山漁村集落の維持・活性化 347,925千円 <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の担い手となる人材育成や定住促進 ・地域運営組織の設立支援 ・農山漁村の魅力発信やUIターン促進 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○就農希望者や集落の維持・活性化につながる半農半Xの暮らしで定住を希望する方への就農及び移住促進 72,450千円 <ul style="list-style-type: none"> ・農業施設、農業用機械等の整備補助 </td> </tr> </table>			<ul style="list-style-type: none"> ○官民連携による魅力ある企業情報の発信と人材確保 126,204千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ながさき移住サポートセンター等による就職支援の強化 ・誘致企業や地場企業の人材定着の支援等 ○移住希望者等を囲い込むための入口戦略の強化 153,324千円 <ul style="list-style-type: none"> ・移住支援のデジタル化及び相談受付体制の強化 ・首都圏イベント、webプロモーション等の効果的な情報発信 ・地域の特徴を活かしたワーケーション誘致の広域連携の推進 ○都市部の若者等の受入促進による農山漁村集落の維持・活性化 347,925千円 <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の担い手となる人材育成や定住促進 ・地域運営組織の設立支援 ・農山漁村の魅力発信やUIターン促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○就農希望者や集落の維持・活性化につながる半農半Xの暮らしで定住を希望する方への就農及び移住促進 72,450千円 <ul style="list-style-type: none"> ・農業施設、農業用機械等の整備補助
<ul style="list-style-type: none"> ○官民連携による魅力ある企業情報の発信と人材確保 126,204千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ながさき移住サポートセンター等による就職支援の強化 ・誘致企業や地場企業の人材定着の支援等 ○移住希望者等を囲い込むための入口戦略の強化 153,324千円 <ul style="list-style-type: none"> ・移住支援のデジタル化及び相談受付体制の強化 ・首都圏イベント、webプロモーション等の効果的な情報発信 ・地域の特徴を活かしたワーケーション誘致の広域連携の推進 ○都市部の若者等の受入促進による農山漁村集落の維持・活性化 347,925千円 <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の担い手となる人材育成や定住促進 ・地域運営組織の設立支援 ・農山漁村の魅力発信やUIターン促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○就農希望者や集落の維持・活性化につながる半農半Xの暮らしで定住を希望する方への就農及び移住促進 72,450千円 <ul style="list-style-type: none"> ・農業施設、農業用機械等の整備補助 				
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①県外から本県へのUIターン者数 (+1,721人) ②第1次産業新規就業者数(農林水産業) (+4,215人) ③「ながさき移住倶楽部」会員登録者数 (+7,200人) ④持続可能な地域づくりに取り組む地域(団体) (+162団体) 	関連URL	https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kenseijoho/kennokeikaku-project/sousei/		



※長崎県、長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、対馬市、壱岐市、五島市、西海市、雲仙市、南島原市、長与町、時津町、東彼杵町、川棚町、波佐見町、小値賀町、佐々町、新上五島町の広域連携事業

事業概要【まちの変化を力にした地域内外の交流拡大・地域の賑わい創出プロジェクト】

推進当初

申請者	長崎県ほか23自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	4,985,890千円 (1,074,171千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなハイブリッド型ツーリズムや夜型観光等の官民連携による観光消費額の拡大 ・スポーツ、エンターテインメント、イベント等、コンテンツ重視の個人旅行客の誘客拡大 ・新幹線開業に伴うまちづくり、ハイクラスホテルの整備を契機とした誘客・観光消費額の拡大 ・長崎県の特徴ある自然を体験するアウトドアツーリズムによる周遊観光の推進 		
事業概要・ 主な経費	<p>○スポーツ・エンターテインメント等の新たなハイブリッド型ツーリズム、夜型観光の推進 336,899千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロスポーツ・武道を活用したハイブリッド型ツーリズム・夜型観光の推進 ・環境変化や市場動向を踏まえたインバウンド観光の推進 ・夜間消費拡大に向けた夜景観光推進や新たなナイトタイムエコミーコンテンツの造成 ・夜型観光推進としてのスポーツ大会や合宿、講演会などのコンベンション誘致事業に対する支援 <p>○新幹線開業を契機とした機運の醸成、県内各地域における新たなコト・コンテンツの造成 600,220千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型プロジェクトを契機とした観光客を惹きつけるコンテンツの創出 ・新幹線開業効果を高めるため、広域周遊促進のための二次交通の強化等の推進 ・大型プロジェクト効果を最大限に取り込むための受入態勢強化と新たな雇用創出に対応する人材確保 ・「まち」の変化を契機とした新たな交流人口拡大の推進 ・「まち」の変化を生かした地域の魅力の効果的な発信と誘客の多角化 <p>○長崎・佐賀の特徴ある自然を生かしたアウトドアツーリズムの推進 137,052千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトドアスポーツ・アクティビティに親しめる環境づくりの推進 ・長崎のスポーツ資源を活用したスポーツ合宿及び大会の推進 		
※経費内訳は R6年度事業費			
KPI	<p>①観光消費額(総額) (+358.64億円)</p> <p>②観光客(宿泊)のリピーター率 (+7.4%)</p> <p>③観光消費単価(宿泊客) (+1,479円)</p>		
※カッコ内の数値は最終 事業年度までの「KPI増 加分の累計」の目標値			
		未来予想図	これからの長崎に起こること
		関連URL	https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kenseijoho/kennokeikaku-project/sousei/

※長崎県、長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、対馬市、五島市、西海市、雲仙市、長与町、東彼杵町、川棚町、波佐見町、壱岐市、南島原市、佐賀県、唐津市、伊万里市、武雄市、嬉野市、有田町の広域連携事業

事業概要【活力ある「ながさき型スマート産地」確立支援プロジェクト】

推進当初

申請者	長崎県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	289,913千円 (53,144千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<p>離島・半島地域や中山間地域が多く、平坦地が少ないなど、条件不利地を多く抱える本県に適したスマート農業技術を体系化し、シェアリング等による導入コストの縮減等を目的に取組みを行う。あわせて、県・地域段階での推進体制を整備し各地域に適した技術を推進することで技術の普及拡大を図るとともに、消費者、実需者ニーズに適した供給体制を構築して有利販売を行うこと等により農業所得の増加につなげる。</p>		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>地域農業全体にかかるスマート農業推進体制を整備し、農業団体等と一体となり、地域特性にあった技術体系の確立とコスト縮減、指導員の育成、農業者への情報発信強化及び現場への実装、水田フル活用等を図り、販売額の増加を目指す。</p> <p>①スマート農業技術の費用対効果を高める仕組みづくり ・スマート農業の技術の高度化・多用途化 (5,748千円)</p> <p>②産地のスマート化に向けた推進体制整備・人材育成及び技術導入支援 ・スマート農業の推進体制整備・人材育成、情報発信強化 (1,832千円) ・スマート産地基盤整備技術導入の取組に対する助成 (6,111千円) ・収量・品質向上等につながるスマート農業技術等導入の取組に対する助成 (39,453千円)</p>		  <p>スマート農業技術の改良・実証や実演会、研修会等を実施</p>    <p>「データ駆動型技術」、「遠隔・自動化技術」等の導入支援</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①産地計画策定産地の販売額 (+95億円)</p> <p>②水田における園芸品目導入面積 (+240ha)</p> <p>③炭酸ガス施用技術等の導入面積 (いちご、きく) (+121.5ha)</p>		関連URL https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kenseijoho/kennokeikaku-project/sousei/

申請者	長崎県新上五島町	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	236,676千円 (53,193千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	本町の地域公共交通においては、路線バス維持のための財政支出の増加や人口減少による公共交通利用者の減少、運転手不足等が課題となっており、町の実情にあった効率的かつ効果的な公共交通サービスを構築する必要がある。また、単身高齢者や高齢者夫婦のみの世帯の増加が見込まれるため、買い物や見守り、情報発信など多様な生活支援サービスの提供が求められている。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○オンデマンド型乗合タクシーにICTを活用した持続可能なモビリティサービスに加え、商業や観光等の他分野と連携した新たなサービスを提供するプラットフォームを構築する。</p> <p>・交通サービスのアプリケーションプラットフォーム環境構築・運用等経費35,183千円</p> <p>・観光等各種サービスの充実・魅力発信及び環境構築等経費18,010千円</p>		<p>SmartGOTO プラットフォームで実現できること</p>  <p>“自治体”や“地域の事業者”と連携（B2G&B）、SmartCity化（ヒト・モノ・情報の高効率循環）を実現できるプラットフォームの構築</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①オンデマンド交通利用回数（+138,120回）</p> <p>②オンデマンド交通利用者数（+1,340人）</p> <p>③アプリユーザー登録者数（+3,580人）</p>		<p>関連URL</p> <p>新上五島町 公式サイト https://official.shinkamigoto.net/</p>

事業概要【球磨川流域の豊かな恵みを生かしたグリーンニューディール促進プロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	644,928千円 (91,247千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	令和2年7月豪雨で被災した球磨川流域等について、醸造食品産業の生産性向上やブランド再構築による地域産業の活性化、豊かな自然、文化等の地域資源を活用した観光振興等による交流人口の拡大、防災・治水対策等の専門教育の充実による人材の育成、災害弱者の避難支援体制の構築や豪雨災害の記録の収集・発信による地域防災力の強化に一体的に取り組み、創造的復興を強力に推進し、持続可能な地域の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○醸造食品産業の生産性向上と災害に強い体制整備 ・微生物の分離収集・解析・保管等の実施 (需用費、使用料) 11,267千円 ○球磨焼酎のリブランディング ・蔵ツーリズムによる誘客促進 (補助金) 3,000千円 ○森林資源活用による森林サービス産業の創出 ・森林サービス産業創出に向けたプラン作成、実証等 (補助金、事務費10,308千円) ○豪雨災害の経験を生かした防災対策 ・豪雨災害記録の収集・発信 (委託料・事務費) 13,672千円 		 <p>微生物の分離 優良菌株選抜 新商品開発支援</p> <p>醸造食品産業の生産性向上と災害に強い体制整備</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①球磨焼酎の出荷量 (+12,481kl) ②人吉・球磨地域の延べ入込客数 (+3,005,500人) ③外部人材(高度な測量技術者、宮大工等)と連携した教育活動の実施数 (+51回) ④アーカイブ化のための資料収集件数 (+20万件) 		<p>関連 URL</p> <p>https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html</p>

事業概要【くまもと型オープンイノベーション推進プロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	240,263千円 (45,448千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	県内企業を中心とした産学官連携によるオープンイノベーションの促進を図ることで、ウイズ・アフターコロナ時代の新たな社会環境にも対応したビジネスや本県の「強みとなる産業」の創出につなげ、地方創生の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○オープンイノベーションに必要な連携体の構築等の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内企業と大学が有する技術シーズなどから将来有望なテーマの掘り起こしや支援の実施 (委託料) 12,937千円 ○製品・技術開発への支援 ・新たな製品や技術の開発を支援 (補助金) 20,000千円 		 <p>半導体サプライチェーン強化 合同研究会</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①プロジェクトにおける共同研究等の件数 (+18件) ②戦略的基盤技術高度化支援事業 (サポイン事業) 等の採択件数 (+11件) ③プロジェクトにより課題解決につながった件数 (+300件) 		<p>関連 URL</p> <p>https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html</p>

申請者	熊本県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	446,247千円 (90,063千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	これまで進めてきた草原の保全・維持の取り組みを、SDGsを原動力に、「環境」・「経済」・「社会」の3つの側面から統合的に深化させながら、「環境の保全」「農畜産業の振興」に加え、「関係人口の増加」「交流人口の増加」「移住定住の促進」「シビックプライドの醸成」を図り、阿蘇地域の持続的な発展を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○持続可能な草原維持システムの構築 新たな担い手の掘り起こしや活動支援等 (委託料、補助金) 15,287千円</p> <p>○放牧草地の生産性維持・担い手確保の促進 ・放牧サポーターの就農・移住定住に向けた支援等 (補助金) 19,060千円</p> <p>○世界文化遺産登録に向けた理解醸成・磨き上げ ・「阿蘇」の世界文化遺産としての価値の整理に向けた学術検討や海外の類似資産との比較分析 (委託料、一般需用費) 12,165千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①草原再生面積 (野焼き放棄地における再開地面積及び未利用牧野における放牧再開面積) (+1,005ha)</p> <p>②阿蘇草原応援企業サポーター認証企業数 (+60社)</p> <p>③草資源を活用した農産品に係る“食の体験”イベント参加者数 (+2,780人)</p> <p>④阿蘇地域が「世界文化遺産登録」を目指していることについての地元住民等の認知度 (+55%)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html</p>

事業概要【地域の農林水産業を元気に!くまもと県南フードバレーの推進による豪雨災害からの復興支援プロジェクト】

推進当初

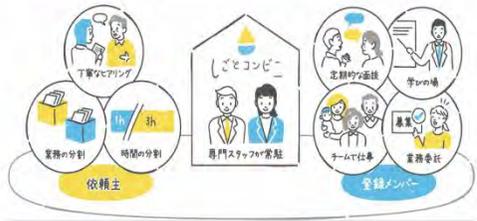
申請者	熊本県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	793,402千円 (124,533千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	豪雨で被災した県南地域の創造的復興及び地域の活性化推進のため、地域経済を牽引する「人材づくりと体制づくり」を推進するとともに、地域農産物を活用する地域事業者が行う「売れるモノづくり」や「強靱な販路づくり」を支援することで、県南を支える農林水産業の持続的発展を図る。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○県南フードバレーを支える人材づくりと地域を牽引する体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手経営者や経営者への講座（経営塾）の実施や受講者を中心とした新ビジネス創出支援（負担金）5,600千円 ○地域経済牽引事業者への重点的な支援 ・海外展開やインターネット通販強化等の多角化を目的とした施設整備や設備投資等に要する経費の支援（補助金）74,533千円 		 <p>人材育成（経営塾）</p>  <p>施設整備(無洗米装置及び少量計量包装機)</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①当事業の支援により施設整備等を行った地域経済牽引事業者及びその地域経済牽引事業者との取引額が多い促進区域内事業者の売上合計額の増加額（+1,530,400千円） ②地域経済牽引事業者及び地域事業者による新規取引（契約）件数（+200件） ③地域経済牽引事業者及び地域事業者による海外企業との新規取引（契約）件数（+15件） 		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.kumamoto.jp/sos/hiki/18/187865.html</p>

事業概要【くまもと型スマートツーリズムの確立による地域活性化プロジェクト】

推進当初

申請者	熊本県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	655,258千円 (81,219千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	デジタルの視点を取り入れたマーケティング手法の確立や、周遊性・滞在性の更なる向上、民間活力を活用した魅力的な観光施設の整備といった、スマートツーリズムの仕組みづくりと地域の魅力向上・観光の高質化に取り組み、地域経済の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル技術を活用した観光マーケティング手法の確立 ・コンテンツ制作、デジタルプロモーションの実施・分析等 (負担金) 28,620千円 ○スマート観光交通体系構築推進事業 ・観光と交通の構築・改善に必要なデータの整備・収集等 (負担金) 20,974千円 ○地域の活性化を牽引する観光拠点づくり ・宿泊施設、観光施設及び観光消費拡大につながる特産品製造施設等の整備への補助 (補助金) 10,000千円 	 <p style="text-align: center;">事業イメージ</p>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①観光客への現地調査における、本県観光プロモーションコンテンツによる本県観光客への上乗せ数 (+473,600人) ②事業を通じて新たな観光コンテンツの開発や施設整備を行った拠点施設における地域在住者雇用者数 (+26人) ③事業を通じて新たな観光コンテンツの開発や施設整備を行った拠点施設をめぐる旅行商品プログラムの造成数 (+29本) 	関連URL	https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/187865.html

事業概要【まちの人事部機能の創出による人材還流促進及びデータバンク構築・利活用事業】

申請者	熊本県南小国町	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	110,000千円 (24,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな雇用創出に向けた事業に取組み、各産業の担い手不足解消を図る。 ・労働力の需給に関するマッチング体制を整備し、町内における人材育成の横断的な実施につなげる。 ・人材の地域内での活動を測定できる仕組みを整備することで、人材マッチングの精度向上につなげる。 ・地域で横断的に活躍できる人材を育成し、地域の課題解決や人手不足解消を図る。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○人材流動化による新たな雇用創出事業（地域越境人材の継続的な配置）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな雇用創出事業の深化・高度化（委託料）11,000千円 ・労働力の需給に関するベストマッチングを高精度で実現する体制の整備（委託料）3,000千円 ・大手企業に向けた地域越境研修の構築（委託料）3,000千円 <p>○地域越境人材データバンク事業（地域越境人材の評価・再配置）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域越境人材のデータバンク化（委託料）2,000千円 ・データバンクを活用した地域越境人材の新規案件組成等（委託料）2,000千円 <p>○法人との関係構築事業（法人の地域越境の創出）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との共創を希望する企業との継続的な関係構築（委託料）3,000千円 		<p>九州初上陸！「しごとコンビニ®」南小国町で導入開始</p>  <p>「しごとコンビニ®」概要</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①起業及び新規事業による売上総額（+35,000千円） ②新たな雇用事業登録マッチング件数（+425件） ③地域越境人材データバンク登録人数（+240人） ④本事業実施による移住者数（+44人） 		<p>関連URL</p> <p>https://www.town.minamioguni.lg.jp/</p> <p>「しごとコンビニ®」登録会の様子</p> 

事業概要【農林水産業サプライチェーン最適化推進事業】

推進当初

申請者	大分県ほか5自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集																														
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	747,871千円 (145,032千円)																														
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野																														
目的(効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域農業経営サポート組織の育成や広域連携法人を設立することで、営農継続と経営発展を図る ・日本一の生産量を誇るヒラメ養殖業において、作業の省力化に向けたスマート養殖業の技術開発を図る ・これまで輸出をしたことがない事業者のファーストステップ支援を重点化することで、輸出事業者数の底上げを図る 																																
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○担い手確保・育成対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・経営継承・発展支援、集落営農構造改革 (委託料等 18,264千円) ○生産対策の確立対策 <ul style="list-style-type: none"> ・醸造用小麦の高タンパク化対策、ブリ類養殖業生産体制強化 (補助金等 5,005千円) ・ヒラメ養殖スマート技術の開発、各分野でのスマート技術の活用 (委託料 41,285千円) ○流通・販路拡大対策 <ul style="list-style-type: none"> ・次世代へつなぐ食育の推進 (委託料 3,366千円) ・直売所を拠点とした中山間地域農業の推進 (需用費等 3,459千円) ・有機農業商品付加価値向上対策の実施 (委託料 16,500千円) ・水稻新品種なつほのかの導入・普及拡大、うまみだけの需要拡大 (補助金等 9,660千円) ・マーケットインの商品作り支援 (中津市) (補助金等 17,280千円) ・加工食品海外展開、海外戦略の推進、食品輸出支援体制強化 (委託料等 30,213千円) 		<p>大分県農林水産物産出額の推移 (億円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>農業</th> <th>林業</th> <th>水産業</th> <th>新規需米等</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>1,259</td> <td>311</td> <td>306</td> <td>0</td> <td>1,877</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>1,195</td> <td>311</td> <td>327</td> <td>0</td> <td>1,836</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>1,208</td> <td>332</td> <td>297</td> <td>0</td> <td>1,737</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>1,228</td> <td>362</td> <td>258</td> <td>25</td> <td>1,860</td> </tr> </tbody> </table>	年度	農業	林業	水産業	新規需米等	合計	H30	1,259	311	306	0	1,877	R元	1,195	311	327	0	1,836	R2	1,208	332	297	0	1,737	R3	1,228	362	258	25	1,860
年度	農業	林業	水産業	新規需米等	合計																												
H30	1,259	311	306	0	1,877																												
R元	1,195	311	327	0	1,836																												
R2	1,208	332	297	0	1,737																												
R3	1,228	362	258	25	1,860																												
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①農林水産物産出額 (+382億円) ②経営継承の推進件数 (+1,000件) ③集落営農組織カバー集落数 (+119集落) 		関連URL https://www.pref.oita.jp/soshiki/10112/sennryaku_kpi.html																														

※大分県、大分市、中津市、佐伯市、国東市、玖珠町の広域連携事業

事業概要【おいたの未来を牽引する事業者育成体制整備事業】

推進当初

申請者	大分県ほか3自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	615,817千円 (97,610千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的(効果)	<p>・大分を牽引する企業の創出を図るため、事業開始初期での積極的なリソースの提供や経営者同士のネットワークの強化、新たなビジネスに挑戦する中小企業(経営革新認定)の育成及びデザイン経営等を通じた総合的な経営基盤の強化を図る</p> <p>・スムーズな事業承継を実現し、県内企業の経営基盤を総合的に強化できる環境づくりを図る</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>○中小企業等への経営支援機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 成長を志す意欲的な起業家が継続的に創出される体制の整備(委託料) 18,340千円 創業・第二創業者への成長支援体制の整備(補助金) 29,435千円 経営者同士のネットワーク形成による事業継続支援体制の整備(委託料) 661千円 デザイン経営に向けた支援体制構築やクリエイター協働による事業化促進(委託料等) 16,124千円 県内中小企業の後継者候補(アツギ)の新規事業開発の伴走支援(委託料) 10,428千円 九州連携ベンチャー支援のためのマッチングイベントの開催支援(負担金) 700千円 成長期スタートアップや第二創業企業への伴走支援(委託料) 15,843千円 <p>○中小企業BCP策定支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援機関向けのワークショップ、策定支援・事例集作成(委託料) 3,020千円 <p>○スムーズな事業承継が行われる体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 金融機関職員や士業等を対象とした研修会(委託料) 1,272千円 民間M&A事業者の利用促進のセミナー・相談会の開催(委託料) 1,787千円 		
KPI	<p>①経営革新計画終了企業の雇用増加数(+769人)</p> <p>②事業承継相談対応件数(+250件)</p> <p>③デザイン経営個別相談会の参加者(+900人)</p>	関連URL	<p>https://www.pref.oita.jp/soshiki/10112/sennryakukpi.html</p>



※大分県、大分市、中津市、日田市の広域連携事業

事業概要【移住者によるデジタル地域づくりショーケース化推進事業】

推進当初

申請者	大分県	初回採択回	令和3年度第1回募集	
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	382,647千円 (53,730千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者にとって魅力的なデジタル関連の働き口を増加させるためにデジタル関連事業を行う ・都市圏の概ね40歳未満かつ移住・転職希望者を主なターゲットとし、デジタルスキル習得講座を実施することで移住を促進する 			
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ol style="list-style-type: none"> デジタル関連事業ショーケース化推進 <ol style="list-style-type: none"> D Xを支える人材育成 <ol style="list-style-type: none"> デジタルモノづくり人材育成支援 (委託料等) 2,195千円 地域におけるデジタル化促進支援 <ol style="list-style-type: none"> 地域運営組織等のデジタル技術活用促進 (補助金等) 3,333千円 県内企業のデジタル技術活用の展開・推進 (委託料等) 2,279千円 建設技術者等のデジタルスキル向上・ICT建機導入補助 (補助金等) 22,402千円 大学等と企業・地域の出会いの場創出システム導入支援 (補助金等) 800千円 飲食店等デジタルマーケティング活用支援 (委託料) 3,461千円 スマホを活用した県民の健康づくり喚起実証 <ol style="list-style-type: none"> 健康管理アプリ運営費 (委託料等) 5,180千円 移住希望者を対象としたデジタルスキル習得講座 <ol style="list-style-type: none"> スキルアップ移住講座の開講及びPR (委託料等) <ol style="list-style-type: none"> 受講生募集のための都市圏でのPR費用 3,039千円 講座運営費用 11,041千円 		<p>デジタル関係事業ショーケース化推進</p> <p>移住希望者を対象としたデジタルスキル習得講座</p> <p>システム構築 ICT建設機械導入補助</p> <p>Android プラットフォーム ATPS2 LINK102 MCX1</p> <p>雇用創出</p> <p>人材育成</p> <p>～県外からの移住促進～</p>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> デジタルスキルアップ講座の修了生で県内へ移住した人の数 (+120人) 本事業によりデジタル化した事業数 (+18件) 		関連URL https://www.pref.oita.jp/soshiki/10112/sennryakukpi.html	

事業概要【若者が安心して働ける環境づくり推進事業】

推進当初

申請者	大分県ほか6自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	794,101千円 (124,683千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> 福岡県を中心に若い世代の転出超過の傾向があるため、UIJターンの推進により県外からの人材の確保を図る 大分県内大学生等の県内就職率が低い傾向があるため、県内就職・定着の促進を図る 大分県の高校生の県内就職率が低い傾向があるため、高校生に対する県内就職対策を図るとともに、急速な変化の激しい時代を生き抜くため、未来を切り拓く力と意欲を身に付けさせる教育の推進を図る 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○福岡県からの若者のUIJターンの促進 <ul style="list-style-type: none"> 福岡での就職関連イベント企画実施 (委託料等) 32,698千円 Uターンイベントや情報発信等 (委託料等) 1,295千円 ○大分県内の大学生流出対策 <ul style="list-style-type: none"> 県内就職情報発信WEB企画作成 (委託料) 7,242千円 学生コミュニティ形成 (委託料) 6,093千円 大学の魅力アップを図る課題解決支援 (補助金) 12,146千円 県内企業を知る接点づくり企画 (委託料) 4,567千円 ○高校生に対する県内就職対策及び地方創生を担う人材教育 <ul style="list-style-type: none"> 高校生等向け合同企業説明会開催 (委託料等) 10,342千円 人材を育成するための研修実施 (委託料等) 13,337千円 就職サポーター配置にかかる経費 (報酬等) 21,395千円 地域・社会や産業界と連携した学習 (使賃料等) 1,882千円 全国募集を推進するための経費 (使賃料等) 11,024千円 探究活動の機会を提供する講座開設 (委託料等) 2,662千円 		 <p>若者向けイベント (大分県拠点施設「dot.」)</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①県内企業就職内定者数 (+720人) ②福岡県内大学新卒県出身者の県内就職者数 (+60人) ③新規高等学校卒業予定者の県内企業就職希望率 (+2.6%) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.oita.jp/soshiki/10112/sennryakukpi.html</p>

事業概要【祖母山麓エリア再生プロジェクト】

推進当初

申請者	大分県竹田市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	67,900千円 (6,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・祖母山麓のエリアブランディングとネットワーク形成を図る ・新たなターゲット層に向けたエリアとしての情報発信と情報発信人材の育成を図る ・域外人材と連携した、体験アクティビティ・ワーケーションプログラムなどのコンテンツ開発と人材育成を図る ・エリア戦略に基づく拠点施設の利活用・経営手法の検討 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○情報を集約したプラットフォームの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祖母山麓エリア専用WEBサイト等の運用・更新 【委託料 (ソフト) : 1,500千円】 <p>○祖母山麓エリア公共施設マネジメント支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者との連携体制の構築支援、収益モデルの検討と提案、施設改修や備品整備などの建築家デザイナーを通じての見直し箇所のプロデュース、地元や関係団体への報告やミーティングなどによる情報共有など、公共施設の利活用の実践全般を専門的知見をもとに検討 【委託料 (ソフト) : 3,000千円】 ・宿泊施設「祖母山麓体験交流施設あ祖母学舎」改修に伴う設計【委託料 (ハード) : 1,500千円】 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①本事業の拠点施設となる「祖母山麓体験交流施設あ祖母学舎」の年間利用者数 (+350人) ②本事業におけるワーケーションやトレッキングコース整備などの関係人口創出のためのイベント等への参加者数 (+150人) ③本事業におけるトレッキングガイド養成講座・市民ライター育成講座などの人材育成セミナーへの参加者数 (+60人) ④専用WEBサイトへのアクセス数 (+20,000アクセス) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.taketa.oita.jp/so-shiki/kikakujojohoka/chihouseisei/4410.html https://sobosanroku.jp/</p>